

令和3年度 第3回 青梅市介護保険運営委員会次第

令和3年11月1日（月）
午後2時00～
青梅市役所議会棟大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 報告事項

- ア 令和3年度第2回青梅市介護保険運営委員会議事要旨
について……………【資料1】
- イ 介護保険事業の実施状況について……………【資料2】
- ウ 地域包括支援センター事業について……………【資料3】
- エ 地域密着型サービスについて……………【資料4】
- オ 第7期青梅市高齢者・介護保険計画令和2年度
取組結果報告書について……………【資料5】
- カ 新型コロナウイルス感染症への対応状況……………【資料6】

(2) その他

4 その他

5 閉 会

令和 3 年度 第 2 回介護保険運営委員会 議事要旨

1 開催日時 令和 3 年 7 月 26 日

7 月 26 日資料発送、8 月 10 日同意書および質問・意見等集約

2 同意を得た委員

小山登美夫、國生隆利、高畑一男、板橋ひろみ、藤本稔巳、石田信彦、石橋尚美、武田憲光、土田大介、百瀬澄雄、田中三広、新井一夫、小柳友次

(敬称略・順不同)

3 全委員の同意を得たことから、成立とする。

議 事

<開会>

事務局 : 新型コロナウイルス感染拡大により、政府は東京都等に 7 月 12 日から 8 月 22 日までを対象期間とした 4 回目の緊急事態宣言を再度発出しました。

また、都内での新規感染者数は 1 日単位で千人を超え、感染力が強いと言われていた変異株の割合も上昇しています。

こうした状況を踏まえ、当委員会委員には医療・介護関係者が多く、今後も厳しい感染症拡大防止策が求められていること、厳しい勤務状況が続いていることなどから、副会長に相談をさせていただいた結果、感染拡大防止の観点から、書面会議とさせていただきますことといたしました。

現時点では委員すべてに Web 会議方式で御参加いただくことは難しいと考えられますので、何とぞ御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

<委嘱状の交付>

事務局 : 続きまして、委員の変更がございましたので、委嘱状の交付をいたします。

青梅市医師会代表の江本委員が退任され、新たに土田委員に御就任いただくこととなりました。

土田委員に対して、会議の開催に先立ち、市長から委嘱状の交付を行うところですが、書面会議となったことから、事前に交付させていただきました。

なお、変更後の委員の構成は、参考資料 1 の名簿で御確認願います。次回の会議開催時に御挨拶をお願いする予定です。

<会長の互選>

事務局 : 続きまして、次第の「2 会長の互選」に移りたいと思います。

江本委員の退任に伴い、現在、会長が不在となっておりますので、青梅市介護保険

規則第 52 条の 2 第 4 項の規定により、副会長が会長を補佐することとなっております。進行を副会長にお願いいたします。

副会長 : それでは、次第の「2 会長の互選」にまいります。

青梅市医師会長の交代に伴い、江本前会長が運営委員会の委員を退任されており、現在、運営委員会の会長が不在となっております。

ここで、会長の互選を行いたいと存じます。

事前に、令和 3 年 7 月 16 日付けで各委員に指名推薦を依頼いたしましたところ、委員 3 名から土田委員を推薦する旨の申出がありました。他は、副会長に一任となっております。推薦理由は次のとおりです。

委員 : 在宅医療、福祉関係に関わっているため。

委員 : 介護保険制度に精通している。

委員 : 青梅市医師会の会長で幅広い見識をお持ちの医師会の先生が適任である。

副会長 : 3 名の委員から、会長には、土田委員が適任とのことで御推薦いただきました。私も、委員会の性質上、医師という専門的知識が必要であるので、適任であると考えます。

また、土田委員からも会長就任の承諾を得ましたので、互選とみなし、会長には、土田委員に就任いただくこととなりました。

以後の議事進行につきましては、会長に交代いたします。

<書面会議開催方法について>

会長 : それでは、「3 議題」から順次進めたいと思いますが、ここで、今回の書面会議の方法について確認したいと思いますので、事務局からお願いします。

事務局 : まず、書面会議の方法について御説明申し上げます。

委員会は、委員および臨時委員の過半数の出席が必要と市の規則（参考資料 2）で定めております。今回は書面開催となりますが、会社法や社会福祉法には、法人の書面決議方式の規定があります。こうした方法を参考としながら、書面会議を進めることといたします。

会議の成立については、7 月 26 日に会議資料一式をお送りし、その中に、「令和 3 年度第 2 回青梅市介護保険運営委員会書面表決同意書」を同封させていただきました。書面表決での実施に御同意いただける場合、この書類に記名いただき、8 月 6 日までに返信用封筒（あるいは F A X、メール）にて事務局まで提出をお願いいたしました。この同意書の提出により会議への「出席（参加）」と判断し、委員報酬も執行をさせていただくこととしております。併せて、この同意書が委員の過半数を超えた時点で委員会資料についても御承認があったと判断し、青梅市ホームページへの資料の公開もさせていただきたいと考えております。

書面会議の資料に対する御意見、御質問等がある場合は、記載をお願いしました。

以上のような形で、実施をしたところ、8 月 10 日に同意書および質問・意見等集約をしました。いただいた御意見、御質問に対しての回答等を追記いたしましたので、

御確認をお願いいたします。

<配布資料の確認>

事務局：配布資料は以下のとおりです。

「次第」

資料番号1 「令和3年度第1回青梅市介護保険運営委員会議事要旨」

資料番号2 「介護保険事業の実施状況」は、資料番号2の次に「別紙1」から「別紙7」まで、7種類の資料が添付されております。

資料番号3 「青梅市地域包括支援センターの主な運営状況について」

資料番号4 「地域密着型サービス」

資料番号5 「要介護認定更新手続き書類の誤送付について」

資料番号6 「令和3年度地域密着型サービス事業所の公募状況について」

資料番号7 「青梅市介護保険料における新型コロナウイルス感染症にかかる減額および免除の特例に関する規則の一部改正について」

資料番号8 「令和3年度青梅市介護・障害福祉サービス事業所等新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金交付要綱の制定について」

資料番号9 「令和3年度青梅市介護・障害福祉サービス事業所等におけるPCR検査事業実施要綱の一部改正について」

資料番号10 「青梅市高齢者憲章の制定について」

参考資料1 「青梅市介護保険運営委員会委員名簿」

参考資料2 「青梅市介護保険規則（抜粋）」「青梅市介護保険条例」（抜粋）

参考資料3 「令和3年度 青梅市介護保険運営委員会開催予定」

ここからの進行は、会長をお願いいたします。

<議題>

会長：現在、東京都には緊急事態宣言が発出されております。書面会議による開催とさせていただきますので、委員の御理解、御協力をお願いします。

それでは、議題（1）報告事項 ア 令和3年度第1回青梅市介護保険運営委員会議事要旨について、事務局から説明をお願いします。

事務局：「資料番号1」を御参照ください。

令和3年度第1回の議事要旨につきましては、6月15日に、委員に原案をお送りいたしました。確認および修正期日を6月30日とさせていただき、修正等の御意見はございませんでした。

会長：御意見はございませんでしたので、これで確定させていただきます。

それでは、次の報告事項に移ります。

イ 介護保険事業の実施状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局：「資料番号2」を御参照ください。

- ・令和3年5月末（または6月1日）現在の状況を取りまとめたもの。
- ・1の認定関係であります。出現率については、4月、5月とも15.9%で前年同月とほぼ同じような率で推移しています（別紙1）。

65歳以上の第1号被保険者での比較では、全国、都との比較（4月）では、前年同様、出現率が低い状況です（別紙2-2）。

認定申請件数は、昨年より多く、更新申請の特例希望（注1）が全体の6割程度となりました。（別紙3）

（注1） 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために面会が困難で、認定調査を希望しない方について、現在の介護度のまま要介護度の有効期間を1年間延長する臨時的な措置のこと。

- ・2の保険料（令和2年度）は、予算額22億8千万円余に対して、収入済額22億9千万円余で、ほぼ予算どおりとなりました（別紙4）。
- ・3のサービス関係であります。①および②に4月、5月の給付実績等を掲載しております。今後の推移を見守りたいと思います（別紙5）。
- ・4は相談苦情受理状況を掲載いたしました（別紙6）。
- ・5は事故発生時の報告状況です。表の2つ目「分類別届出」では、怪我等を原因とした報告が主なものとなっております（別紙7）。

会 長 : ただいまの説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

<質疑・応答>

委 員 : 新型コロナウイルス感染症にかかる要介護認定等の更新申請の臨時的な取り扱いについて、更新申請の対象者では90%弱が特例更新適用件数。対象者の条件として、①更新申請の被保険者の方②新型コロナウイルス感染症拡大防止のための面会が困難で、認定調査を希望されない方③現在の介護度のままで、認定有効期間の延長に同意いただける方3点のすべてを満たす方となっております。全て満たす方がこれほど多いのかと個人的には疑問に思います。ワクチン接種が進んだ6月以降の件数についても、注視する必要があるのではと思います。

事務局 : 令和2年2月18日付けの国の事務連絡により、介護保険施設や病院等に入所している被保険者への認定調査が困難な場合、当該被保険者の要介護認定等の有効期間については、従来の期間に新たに12ヶ月までの範囲内で延長できることとなり、令和2年3月から、6か月までの延長を開始しました。その後、令和2年4月7日付けの国の事務連絡で、在宅も含め全ての被保険者まで拡大されたため、令和2年6月30日に現介護度の認定期間が満了になる方から、全ての被保険者の方まで拡大し、令和3年3月31日に現介護度の認定期間が満了になる方から12か月の延長といたしました。このため、この取り扱いの適用を受ける方が増加しました。

新型コロナウイルス感染症にかかる要介護認定等の更新申請の臨時的な取り扱いを適用した方は、令和2年中は更新対象者の60%前後で推移しておりましたが、令

和3年1月以降は80%前後まで増加しております。令和3年5月申請分では約89%の方が適用を受けています。

緊急事態宣言が継続しており、高齢者へのワクチン接種が進んでいるところですが、今後の感染状況や国の動向を注視し、取扱いについて検討してまいります。

会 長 : それでは、次の報告事項に移ります。

ウ 地域包括支援センター事業について、事務局から説明をお願いします。

事務局 : 「資料番号3」を御参照ください。

・令和3年4月～5月の地域包括支援センターの運営状況です。

・1の地域包括支援センター連絡会については、月1回開催をしており、各包括間の情報共有を図ったところであります。

・2の地域ケア会議は、自立した生活を行うための事例を中心に実施いたしました。

・3の総合相談支援業務について、前年比で増となっておりますが、昨年は1回目の緊急事態宣言が発令されていた関係で、相談件数が減少しており、今年は、例年の相談数に戻ったことによる増であります。

・一方、4の権利擁護業の相談件数については、昨年、市の包括（直営）にて、大幅に増加しましたが、今年は例年の相談件数に戻っております。

・5の包括的・継続的ケアマネジメント支援業務は、市の包括（直営）とうめぞの包括に対する相談が減少しております。また、ケアプラン勉強会は、コロナ禍ということでオンラインにて開催をいたしました。

・6の介護予防に係るケアマネジメントは、各包括のケアプラン作成数となっております。

・7の任意事業については、認知症サポーター養成講座を多摩リハビリテーション学院の学生等と対象に実施いたしました。

会 長 : 本件について、委員からの御意見はございませんでしたので承認といたします。

それでは、次の報告事項に移ります。

エ 地域密着型サービスについて、事務局から説明をお願いします。

事務局 : 「資料番号4」を御参照ください。

・令和3年度の4月、5月の状況を取りまとめたものであります。現段階では、全体的に1日平均の利用者数が増えている傾向にあります。

会 長 : 本件について、委員からの御意見はございませんでしたので承認といたします。

それでは、次の報告事項に移ります。

オ 要介護認定更新手続き書類の誤送付について、事務局から説明をお願いします。

事務局 : 「資料番号5」を御参照ください。

・今回、7月末に要介護認定更新を迎える方に対し、6月1日に郵送した書類のうち、申請書について、違う方のものを封入したことが市民の方からの問合せにより判明いたしました。

・その後、お詫びと書類の差し替えを進めたところ、書類を送付した 553 人のうち、違う方の申請書を送付した人数は 41 人でした。書類の差し替えは完了し、書類の差し替えのための訪問や電話での対応時に、トラブルはありませんでした。

・本件について、6月7日にホームページへの掲載と、プレス発表を行いました。

・今後このようなことがないよう、十分に注意してまいります。誠に申し訳ありませんでした。

会 長 : ただいまの説明について、御質問、御意見等がありましたらお願いいたします。
<質疑・応答>

委 員 : 今後、このようなことがないように、ルールを徹底してください。

事務局 : 委託事業者には作業手順の見直し、強化を依頼いたしました。また、介護保険課においても、封かん前に複数の職員で住所、氏名に誤りがいないか確認を行ってまいります。今後はこのようなことが起こらないよう、再発防止に努めてまいります。

会 長 : それでは、次の報告事項に移ります。

カ 令和3年度地域密着型サービス事業所の公募状況について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 : 「資料番号6」を御参照ください。

前回の運営委員会では、「第8期青梅市高齢者保健福祉計画・青梅市介護保険事業計画」において、令和3年度に整備を予定している「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」事業所の公募スケジュールについてお示しさせていただきました。

事務局では、このスケジュールに従い、定期巡回・随時対応型訪問介護看護について理解を促進していただくよう、説明会を行いました。また、公募に対する質問をいただき、資料6別紙のとおり回答をホームページに掲載し、周知いたしました。

しかしながら、説明会には、1事業者の参加をいただきましたが、今回の公募に対する応募者はおりませんでした。

この結果を受け、事務局で調整を行い、再度、年度内に公募を行う調整ができましたら、改めて本委員会にスケジュール等をお示しする予定です。

会 長 : ただいまの説明について、御質問、御意見等がありましたらお願いいたします。
<質疑・応答>

委 員 : 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の公募を続けていますが、担い手が挙がらない状況が続いています。事業所側としては通常的人员不足に加え、人員等を揃え、事業の採算性を考慮し、応募がないのではないのでしょうか。そういった状況を踏まえて、また、西多摩という特養が多い特殊な地域において、本当に必要なサービスであるかどうか、検討のうえ8期計画でどのように進めていくかお伺いしたいと思います。

委 員 : 申込み法人0件。この要因は何故か考えられますか。

事務局 : 2件の質問に合わせて回答します。

平成28年度に市が実施した「市政総合世論調査」では、介護が必要となった場合

に、施設で介護を望む割合が、50.6%で半数を超えています。しかしながら、70歳以上では、44.1%、60歳代では39.3%の方が、可能な限り自宅で介護が受けたいと回答しており、60歳以上で在宅志向が高いという結果が出ております。

また、令和元年度に、介護サービス事業所を対象に実施した「介護サービス事業所調査」では、必要な時にサービスが利用できなかったなどの理由で、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（以下「定期巡回」という。）が、「訪問介護」に次いで不足するサービスであることが明らかとなりました。他方、同調査では、第8期中に「定期巡回」への参入、もしくは参入を検討している事業所があったところであります。

以上の調査結果などから、第8期計画においても在宅生活を24時間支えるサービスの必要性を確認し、「定期巡回」1事業を公募することとなりました。

昨年度は説明会への参加事業者はありませんでしたが、今年度の説明会には、1事業所をいただき、質疑も行われ、少なからず定期巡回への理解が促進されたと考えております。

今回の説明会では、定期巡回の啓発、推進を行っている団体に講師を依頼し、定期巡回の導入に向けたポイントなどについて内容の工夫も行いました。

応募がなかった原因ですが、看護師、介護士が不足しており、24時間、365日人員を配置することが難しい。加えて、市域が広くサービス提供に不安があるなどが主な理由であると捉えております。

そこで、第8期中に、定期巡回への理解を深めるよう啓発を行いながら、本計画期間中に1事業所の整備を目指します。

会 長 : それでは、次の報告事項に移ります。

キ 青梅市介護保険料における新型コロナウイルス感染症にかかる減額および免除の特例に関する規則の一部改正について、事務局から説明をお願いします。

事務局 : 「資料番号7」を御参照ください。

令和2年度も新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した第1号被保険者に対する介護保険料の減額および免除の特例制度を創設しました。令和3年度においても、財政支援期間が1年延長されたことに伴い、当該減免措置を1年間延長することといたしました。よって、減免基準はほぼ同じで、

- (1) 主たる生計維持者が新型コロナウイルス感染症で死亡または重篤な傷病を負った場合は、全額を免除します。
- (2) 主たる生計維持者が新型コロナウイルス感染症の影響により生計維持者の事業収入等（事業、給与、不動産、山林）が令和2年度と比較10分の3以上の減少が見込まれることに加え、減少が見込まれる事業収入等に係る所得以外令和2年度所得の合計が400万円以下である場合は、一部を減額します。
- (3) その他、関係法令の改正などによる所要の規定の修正を行いました。

なお、本件については、令和3年7月1日号の広報おうめで周知を行い、現在申請を受け付けております。

会 長 : 本件について、委員からの御意見はございませんでしたので承認といたします。

それでは、次の報告事項に移ります。

ク 令和3年度青梅市介護・障害福祉サービス事業所等新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金交付要綱の制定について、事務局から説明をお願いします。

事務局 : 「資料番号8」を御参照ください。

本事業は、昨年度も実施した事業であり、今般のコロナ禍においても、適切に感染対策を実施しながらサービスを継続していただいている事業所を対象に、感染症対策に要するかかり増し経費を補助することといたしました。

令和2年度で一定の整備を行っていることから、補助金額は、ほぼ半額となりましたが、補助対象事業所等は昨年同様、介護サービス事業所のみならず、老人福祉法に定める養護老人ホームや有料老人ホームも対象としております。

多摩地域でも感染者数が急拡大しております。本補助金を活用して、感染者発生時に必要となるマスク、手袋、フェイスシールド、ガウン・エプロン等を購入し、感染者が発生した際などに備えていただきたいと考えております。

会 長 : 本件について、委員からの御意見はございませんでしたので承認といたします。

それでは、次の報告事項に移ります。

ケ 令和3年度青梅市介護・障害福祉サービス事業所等におけるPCR検査事業実施要綱の一部改正について、事務局から説明をお願いします。

事務局 : 「資料番号9」を御参照ください。

本件は、前回の運営委員会でも御説明いたしました「介護サービス業所等の従事者等に対するPCR検査事業」について、元となる都の要綱が改正されたことから、市の要綱の一部改正を行おうとするものであります。

主な変更点は、

- (1) 都の要綱に合わせて、事業実施の対象期間を10月31日まで延長する
- (2) 都が直接実施する施設が拡大されたことなどにより、対象者を整理する

ア 認知症対応型共同生活介護の従事者について、都が直接実施することになり除外
イ 都が実施しない有料老人ホームなどについて従事者と利用者を追加

なお、本要綱は、現在、庁内で精査中の（案）であり、一部変更となる場合があります。

会 長 : 本件について、委員からの御意見はございませんでしたので承認といたします。

それでは、次の報告事項に移ります。

コ 高齢者憲章の制定について、事務局から説明をお願いします。

事務局 : 「資料番号10」を御参照ください。

高齢者憲章につきましては、パブリックコメントの結果を踏まえ、庁内の検討委員会

で検討を重ね、2 制定の内容のとおりとなりました。今後は、市議会に報告し、10 月 23 日市制施行 70 周年記念式典にて発表する予定であります。

会 長 : 本件について、委員からの御意見はございませんでしたので承認といたします。

会 長 : 「その他」について、委員からの情報提供はありませんでした。

事務局 : 今年度の運営委員会の日程については、参考資料 3 のとおりです。

次回は、11 月 1 日（月）の午後 2 時からを予定しております。委員の皆様には、御予定いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日の書面会議につきましては、最終的な議事録として各委員の御確認をいただきますのでよろしくお願いいたします。

<閉会>

会 長 : 本日は、書面会議となりました。御苦勞様でした。

事務局 : ありがとうございます。

介護保険事業の実施状況

1 認定関係

(1) 要介護度別認定者数の推移

別紙 1 のとおり

(2) 第 1 号被保険者における認定者出現率

別紙 2 のとおり

(3) 申請件数等の月別集計

別紙 3 の上段および中段とおり

(4) 審査判定内訳

別紙 3 の下段のとおり

(5) 介護認定審査会の状況（令和 3 年 4 月から令和 3 年 8 月末までの累計）

ア 介護認定審査会開催回数…………… 47 回

イ 要介護認定審査判定…………… 1,298 件

（単位：件、％）

区分	非該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
件数 (延数)	31	160	142	247	205	157	209	147	1,298
構成比	2.4	12.3	11.0	19.0	15.8	12.1	16.1	11.3	100

2 保険料関係

(1) 令和 3 年度介護保険料の賦課収納状況（令和 3 年 8 月末現在）

別紙 4 のとおり

(2) 督促状の発送状況

（単位：件）

区分	1 期	2 期	3 期	4 期	5 期	6 期	7 期	8 期	随時	計
R3	842	—	—	—	—	—	—	—	30	872
R2	754	687	737	659	656	679	713	691	57	5,633
増減	88	—	—	—	—	—	—	—	△27	△4,761

3 サービス関係

(1) 受給者数

別紙 5 の上段のとおり

(2) 給付状況

別紙 5 の下段のとおり

(3) 事業所数 令和3年8月31日現在

ア 介護サービス

() 内は、令和3年5月31日現在

サービス種別	区 分		合 計	
	市 内		西多摩地区	
居宅介護支援 (ケアプラン作成)	32	(32)	68	100
居宅サービス	97	(97)	214	311
訪問介護	14	(14)	39	53
訪問入浴介護	4	(4)	4	8
訪問看護	15	(15)	22	37
訪問リハビリテーション	4	(4)	8	12
通所介護	15	(15)	28	43
通所リハビリテーション	5	(5)	19	24
短期入所生活介護	24	(24)	44	68
短期入所療養介護	3	(3)	12	15
特定施設入居者生活介護	1	(1)	12	13
福祉用具貸与	6	(6)	13	19
特定福祉用具販売	6	(6)	13	19
施設サービス	31	(31)	53	84
介護老人福祉施設	24	(24)	39	63
介護老人保健施設	3	(3)	12	15
介護療養型医療施設	4	(4)	0	4
介護医療院	0	(0)	2	2
地域密着型サービス	29	(29)	46	75
地域密着型通所介護	15	(15)	29	44
認知症対応型通所介護	4	(4)	3	7
小規模多機能型居宅介護	2	(2)	4	6
複合型サービス	1	(1)	0	1
認知症対応型共同生活介護	7	(7)	10	17

○ 西多摩地区事業者数は、令和3年3月現在で青梅市が把握している事業者数です。

イ 予防サービス

() 内は、令和3年5月31日現在

サービス種別 \ 区 分	市 内		西多摩地区		合 計	
介護予防支援（ケアプラン作成）	3	(3)	13		16	
介護予防居宅サービス	67	(67)	147		214	
介護予防訪問入浴介護	4	(4)	4		8	
介護予防訪問看護	15	(15)	22		37	
介護予防訪問リハビリテーション	4	(4)	8		12	
介護予防通所リハビリテーション	5	(5)	19		24	
介護予防短期入所生活介護	23	(23)	44		67	
介護予防短期入所療養介護	3	(3)	12		15	
介護予防特定施設入居者生活介護	1	(1)	12		13	
介護予防福祉用具貸与	6	(6)	13		19	
特定介護予防福祉用具販売	6	(6)	13		19	
地域密着型介護予防サービス	13	(13)	17		30	
介護予防認知症対応型通所介護	4	(4)	3		7	
介護予防小規模多機能型居宅介護	2	(2)	4		6	
介護予防認知症対応型共同生活介護	7	(7)	10		17	

○ 西多摩地区事業者数は、令和3年3月現在で青梅市が把握している事業者数です。

ウ 介護予防・生活支援サービス

() 内は、令和3年5月31日現在

サービス種別 \ 区 分	市 内		市 外		合 計	
介護予防・生活支援サービス	63	(63)	34	(34)	97	(97)
介護予防通所介護相当の通所型サービス	29	(29)	12	(12)	41	(41)
軽度者向けの通所型サービス	12	(12)	1	(1)	13	(13)
介護予防訪問介護相当の訪問型サービス	10	(10)	12	(12)	22	(22)
家事支援に特化した訪問型サービス	10	(10)	9	(9)	19	(19)
研修修了者による訪問型サービス	2	(2)	0	(0)	2	(2)

エ 介護予防支援委託にかかる居宅介護支援事業所

令和3年8月分

介護予防支援事業所名	委託事業所数	委託件数	契約事業所数
地域包括支援センター(市)	32	142	60
地域包括支援センターうめぞの	33	195	57
地域包括支援センターすえひろ	35	212	65

(4) 趣旨普及および広報

広報おうめ

6月1日号	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険負担限度額認定証の更新申請 ・高齢者の皆さんへ 熱中症予防で夏を元気に過ごしましょう ・認知症サポーター養成講座 ・寄りませんか「うめカフェ」
7月1日号	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料の納入通知書を送付します ・介護保険料の負担割合証・介護保険負担限度額認定証を送付します ・新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免 ・家具転倒防止器具等の無料支給・取り付け ・寄りませんか「うめカフェ」
7月15日号	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉センター内宴会室の使用を中止します ・青梅市敬老会は中止となりました
8月1日号	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料8月以降の特別徴収額が変更になる場合があります ・買物代行サービスを開始します ・東京都シルバーパス更新手続き ・介護予防講演会 いつまでも元気はつらつ!～今日から始めるフレイル予防～ ・健康寿命のび～る教室 ・認知症予防 脳イキイキ教室
8月1日号 特集号	<p>青梅市の介護保険 保存版</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8期青梅市高齢者保健福祉計画・青梅市介護保険事業計画の策定 他
8月15日号	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防リーダー養成講座 ・ちいき・いきいき・げんきパネル展

※令和3年6月1日～令和3年8月末まで

4 相談苦情受理状況

別紙6のとおり

5 事故発生時の報告状況

別紙7のとおり

1 認定関係

(1) 要介護度別認定者数の推移 (令和3年8月31日現在)

【別紙1】

要介護・ 要支援等認定者数 (青梅市)	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
要支援1	R3	847	13.6%	851	13.6%	852	13.5%	854	13.5%	861	13.6%														
	R2	885	14.5%	885	14.5%	890	14.5%	903	14.7%	903	14.6%	899	14.5%	896	14.6%	896	14.5%	895	14.5%	882	14.2%	884	14.2%	869	13.9%
	増減	▲38	▲0.9%	▲34	▲0.9%	▲38	▲1.0%	▲49	▲1.2%	▲42	▲1.0%	▲899		▲896		▲896		▲895		▲882		▲884		▲869	
要支援2	R3	770	12.3%	781	12.5%	786	12.5%	798	12.6%	786	12.4%														
	R2	835	13.6%	822	13.5%	808	13.2%	807	13.1%	809	13.1%	800	12.9%	786	12.8%	787	12.8%	787	12.7%	787	12.7%	769	12.3%	769	12.3%
	増減	▲65	▲1.3%	▲41	▲1.0%	▲22	▲0.7%	▲9	▲0.5%	▲23	▲0.7%	▲800		▲786		▲787		▲787		▲787		▲769		▲769	
要介護1	R3	1,102	17.6%	1,101	17.6%	1,111	17.6%	1,102	17.4%	1,108	17.5%														
	R2	1,058	17.3%	1,043	17.1%	1,038	17.0%	1,034	16.8%	1,037	16.8%	1,058	17.1%	1,058	17.2%	1,062	17.2%	1,063	17.2%	1,068	17.3%	1,080	17.3%	1,082	17.3%
	増減	44	0.3%	58	0.5%	73	0.6%	68	0.6%	71	0.7%	▲1,058		▲1,058		▲1,062		▲1,063		▲1,068		▲1,080		▲1,082	
要介護2	R3	972	15.5%	969	15.5%	975	15.5%	995	15.7%	994	15.7%														
	R2	957	15.6%	966	15.8%	976	15.9%	979	15.9%	967	15.7%	970	15.7%	952	15.5%	959	15.6%	964	15.6%	961	15.5%	975	15.7%	975	15.6%
	増減	15	▲0.1%	3	▲0.3%	▲1	▲0.4%	16	▲0.2%	27	▲0.0%	▲970		▲952		▲959		▲964		▲961		▲975		▲975	
要介護3	R3	846	13.5%	842	13.5%	849	13.5%	854	13.5%	863	13.6%														
	R2	819	13.4%	813	13.3%	815	13.3%	819	13.3%	825	13.4%	826	13.3%	829	13.5%	816	13.2%	817	13.2%	814	13.1%	826	13.3%	843	13.5%
	増減	27	0.1%	29	0.2%	34	0.2%	35	0.2%	38	0.2%	▲826		▲829		▲816		▲817		▲814		▲826		▲843	
要介護4	R3	1,028	16.4%	1,022	16.3%	1,037	16.4%	1,039	16.4%	1,044	16.4%														
	R2	907	14.8%	913	14.9%	922	15.1%	926	15.1%	940	15.2%	953	15.4%	942	15.3%	941	15.3%	956	15.5%	982	15.9%	987	15.9%	1,013	16.2%
	増減	121	1.6%	109	1.4%	115	1.3%	113	1.3%	104	1.2%	▲953		▲942		▲941		▲956		▲982		▲987		▲1,013	
要介護5	R3	693	11.1%	687	11.0%	696	11.0%	680	10.8%	693	10.9%														
	R2	661	10.8%	669	10.9%	671	11.0%	670	10.9%	689	11.2%	691	11.2%	693	11.3%	698	11.3%	705	11.4%	697	11.3%	706	11.3%	698	11.2%
	増減	32	0.3%	18	0.1%	25	▲0.0%	10	▲0.1%	4	▲0.3%	▲691		▲693		▲698		▲705		▲697		▲706		▲698	
青梅市 計	R3	6,258	100%	6,253	100%	6,306	100%	6,322	100%	6,349	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
	R2	6,122	100%	6,111	100%	6,120	100%	6,138	100%	6,170	100%	6,197	100%	6,156	100%	6,159	100%	6,187	100%	6,191	100%	6,227	100%	6,249	100%
	増減	136	—	142	—	186	—	184	—	179	—	▲6,197		▲6,156		▲6,159		▲6,187		▲6,191		▲6,227		▲6,249	
出現率	R3	15.9%		15.9%		16.0%		16.0%		16.1%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	
	R2	15.8%		15.7%		15.7%		15.8%		15.8%		15.9%		15.7%		15.7%		15.8%		15.8%		15.8%		15.9%	

※出現率=認定者数(1号認定者数+2号認定者数) / 第1号被保険者数

【青梅市介護保険事業計画】要支援・要介護度別認定者等の推計

(推計値は各年度とも9月末時点の数値としています)

要介護・ 要支援等認定者数 (青梅市推計値)	人数	構成比	
要支援1	R3	949	14.6%
	R2	681	10.5%
要支援2	R3	849	13.1%
	R2	1,011	15.5%
要介護1	R3	1,100	16.9%
	R2	1,111	17.1%
要介護2	R3	1,014	15.6%
	R2	1,003	15.4%
要介護3	R3	860	13.3%
	R2	888	13.7%
要介護4	R3	993	15.3%
	R2	1,102	17.0%
要介護5	R3	724	11.2%
	R2	700	10.8%
計	R3	6,489	100%
	R2	6,496	100%
出現率	R3	16.4%	
	R2	16.6%	

【参考】東京都 各年度とも6月末時点

要介護・ 要支援等認定者数	人数	構成比	
要支援1	R3	98,592	15.4%
	R2	96,057	15.5%
要支援2	R3	81,805	12.8%
	R2	81,736	13.2%
要介護1	R3	131,089	20.6%
	R2	123,844	20.1%
要介護2	R3	105,980	16.6%
	R2	105,124	17.0%
要介護3	R3	82,092	12.8%
	R2	78,422	12.5%
要介護4	R3	80,679	12.6%
	R2	75,683	12.1%
要介護5	R3	57,959	9.1%
	R2	59,320	9.6%
計	R3	638,196	100%
	R2	620,186	100%
出現率	R3	20.2%	
	R2	19.7%	

※出現率=認定者数(1号認定者数+2号認定者数) / 第1号被保険者数

(2) 第1号被保険者における認定者出現率 (令和3年8月31日現在)

【別紙2】

第1号被保険者数			4月			5月			6月			7月			8月			9月			
			人数	構成比	出現率	人数	構成比	出現率	人数	構成比	出現率	人数	構成比	出現率	人数	構成比	出現率	人数	構成比	出現率	
全国	R3	合計	35,809,257	100.0%	18.7%	35,818,018	100.0%	18.8%	35,827,962	100.0%	18.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
		前期(65~74歳)	17,498,587	48.9%	4.4%	17,514,737	48.9%	4.4%	17,512,244	48.9%	4.4%										
		後期(75歳以上)	18,310,670	51.1%	32.5%	18,303,281	51.1%	32.5%	18,315,718	51.1%	32.6%										
	R2	合計	35,577,741	100.0%	18.5%	35,598,850	100.0%	18.4%	35,611,665	100.0%	18.5%	35,635,398	100.0%	18.5%	35,664,191	100.0%	18.5%	35,689,227	100.0%	18.6%	
		前期(65~74歳)	17,271,859	48.5%	4.2%	17,287,251	48.6%	37.9%	17,296,598	48.6%	38.0%	17,306,120	48.6%	38.1%	17,319,089	48.6%	38.2%	17,332,426	48.6%	38.3%	
		後期(75歳以上)	18,305,882	51.5%	31.9%	18,311,599	51.4%	4.0%	18,315,067	51.4%	4.0%	18,329,278	51.4%	4.0%	18,345,102	51.4%	4.0%	18,356,801	51.4%	4.0%	
東京都	R3	合計	3,152,502	100.0%	19.7%	3,152,703	100.0%	19.7%	3,153,274	100.0%	19.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
		前期(65~74歳)	1,492,786	47.4%	4.8%	1,493,741	47.4%	4.8%	1,493,905	47.4%	4.8%										
		後期(75歳以上)	1,659,716	52.6%	33.1%	1,658,962	52.6%	33.2%	1,659,369	52.6%	33.3%										
	R2	合計	3,142,040	100.0%	19.4%	3,143,379	100.0%	19.3%	3,143,854	100.0%	19.3%	3,145,220	100.0%	19.4%	3,147,195	100.0%	19.4%	3,149,013	100.0%	19.4%	
		前期(65~74歳)	1,484,144	47.2%	4.6%	1,484,923	47.2%	4.6%	1,484,865	47.2%	4.6%	1,484,453	47.2%	4.6%	1,484,640	47.2%	4.7%	1,484,958	47.2%	4.7%	
		後期(75歳以上)	1,657,896	52.8%	32.5%	1,658,456	52.8%	32.4%	1,658,989	52.8%	32.4%	1,660,767	52.8%	32.5%	1,662,555	52.8%	32.6%	1,664,055	52.8%	32.6%	
青梅市	R3	合計	39,406	100.0%	15.5%	39,425	100.0%	15.5%	39,453	100.0%	15.6%	39,503	100.0%	15.6%	39,516	100.0%	15.7%	0	0.0%	0	
		前期(65~74歳)	20,275	51.5%	4.1%	20,270	51.4%	4.1%	20,260	51.4%	4.2%	20,266	51.3%	4.2%	20,212	51.1%	4.2%				
		後期(75歳以上)	19,131	48.5%	27.6%	19,155	48.6%	27.5%	19,193	48.6%	27.7%	19,237	48.7%	27.7%	19,304	48.9%	27.7%				
	R2	合計	38,846	100.0%	15.3%	38,886	100.0%	15.3%	38,901	100.0%	15.3%	38,957	100.0%	15.3%	39,048	100.0%	15.4%	39,094	100.0%	15.4%	
		前期(65~74歳)	19,960	51.4%	4.0%	19,984	51.4%	4.0%	19,967	51.3%	3.9%	19,974	51.3%	3.9%	20,008	51.2%	4.0%	20,020	51.2%	4.0%	
		後期(75歳以上)	18,886	48.6%	27.3%	18,902	48.6%	27.3%	18,934	48.7%	27.3%	18,983	48.7%	27.3%	19,040	48.8%	27.4%	19,074	48.8%	27.4%	

第1号被保険者数			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
			人数	構成比	出現率	人数	構成比	出現率	人数	構成比	出現率	人数	構成比	出現率	人数	構成比	出現率	人数	構成比	出現率
全国	R3	合計	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
		前期(65~74歳)																		
		後期(75歳以上)																		
	R2	合計	35,705,284	100.0%	18.6%	35,716,415	100.0%	18.7%	35,726,572	100.0%	18.7%	35,744,590	100.0%	18.6%	35,769,606	100.0%	18.6%	35,789,512	100.0%	18.7%
		前期(65~74歳)	17,351,626	48.6%	4.3%	17,373,489	48.6%	4.3%	17,404,899	48.7%	4.3%	17,415,099	48.7%	4.3%	17,438,220	48.8%	4.3%	17,463,104	48.8%	4.3%
		後期(75歳以上)	18,353,658	51.4%	32.2%	18,342,926	51.4%	32.3%	18,321,673	51.3%	32.3%	18,329,491	51.3%	32.2%	18,331,386	51.2%	32.3%	18,326,408	51.2%	32.4%
東京都	R3	合計	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
		前期(65~74歳)																		
		後期(75歳以上)																		
	R2	合計	3,149,856	100.0%	19.5%	3,150,203	100.0%	19.6%	3,151,058	100.0%	19.6%	3,150,528	100.0%	19.6%	3,151,385	100.0%	19.6%	3,151,714	100.0%	19.6%
		前期(65~74歳)	1,485,821	47.2%	4.7%	1,486,709	47.2%	4.7%	1,489,258	47.3%	4.7%	1,488,011	47.2%	4.7%	1,489,277	47.3%	4.7%	1,490,325	47.3%	4.7%
		後期(75歳以上)	1,664,035	52.8%	32.7%	1,663,494	52.8%	32.8%	1,661,800	52.7%	32.9%	1,662,517	52.8%	32.8%	1,662,108	52.7%	32.9%	1,661,389	52.7%	33.0%
青梅市	R3	合計	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
		前期(65~74歳)																		
		後期(75歳以上)																		
	R2	合計	39,136	100.0%	15.3%	39,146	100.0%	15.3%	39,175	100.0%	15.4%	39,240	100.0%	15.4%	39,315	100.0%	15.4%	39,362	100.0%	15.5%
		前期(65~74歳)	20,045	51.2%	3.9%	20,066	51.3%	4.0%	20,089	51.3%	4.0%	20,116	51.3%	4.1%	20,174	51.3%	4.1%	20,236	51.4%	4.1%
		後期(75歳以上)	19,091	48.8%	27.3%	19,080	48.7%	27.3%	19,086	48.7%	27.3%	19,124	48.7%	27.2%	19,141	48.7%	27.4%	19,126	48.6%	27.6%

※ここでの出現率は、第2号被保険者の認定者数を含まずに計算しています。(本来は、出現率=認定者数(1号認定者数+2号認定者数)/第1号被保険者数)

(3) 申請件数等の月別集計 (令和3年8月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
申請件数 (件)	R3	647	665	768	703	486	
	R2	431	434	513	533	535	454
認定調査数 (件)	R3	284	239	294	270	279	
	R2	387	232	358	369	346	282
審査判定数 (件)	R3	246	223	320	229	280	
	R2	435	312	285	338	368	378
変更率 (%)	R3	8.5%	10.9%	12.2%	11.6%	11.6%	
	R2	11.5%	11.2%	11.3%	11.3%	11.8%	11.5%
認定結果通知 平均日数 (日)	R3	30.5	31.0	30.8	30.7	31.0	
	R2	32.2	34.1	30.0	29.1	31.5	28.9

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
申請件数 (件)	R3							3,269
	R2	524	627	636	644	630	629	6,590
認定調査数 (件)	R3							1,366
	R2	328	334	358	316	261	292	3,863
審査判定数 (件)	R3							1,298
	R2	258	294	300	350	299	334	3,951
変更率 (%)	R3							—
	R2	11.7%	11.4%	11.8%	12.2%	12.3%	12.1%	—
認定結果通知 平均日数 (日)	R3							
	R2	27.7	31.7	30.2	35.4	30.0	30.6	31.0 (※3)

※1 変更率は、「要支援2」と「要介護1」を、同じ段階区分として集計しています。

※2・※3は、年間の認定結果通知平均日数です

(4) 審査判定内訳 (件) (令和3年8月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
非該当	4	8	9	4	6								31
要支援1	28	32	42	27	31								160
要支援2	22	36	38	26	20								142
要介護1	52	52	45	42	56								247
要介護2	42	24	56	40	43								205
要介護3	36	18	38	24	41								157
要介護4	45	31	52	39	42								209
要介護5	17	22	40	27	41								147
計	246	223	320	229	280	0	0	0	0	0	0	0	1,298

(5) 更新申請におけるコロナウイルス特例適用件数 (令和3年8月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
更新申請件数	405	475	543	499	266								2,188
特例適用件数	346	422	466	410	219								1,863

2 保険料

【別紙4】

(1) 令和3年度介護保険料の賦課収納状況（8月末日現在）

(単位:千円)

区	分	予算額	調定額 (8月末日現在)	月 別 収 入 済 額 (月末値)												合計 (8月末日現在)			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		4月	5月	
現年度分	特別徴収	R3	2,108,292	2,214,672	0	354,388	△ 582	354,917	△ 4,903	0	0	0	0	0	0	0	0	0	703,820
		R2	2,119,287	2,089,244	0	353,825	△ 778	354,770	△ 4,771	341,168	△ 9,112	348,832	△ 1,562	346,144	△ 1,272	343,341	△ 1,162	△ 975	703,046
	普通徴収	R3	166,603	221,275	※ 728	※ 645	※ 260	25,668	42,985	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70,285
		R2	188,250	190,297	※ 587	※ 447	266	24,991	32,840	22,993	23,138	20,214	21,465	21,296	21,143	20,632	4,522	1,647	59,130
	計	R3	2,274,895	2,435,947	728	355,033	△ 322	380,584	38,082										774,105
		R2	2,307,537	2,279,540	587	354,272	△ 512	379,760	28,069	364,161	14,026	369,046	19,903	367,440	19,871	363,972	3,360	672	762,175
滞納繰越分	普通徴収	R3	5,788	21,793	224	231	1,361	833	887	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,536
		R2	7,236	26,727	269	105	1,002	2,363	1,294	577	582	343	597	299	311	497	0	0	5,032
合 計	特別徴収	R3	2,108,292	2,214,672	0	354,388	△ 582	354,917	△ 4,903										703,820
		R2	2,119,287	2,089,244	0	353,825	△ 778	354,770	△ 4,771	341,168	△ 9,112	348,832	△ 1,562	346,144	△ 1,272	343,341	△ 1,162	△ 975	703,046
	普通徴収	R3	172,391	243,068	952	876	1,621	26,501	43,872										73,821
		R2	195,486	217,024	855	552	1,267	27,353	34,134	23,571	23,721	20,557	22,062	21,594	21,455	21,129	4,522	1,647	64,162
	計	R3	2,280,683	2,457,741	952	355,264	1,039	381,417	38,969										777,641
		R2	2,314,773	2,306,267	855	354,377	490	382,123	29,363	364,738	14,609	369,389	20,500	367,739	20,183	364,470	3,360	672	767,208

※ 普通徴収は7月から第1期の納期がはじまるため、4月、5月、6月分は前年度相当分。ただし、財務会計上は当該年度の調定として処理します。賦課決定が新年度（4月以降）であるためです。
 対象となる者 ⇒ 3月以前に転入した者（所得調査を行ったのちに賦課決定します。）や遅れて税の申告をした者

(単位:千円)

区	分	予算額	調定額 (8月末日現在)	月 別 収 入 済 額 (月末値)												合計 (8月末日現在)			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		4月	5月	
延滞金	普通徴収	R3	200	76	2	21	36	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76
		R2	200	164	74	5	12	44	29	36	36	5	23	8	30	15	0	0	164

3 サービス関係

【別紙5】

(1) 受給者数

(単位：人)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護認定者	R3	6,258	6,253	6,306	6,322	6,349								-
	R2	6,122	6,111	6,120	6,138	6,170	6,197	6,156	6,159	6,187	6,191	6,227	6,249	-
居宅介護サービス受給者	R3	3,087	3,086	3,123	3,071	3,202								15,569
	R2	2,910	2,829	2,868	2,893	2,928	2,961	3,012	3,007	3,042	3,027	2,991	3,008	35,476
地域密着型サービス受給者	R3	519	532	530	542	545								2,668
	R2	497	468	462	492	501	489	504	518	522	526	509	493	5,981
施設サービス受給者	R3	1,379	1,368	1,372	1,390	1,377								6,886
	R2	1,334	1,333	1,333	1,333	1,332	1,305	1,343	1,342	1,329	1,356	1,362	1,355	16,057
介護老人福祉施設	R3	948	943	951	965	952								4,759
	R2	918	924	923	922	915	909	942	952	949	959	944	936	11,193
介護老人保健施設	R3	337	340	337	344	349								1,707
	R2	330	320	324	328	322	315	314	301	292	302	325	326	3,799
介護療養型医療施設	R3	67	65	62	59	57								310
	R2	82	69	68	66	66	64	69	69	70	73	72	70	838
介護医療院	R3	29	25	28	27	26								135
	R2	7	21	22	21	23	24	27	26	23	26	24	26	270
受給者 計	R3	4,985	4,986	5,025	5,003	5,124	0	0	0	0	0	0	0	25,123
	R2	4,741	4,630	4,663	4,718	4,761	4,755	4,859	4,867	4,893	4,909	4,862	4,856	57,514

(2) 給付状況

(単位：円)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	(A)年間計(千円)	(B)計画値(千円)	計画比(A/B)
居宅介護サービス費	R3	252,873,538	242,832,422	245,735,969	251,358,767	255,743,288								2,996,505,562	2,996,506	2,885,587	103.8%
	R2	224,938,419	219,396,081	208,341,181	226,252,721	234,469,327	231,611,399	235,841,595	243,947,228	236,106,787	238,530,420	227,992,091	221,439,213	2,748,866,462	2,748,866	2,999,497	91.6%
地域密着型サービス費	R3	75,686,238	72,144,920	74,152,722	73,762,909	74,976,475								889,735,834	889,736	878,839	101.2%
	R2	67,228,253	64,362,789	68,022,850	68,726,280	69,145,781	69,017,761	70,649,453	72,261,238	70,443,918	72,614,201	69,603,078	66,467,052	828,542,654	828,543	882,479	93.9%
施設介護サービス費	R3	399,729,841	389,229,053	408,028,140	395,227,613	406,392,188								4,796,656,404	4,796,656	4,657,309	103.0%
	R2	385,638,106	376,581,473	385,622,513	373,091,261	385,735,956	379,146,770	384,602,470	385,574,098	376,473,004	396,187,419	397,505,567	359,489,035	4,585,647,672	4,585,648	4,542,977	100.9%
福祉用具購入費	R3	990,322	988,081	1,819,971	0	2,438,160								14,967,682	14,968	14,806	101.1%
	R2	1,183,360	1,019,522	1,155,895	857,410	971,165	1,241,885	1,568,437	1,209,672	999,259	1,170,883	829,509	1,029,446	13,236,443	13,236	12,565	105.3%
住宅改修費	R3	3,828,291	3,171,727	3,189,293	0	2,942,833								31,517,146	31,517	42,817	73.6%
	R2	2,800,712	2,718,386	3,027,640	2,363,176	1,618,013	3,320,171	2,824,747	3,411,796	3,625,105	3,256,500	2,391,615	2,021,223	33,379,084	33,379	44,649	74.8%
サービス計画給付費	R3	37,440,386	38,326,670	39,058,083	39,228,241	39,378,681								464,236,946	464,237	425,822	109.0%
	R2	33,635,428	32,889,389	33,521,466	33,803,486	34,512,260	34,991,095	35,636,710	35,910,221	36,278,882	36,246,549	36,322,999	36,618,338	420,366,823	420,367	425,439	98.8%
審査支払手数料	R3	654,487	651,737	668,237	673,187	677,099								7,979,392	7,979	7,414	107.6%
	R2	606,272	597,105	591,727	611,160	614,522	620,632	633,160	633,221	645,992	646,482	638,782	636,643	7,475,698	7,476	7,812	95.7%
高額介護サービス費	R3	21,184,976	25,280,441	24,186,197	24,915,933	25,049,563								289,481,064	289,481	306,136	94.6%
	R2	21,219,035	24,163,032	23,041,844	24,294,916	23,904,483	24,345,059	23,531,700	22,986,594	24,501,607	25,205,117	25,328,498	25,600,558	288,122,443	288,122	259,131	111.2%
高額医療合算介護サービス費	R3	10,687	9,040,226	13,971,505	5,506,925	680,753								29,210,096	29,210	35,169	83.1%
	R2	295,278	23,409,752	3,159,991	2,132,392	2,223,067	183,575	639,411	418,816	198,699	74,551	20,473	50,945	32,806,950	32,807	30,398	107.9%
特定入所者介護サービス費	R3	32,821,685	31,755,740	33,821,471	32,323,179	32,991,616								392,912,858	392,913	341,727	115.0%
	R2	32,708,584	31,897,259	33,009,592	31,616,572	32,847,582	32,877,799	33,122,737	33,236,585	32,576,603	33,525,493	33,463,445	30,550,760	391,433,011	391,433	397,855	98.4%
給付費 計	R3	825,220,451	813,421,017	844,631,588	822,996,754	841,270,656	0	0	0	0	0	0	0	9,913,202,983	9,913,203	9,595,626	103.3%
	R2	770,253,447	777,034,788	759,494,699	763,749,374	786,042,156	777,356,146	789,050,420	799,589,469	781,849,856	807,457,615	794,096,057	743,903,213	9,349,877,240	9,349,877	9,602,802	97.4%

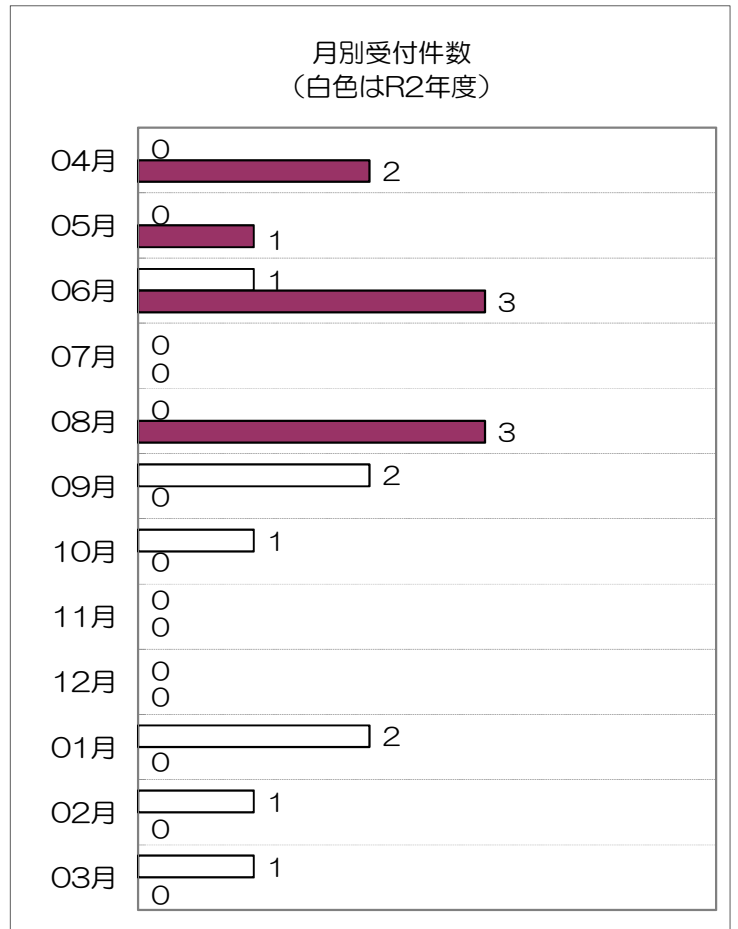
※R3の年間計は、4月～8月実績計の平均値×12で計上しています。ただし、高額医療合算介護サービス費については4月～8月実績計としています。

4 相談苦情受理状況(令和3年4月～令和3年8月)

1 月別受付件数

月	R2	R3	都全体(R2)
04月	0	2	215
05月	0	1	154
06月	1	3	240
07月	0	0	567
08月	0	3	361
09月	2	0	193
10月	1	0	195
11月	0	0	207
12月	0	0	177
01月	2	0	163
02月	1	0	187
03月	1	0	210
計	8	9	2,869

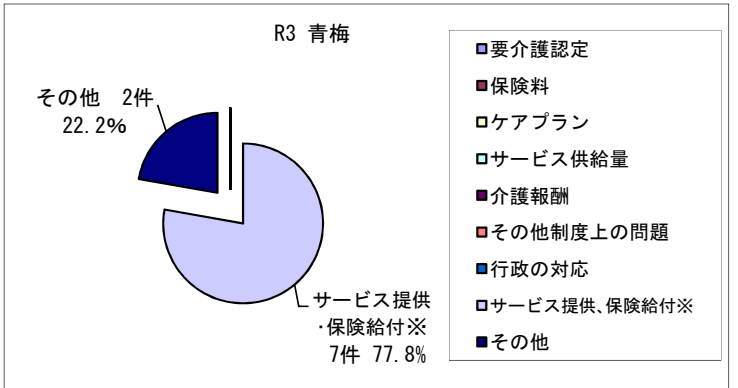
(件)



2 分類

	R2	R3	都全体(R2)
要介護認定	0	0	72
保険料	0	0	694
ケアプラン	0	0	35
サービス供給量	0	0	12
介護報酬	0	0	24
その他制度上の問題	0	0	45
行政の対応	0	0	109
サービス提供、保険給付※	9	7	1,572
その他	0	2	306
計	9	9	2,869

(件)

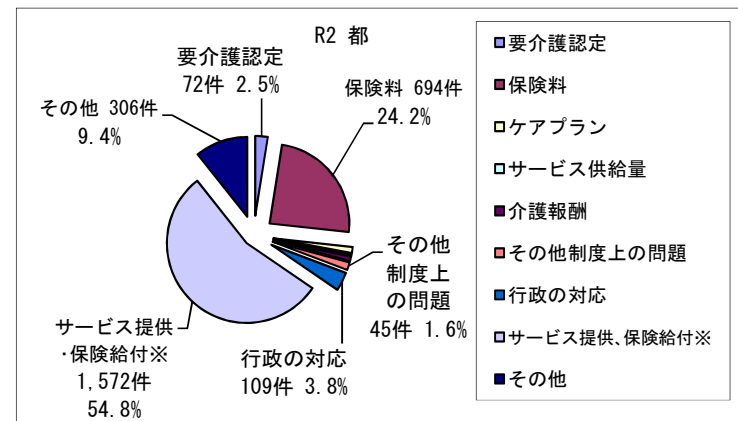


※2の分類がサービス提供、保険給付の場合の苦情内容

2-1 苦情内容

	R2	R3	都全体(R2)
サービスの質	1	0	415
従事者の態度	6	3	277
管理者等の対応	1	2	175
説明・情報の不足	1	2	284
具体的な被害・損害	0	0	169
利用者負担	0	0	36
契約・手続関係	0	0	103
その他	0	0	113
計	9	7	1,572

(件)



※2の分類がサービス提供、保険給付の場合のサービスの種類

2-2 サービスの種類

(件)

介護サービス	R2	R3	都全体(R2)
居宅介護支援	4	1	380
訪問介護	0	0	203
訪問入浴介護	0	0	6
訪問看護	0	0	81
訪問リハビリテーション	0	0	3
居宅療養管理指導	0	0	3
通所介護	0	2	121
通所リハビリテーション	1	1	20
短期入所生活介護	0	0	66
短期入所療養介護(老)	0	0	11
短期入所療養介護(病)	0	0	0
短期入所療養介護(院)	0	0	0
特定施設入居者生活介護(短期以外)	0	0	144
特定施設入居者生活介護(短期)	0	0	8
福祉用具貸与	0	0	13
特定福祉用具販売	0	0	3
住宅改修費	0	0	5
介護老人福祉施設	4	3	171
介護老人保健施設	0	0	110
介護療養型医療施設	0	0	2
介護医療院	0	0	0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護			8
夜間対応型訪問介護			0
地域密着型通所介護	0	0	33
認知症対応型通所介護	0	0	10
小規模多機能型居宅介護(短期以外)	0	0	18
小規模多機能型居宅介護(短期)	0	0	0
認知症対応型共同生活介護(短期以外)	0	0	40
認知症対応型共同生活介護(短期)			1
地域密着型特定施設入居者生活介護(短期以外)			1
地域密着型特定施設入居者生活介護(短期)			0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護			10
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護・短期以外)	0	0	6
複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護・短期)	0	0	0
小計(1)	9	7	1,477

3 東京都介護保険審査会

への不服申立て件数

(件)

区分	R2	R3	都全体
要介護認定に関すること	0	0	
介護保険料に関すること	0	0	
計	0	0	

(件)

介護予防サービス	R2	R3	都全体(R2)
介護予防支援	0	0	26
介護予防訪問介護	0	0	1
介護予防訪問入浴介護	0	0	0
介護予防訪問看護	0	0	3
介護予防訪問リハビリテーション	0	0	0
介護予防居宅療養管理指導	0	0	0
介護予防通所介護	0	0	1
介護予防通所リハビリテーション	0	0	5
介護予防短期入所生活介護	0	0	0
介護予防短期入所療養介護(老)	0	0	0
介護予防短期入所療養介護(病)	0	0	0
介護予防短期入所療養介護(院)	0	0	0
介護予防特定施設入居者生活介護	0	0	1
介護予防福祉用具貸与	0	0	2
特定介護予防福祉用具販売	0	0	0
介護予防住宅改修費	0	0	0
介護予防認知症対応型通所介護	0	0	0
介護予防小規模多機能型居宅介護(短期以外)	0	0	1
介護予防小規模多機能型居宅介護(短期)	0	0	0
介護予防認知症対応型共同生活介護(短期以外)	0	0	0
介護予防認知症対応型共同生活介護(短期)	0	0	0
小計(2)	0	0	40

(件)

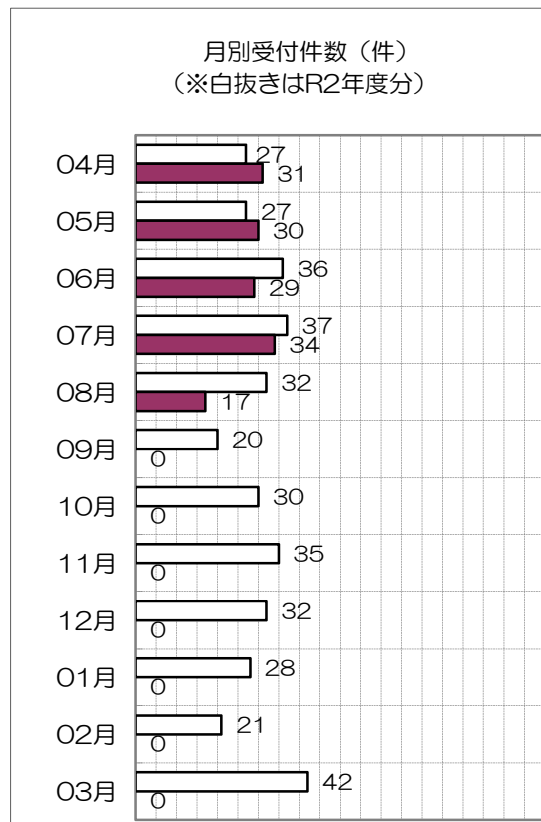
総合事業サービス	R2	R3	都全体(R2)
訪問型サービスA訪問型みなし	0	0	3
訪問型サービスA訪問型独自	0	0	4
訪問型サービスA訪問型定率	0	0	9
訪問型サービスA訪問型定額	0	0	0
訪問型サービスB			0
訪問型サービスC	0	0	0
訪問型サービスD			0
通所型サービスA通所型みなし	0	0	2
通所型サービスA通所型独自	0	0	6
通所型サービスA通所型定率	0	0	4
通所型サービスA通所型定額	0	0	1
通所型サービスB			1
通所型サービスC	0	0	0
生活支援配食定率			0
生活支援配食定額			0
生活支援見守定率			0
生活支援見守定額			0
生活支援・他定率			0
生活支援・他定額			0
介護予防ケアマネ	0	0	25
小計(3)	0	0	55
計【小計(1)～(3)】	9	7	1,572

5 事故発生時の報告状況

令和3年4月～令和3年8月

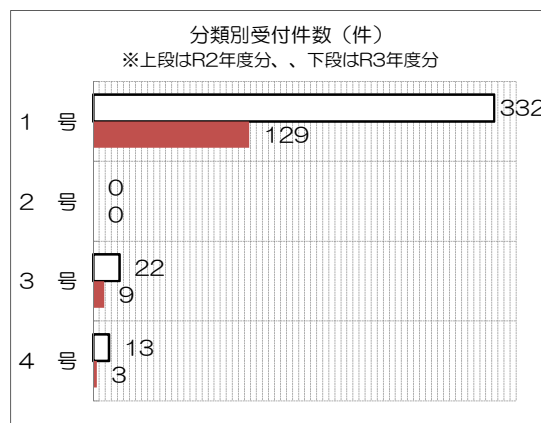
1 月別届出件数 (件)

	R2	R3
04月	27	31
05月	27	30
06月	36	29
07月	37	34
08月	32	17
09月	20	-
10月	30	-
11月	35	-
12月	32	-
01月	28	-
02月	21	-
03月	42	-
計	367	141



2 分類別届出件数 (件)

	R2	R3
1号	332	129
2号	0	0
3号	22	9
4号	13	3
計	367	141



* 分類 *

【1号】

介護サービス利用者に対する介護サービスの提供により発生した死亡または重傷等の入院加療等を必要とする事故

- ①ケガ等で医療機関で入院や治療を受けたもの
- ②誤飲が原因等で医療機関で入院や治療を受けたもの
- ③利用者等のトラブルで医療機関で入院や治療を受けたもの

【2号】

利用者に対する介護サービスの提供に伴う業務遂行により発生し、請求された損害賠償にかかる事故

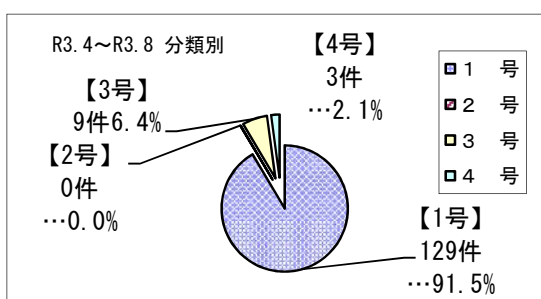
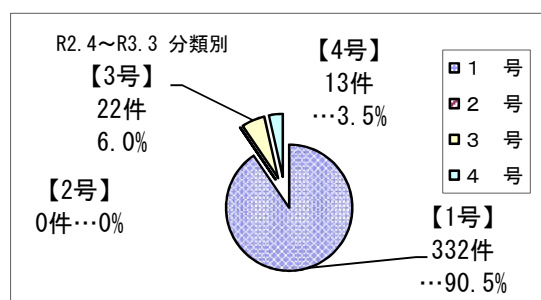
【3号】

食中毒、感染症等(結核、疥癬)で法令により保健所等へ通報が義務付けられている事由の事故

【4号】

その他市長が必要と認める事故

- ①従業員の法令違反
- ②不祥事等利用者の処遇に影響があるもの
- ③震災、風水害、火災等これに類する災害



青梅市地域包括支援センターの主な運営状況について

1 青梅市地域包括支援センター連絡会

回	開催日	内 容
147	6月2日(水)	主任介護支援専門員連絡会について 他
148	7月7日(水)	地域ケア会議について 他
149	8月4日(水)	介護予防教室について 他

2 地域ケア会議

開催日	内 容
7月30日	3事例検討 「威圧的な態度をとられることでいいなりプランのまま継続している事例」 「インフォーマルサービスの利用について」 「精神的に不安定な方への支援～自分らしくおしゃれに生活したいという気持ちを叶えたい～」

3 総合相談支援業務

(延べ件数)

区 分	相 談 件 数	
	R3年6～R3年8月	前年同期
地域包括支援センター(市)	892	905
地域包括支援センターうめぞの	1,075	655
地域包括支援センターすえひろ	1,355	1,365
計	3,322	2,925

※令和3年8月31日現在 第1号被保険者数 39,516人

(要支援1・2 1,647人、事業対象者 80人)

4 権利擁護業務

相談件数

(延べ件数)

区 分	相 談 件 数	
	R3年6～R3年8月	前年同期
地域包括支援センター(市)	27	55
地域包括支援センターうめぞの	12	12
地域包括支援センターすえひろ	92	27
計	131	94

・成年後見制度の利用や申立てに関する相談等：14件(3包括計)

5 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1) 相談件数

(延べ件数)

区 分	相 談 件 数	
	R 3 年 6～R 3 年 8 月	前年同期
地域包括支援センター（市）	12	42
地域包括支援センターうめぞの	69	75
地域包括支援センターすえひろ	47	33
計	128	150

(2) 勉強会等

開 催	名 称	内 容
6～8月 各月7回	ケアプラン勉強会（オンラインおよび対面開催）	各グループの目標に沿った事例検討、自立支援のケアプランへの指導、地域のケアマネジャーからの相談 ほか
6月21日	主任介護支援専門員連絡会	「地域包括ケアシステムに向けて地域づくりに必要なこと」ほか
8月	ケアマネジャー勉強会	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により延期

6 介護予防に係るケアマネジメント

介護予防ケアマネジメント・介護予防支援件数

(延べ件数)

区 分	プ ラ ン 件 数	
	R 3 年 6～R 3 年 8 月	前年同期
地域包括支援センター（市）	705	755
地域包括支援センターうめぞの	1,203	1,310
地域包括支援センターすえひろ	766	762
計	2,674	2,827

7 任意事業

(1) 認知症サポーター養成研修事業

認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成する研修を実施した。

開催日	受講団体名	講 師	参加人数
6月15日	市民	中 里 茜	24
6月23日	民生委員高齢者福祉研究部会	古久保 俊 樹	28
7月12日	東京都立青梅総合高校	相 馬 健 一	18

8 その他

(1) 介護予防教室

介護予防、フレイル予防等をテーマにリハビリテーション専門職を講師に、講義や体操、レクリエーションを実施した。

開催日	場所	参加人数
6月7日	大門市民センター体育館	20
6月8日	河辺市民センター体育館	11
6月11日	ネッツたまぐーセンター	9
6月14日	大門市民センター体育館	18
6月15日	河辺市民センター体育館	11
6月18日	ネッツたまぐーセンター	10
6月22日	河辺市民センター体育館	9
6月25日	ネッツたまぐーセンター	11
6月28日	大門市民センター体育館	14
7月28日	日向和田二丁目自治会館	19
	計	132

(2) 介護予防講演会

開催日	参加人数	内容	講師
8月30日	15	講演 「いつまでも元気はっらっ！今日から始めるフレイル予防～」	東京都健康長寿医療センター 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター 植田拓也

(3) 75歳在宅高齢者調査票の送付

事前にフレイルチェック等や既往歴を確認する調査票を送付、記載後に返送してもらい、調査結果をもとに、電話による相談、本人了承のもと訪問を行い、高齢者の状況把握を行っている。また、調査票送付時には、フレイル予防に関するチラシも同封し、外出自粛により生活機能の低下が危惧される高齢者への注意喚起およびフレイルの普及啓発も行っ

た。

調査票発送数 1,164通 (6月4日発送)

回収率 82.6% (962通回収)

【地域密着型サービス】

資料 4

(1) 施設基盤整備について

数字は既設もしくは開設予定数。認知症対応型共同生活介護についてはユニット数

	認知症対応型通所介護					認知症対応型共同生活介護					小規模多機能型居宅介護および 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）					定期巡回・随時対応型訪問介護看護				
	7期末累計	R03	R04	R05	計	7期末累計	R03	R04	R05	計	7期末累計	R03	R04	R05	計	7期末累計	R03	R04	R05	計
第1地区	1	-	-	-	1	2	-	-	-	2	1	-	-	-	1	0	-	-	-	0
第2地区	2	-	-	-	2	5	-	-	-	5	1	-	1	-	4	0	1	-	-	1
第3地区	1	-	-	-	1	3	-	-	-	3	1	-	-	-	0	0	0	0	0	
計	4	0	0	0	4	10	0	0	0	10	3	0	1	0	4	0	1	0	0	1

(2) 認知症対応型通所介護

圏域	事業所名	定員		04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計		
第1地区	東青梅デイサービスセンター	R3	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日							131日		
			延利用者	170人	160人	167人	195人	185人									877人	
			電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人									0人	
	12人	1日平均	6.5人	6.2人	6.4人	7.2人	7.1人									6.7人		
	すずらん	R2	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	27日	25日	26日	24日	24日	27日	310日	
			延利用者	125人	126人	165人	162人	174人	175人	188人	198人	195人	182人	161人	171人		2,022人	
電話連絡・訪問対応者			0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		2人		
12人	1日平均	4.8人	4.8人	6.3人	6.0人	6.7人	6.7人	7.0人	7.9人	7.5人	7.6人	6.7人	6.3人		6.5人			
第2地区	河辺デイサービスセンター	R3	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日							131日		
			延利用者	248人	249人	266人	292人	291人								1,346人		
			電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人									0人	
			12人	1日平均	9.5人	9.6人	10.2人	10.8人	11.2人								10.3人	
	わかくさ	R2	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	27日	25日	26日	24日	24日	27日	310日	
			延利用者	267人	279人	286人	244人	263人	261人	261人	245人	273人	243人	254人	267人		3,143人	
			電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		0人	
			12人	1日平均	10.3人	10.7人	11.0人	9.0人	10.1人	10.0人	9.7人	9.8人	10.5人	10.1人	10.6人	9.9人		10.1人
	第2地区	デイサービスセンター	R3	1日	営業日数	22日	21日	22日	22日	22日							109日	
				延利用者	191人	213人	219人	222人	218人								1,063人	
				電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人									0人
				12人	1日平均	8.7人	10.1人	10.0人	10.1人	9.9人								
第2地区	リバーバレス青梅	R2	1日	営業日数	22日	21日	22日	23日	21日	22日	21日	21日	20日	20日	23日	258日		
			延利用者	140人	148人	156人	172人	176人	190人	159人	152人	173人	153人	165人	206人	1,990人		
			電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		0人	
			12人	1日平均	6.4人	7.0人	7.1人	7.5人	8.4人	8.6人	7.2人	7.2人	8.2人	7.7人	8.3人	9.0人		7.7人
第3地区	木野下デイサービスセンター	R3	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日							131日		
			延利用者	134人	124人	127人	154人	156人								695人		
			電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人									0人	
			10人	1日平均	5.2人	4.8人	4.9人	5.7人	6.0人									5.3人
	第3地区	木野下デイサービスセンター	R2	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	27日	25日	26日	24日	24日	27日	310日
				延利用者	132人	120人	123人	134人	141人	153人	174人	161人	130人	153人	145人	144人		1,710人
10人	電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		0人			
10人	1日平均	5.1人	4.6人	4.7人	5.0人	5.4人	5.9人	6.4人	6.4人	5.0人	6.4人	6.0人	5.3人		5.5人			

(3) 認知症対応型共同生活介護

R03. 8.31現在

圏域	事業所名	定員		利用者内訳（保険者）			利用者内訳（要介護度）						
		定員数	充足率	青梅市	他	計	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1地区	グループホームひだまりの家	9人	100.0%	9人	0人	9人	0人	1人	2人	4人	0人	2人	9人
	グループホームみんなんち	9人	77.8%	7人	0人	7人	0人	2人	3人	1人	1人	0人	7人
第2地区	グループホームはびねす若草	18人	94.4%	16人	1人	17人	0人	1人	4人	7人	2人	3人	17人
	グループホームみんなんち第2	9人	100.0%	9人	0人	9人	0人	3人	2人	3人	1人	0人	9人
第3地区	グループホームともだ	18人	100.0%	17人	1人	18人	0人	2人	4人	6人	3人	3人	18人
	グループホームはびねす新田山	9人	100.0%	9人	0人	9人	0人	2人	3人	2人	2人	0人	9人
第3地区	地域ケアサポート館 福わ家 グループホーム	18人	100.0%	18人	0人	18人	0人	2人	5人	5人	4人	2人	18人
合計		90人	96.7%	85人	2人	87人	0人	13人	23人	28人	13人	10人	87人

(4) 小規模多機能型居宅介護

圏域	事業所名			04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	月平均					
第1地区	多機能ケアホーム みんなんち	R3	利用者数	定員(基準)	営業日数	30日	31日	30日	31日	31日							-				
				登録定員 29人	登録者数	23人	23人	25人	26人	23人									24人		
			通所	定員/日 15人	延利用者	406人	372人	422人	422人	381人										392人	
					1日平均	13.5人	12.0人	12.6人	13.6人	12.3人										12.8人	
				訪問	基準なし	延利用者	669人	700人	666人	707人	642人										677人
						1日平均	22.3人	22.6人	22.2人	22.8人	20.7人										22.1人
		宿泊	定員/日 9人	延利用者	149人	137人	137人	175人	147人										149人		
				1日平均	5.0人	4.4人	4.6人	5.6人	4.7人										4.9人		
		R2	利用者数	定員(基準)	営業日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日		-		
				登録定員 29人	登録者数	19人	18人	19人	18人	18人	21人	20人	23人	22人	21人	22人	23人	23人	20人		
			通所	定員/日 15人	延利用者	349人	347人	378人	319人	357人	436人	460人	423人	435人	339人	343人	403人	382人		382人	
					1日平均	11.6人	11.2人	12.6人	10.3人	11.5人	14.5人	14.8人	14.1人	14.0人	10.9人	12.3人	13.0人	12.6人		12.6人	
				訪問	基準なし	延利用者	588人	516人	458人	107人	488人	643人	642人	634人	638人	636人	613人	694人	555人		555人
						1日平均	19.6人	16.6人	15.3人	3.5人	15.7人	21.4人	20.7人	21.1人	20.6人	20.5人	21.9人	22.4人	18.3人		18.3人
宿泊	定員/日 9人	延利用者	76人	93人	137人	126人	128人	124人	140人	149人	134人	93人	104人	142人	121人		121人				
		1日平均	2.5人	3.0人	4.6人	4.1人	4.1人	4.1人	4.5人	5.0人	4.3人	3.0人	3.7人	4.6人	4.0人		4.0人				
第3地区	地域ケアサポート館 福わ家	R3	利用者数	定員(基準)	営業日数	30日	31日	30日	31日	31日								-			
				登録定員 29人	登録者数	29人	26人	25人	26人	26人									26人		
			通所	定員/日 18人	延利用者	301人	301人	305人	329人	350人										317人	
					1日平均	10.0人	9.7人	10.2人	10.6人	11.3人										10.4人	
				訪問	基準なし	延利用者	513人	586人	579人	586人	644人										582人
						1日平均	17.1人	18.9人	19.3人	18.9人	20.8人										19.0人
		宿泊	定員/日 5人	延利用者	15人	19人	18人	28人	20人										20人		
				1日平均	0.5人	0.6人	0.6人	0.9人	0.6人										0.7人		
		R2	利用者数	定員(基準)	営業日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日		-		
				登録定員 29人	登録者数	26人	27人	25人	24人	26人	27人	28人	20人	28人	26人	26人	28人	26人	26人	26人	
			通所	定員/日 18人	延利用者	245人	268人	316人	237人	317人	299人	304人	303人	292人	241人	240人	301人	280人		280人	
					1日平均	8.2人	8.6人	10.5人	7.6人	10.2人	10.0人	9.8人	10.1人	9.4人	7.8人	8.6人	9.7人	9.2人		9.2人	
				訪問	基準なし	延利用者	516人	559人	537人	534人	613人	626人	652人	641人	671人	452人	406人	497人	559人		559人
						1日平均	17.2人	18.0人	17.9人	17.2人	19.8人	20.9人	21.0人	21.4人	21.6人	14.6人	14.5人	16.0人	18.3人		18.3人
宿泊	定員/日 5人	延利用者	8人	0人	6人	11人	13人	10人	15人	16人	13人	14人	17人	17人	12人		12人				
		1日平均	0.3人	0.0人	0.2人	0.4人	0.4人	0.3人	0.5人	0.5人	0.4人	0.5人	0.6人	0.5人	0.4人		0.4人				

(5) 看護小規模多機能型居宅介護

圏域	事業所名			04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	月平均					
第2地区	青梅複合型 ケアサービスセンター	R3	利用者数	定員(基準)	営業日数	30日	31日	30日	31日	31日							-				
				登録定員 29人	登録者数	22人	24人	26人	26人	26人									25人		
			通所	定員/日 15人	延利用者	397人	417人	434人	457人	462人										433人	
					1日平均	13.2人	13.5人	14.5人	14.7人	14.9人										14.2人	
				訪問介護	基準なし	延利用者	249人	306人	391人	438人	423人										361人
						1日平均	8.3人	9.9人	13.0人	14.1人	13.6人										11.8人
		訪問看護	基準なし	延利用者	64人	73人	78人	102人	100人										83人		
				1日平均	2.1人	2.4人	2.6人	3.3人	3.2人										2.7人		
		宿泊	定員/日 9人	延利用者	143人	136人	142人	132人	140人										139人		
				1日平均	4.8人	4.4人	4.7人	4.3人	4.5人										4.5人		
		R2	利用者数	定員(基準)	営業日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日		-		
				登録定員 29人	登録者数	27人	28人	27人	24人	24人	24人	24人	25人	26人	24人	23人	22人	22人	25人		
			通所	定員/日 15人	延利用者	374人	381人	409人	406人	410人	388人	418人	396人	466人	425人	392人	425人	408人		408人	
					1日平均	12.5人	12.3人	13.6人	13.1人	13.2人	12.9人	13.5人	13.2人	15.0人	13.7人	14.0人	13.7人	13.4人		13.4人	
				訪問介護	基準なし	延利用者	245人	234人	290人	313人	298人	288人	289人	284人	290人	245人	200人	252人	269人		269人
						1日平均	8.2人	7.5人	9.7人	10.1人	9.6人	9.6人	9.3人	9.5人	9.4人	7.9人	7.1人	8.1人	8.8人		8.8人
		訪問看護	基準なし	延利用者	77人	65人	66人	64人	50人	50人	49人	49人	73人	68人	58人	60人	61人		61人		
				1日平均	2.6人	2.1人	2.2人	2.1人	1.6人	1.7人	1.6人	1.6人	2.4人	2.2人	2.1人	1.9人	2.0人		2.0人		
宿泊	定員/日 9人	延利用者	110人	119人	129人	159人	159人	130人	154人	127人	169人	164人	150人	169人	145人		145人				
		1日平均	3.7人	3.8人	4.3人	5.1人	5.1人	4.3人	5.0人	4.2人	5.5人	5.3人	5.4人	5.5人	4.8人		4.8人				

(6) 地域密着型通所介護

圏域	事業所名		定員		04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計			
第1地区	東青梅デイサービスセンター	R3	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日								131日			
				延利用者	356人	339人	347人	347人	337人										1,726人	
				電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人											0人
		18人	1日平均	13.7人	13.0人	13.3人	12.9人	13.0人											13.2人	
		R2	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	27日	25日	26日	24日	24日	27日			310日	
				延利用者	271人	280人	338人	334人	327人	331人	353人	324人	347人	280人	295人	331人				3,811人
	電話連絡・訪問対応者			0人	0人	3人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人	
	18人	1日平均	10.4人	10.8人	13.0人	12.4人	12.6人	12.7人	13.1人	13.0人	13.3人	11.7人	12.3人	12.3人				12.3人		
	デイサービス のぞみ	R3	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日										131日	
				延利用者	139人	148人	156人	159人	169人											771人
				電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人											0人
		10人	1日平均	5.3人	5.7人	6.0人	5.9人	6.5人											5.9人	
		R2	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	27日	25日	26日	24日	24日	27日			310日	
				延利用者	120人	135人	149人	134人	124人	118人	121人	113人	124人	122人	124人	135人				1,519人
	電話連絡・訪問対応者			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	10人	1日平均	4.6人	5.2人	5.7人	5.0人	4.8人	4.5人	4.5人	4.5人	4.8人	5.1人	5.2人	5.0人				4.9人		
	デイサービスセンター みんなんち日向和田	R3	1日	営業日数	26日	26日													52日	
				延利用者	120人	111人														231人
				電話連絡・訪問対応者	0人	0人														
		10人	1日平均	4.6人	4.3人															4.4人
		R2	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	27日	25日	25日	24日	24日	27日			309日	
				延利用者	86人	80人	108人	106人	114人	123人	119人	105人	111人	112人	103人	125人				1,292人
	電話連絡・訪問対応者			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	10人	1日平均	3.3人	3.1人	4.2人	3.9人	4.4人	4.7人	4.4人	4.2人	4.4人	4.7人	4.3人	4.6人				4.2人		
カラダラボとまりぎ青梅駅前	R3	1日	営業日数	22日	21日	22日	22日	22日										109日		
			延利用者	255人	241人	234人	235人	262人											1,227人	
			電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人											0人	
	10人	1日平均	11.6人	11.5人	10.6人	10.7人	11.9人											11.3人		
	R2	1日	営業日数	22日	21日	22日	23日	21日	22日	22日	21日	21日	20日	20日	23日			258日		
			延利用者	188人	204人	270人	276人	267人	241人	247人	260人	232人	228人	210人	205人				2,828人	
電話連絡・訪問対応者			0人	0人	0人	6人	5人	4人	0人	0人	0人	0人	0人	0人				15人		
10人	1日平均	8.5人	9.7人	12.3人	12.0人	12.7人	11.0人	11.2人	12.4人	11.0人	11.4人	10.5人	8.9人				11.0人			
第1地区計	R3	1日	延利用者	870人	839人	737人	741人	768人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3,955人		
			1日平均	8.7人	8.5人	10.0人	9.8人	10.4人											9.3人	
			電話連絡・訪問対応者	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	
	R2	1日	延利用者	665人	699人	865人	850人	832人	813人	840人	802人	814人	742人	732人	796人			9,450人		
			1日平均	6.7人	7.1人	8.7人	8.2人	8.4人	8.1人	8.2人	8.4人	8.3人	8.1人	8.0人	7.7人				271.9人	
			電話連絡・訪問対応者	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	

圏域	事業所名	定員		04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計		
				04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月			
第2地区	デイサービスセンター たんぼぼ	R3	1日	営業日数	25日	25日	25日	26日	23日								124日	
				延利用者	186人	174人	179人	201人	185人									925人
				電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人									
		1日平均	7.4人	7.0人	7.2人	7.7人	8.0人											7.5人
		R2	1日	営業日数	25日	25日	25日	26日	25日	25日	26日	25日	24日	24日	23日	26日		299日
				延利用者	190人	192人	204人	199人	186人	190人	192人	199人	205人	195人	189人	214人		2,355人
	電話連絡・訪問対応者			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		0人	
	1日平均	7.6人	7.7人	8.2人	7.7人	7.4人	7.6人	7.4人	8.0人	8.5人	8.1人	8.2人	8.2人				7.9人	
	R2	1日	営業日数														0日	
			延利用者														0人	
			1日平均															0.0人
	H31/R1	1日	営業日数	25日	26日	24日	26日	26日	23日	25日	25日	23日	23日	24日	25日		295日	
			延利用者	56人	53人	62人	82人	81人	72人	77人	74人	73人	70人	67人	71人		838人	
			1日平均	2.2人	2.0人	2.6人	3.2人	3.1人	3.1人	3.1人	3.0人	3.2人	3.0人	2.8人	2.8人			2.8人
	デイサービス めくもり	R3	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	25日								130日	
				延利用者	224人	216人	231人	255人	231人									1,157人
				電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人									0人
		1日平均	8.6人	8.3人	8.9人	9.4人	9.2人											8.9人
		R2	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	26日	25日	24日	24日	24日	27日		307日
				延利用者	195人	194人	196人	208人	174人	172人	153人	182人	188人	177人	161人	193人		2,193人
	電話連絡・訪問対応者			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		0人	
	1日平均	7.5人	7.5人	7.5人	7.7人	6.7人	6.6人	5.9人	7.3人	7.8人	7.4人	6.7人	7.1人				7.1人	
	リハビリデイサービス 足軽	R3	1日	午前10人	営業日数	25日	22日	24日	25日	20日							116日	
				延利用者	351人	289人	295人	303人	246人									1,484人
電話連絡・訪問対応者				0人	0人	0人	0人	0人									0人	
午後10人		1日平均	14.0人	13.1人	12.3人	12.1人	12.3人										12.8人	
R2		1日	午前10人	営業日数	26日	22日	26日	25日	21日	24日	27日	23日	24日	22日	22日	26日	288日	
			延利用者	296人	245人	367人	343人	287人	331人	362人	320人	325人	225人	280人	351人		3,732人	
	電話連絡・訪問対応者		0人	0人	0人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	7人	0人	0人		13人		
午後10人	1日平均	11.4人	11.1人	14.1人	13.7人	13.7人	13.8人	13.4人	13.9人	13.5人	10.2人	12.7人	13.5人			13.0人		
デイサービスセンター CLUB RIVER	R3	1日	営業日数	22日	21日	22日	22日	22日								109日		
			延利用者	257人	224人	229人	215人	218人									1,143人	
			電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人									0人	
	1日平均	11.7人	10.7人	10.4人	9.8人	9.9人											10.5人	
	R2	1日	営業日数	22日	23日	20日	23日	21日	22日	22日	21日	21日	20日	20日	23日		258日	
			延利用者	211人	216人	179人	246人	226人	238人	254人	219人	233人	211人	234人	244人		2,711人	
電話連絡・訪問対応者			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		0人		
1日平均	9.6人	9.4人	9.0人	10.7人	10.8人	10.8人	11.5人	10.4人	11.1人	10.6人	11.7人	10.6人				10.5人		
二俣尾幸楽堂	R3	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日								131日		
			延利用者	241人	238人	233人	237人	201人									1,150人	
			電話連絡・訪問対応者	3人	1人	3人	3人	5人										15人
	1日平均	9.3人	9.2人	9.0人	8.8人	7.7人											8.8人	
	R2	1日	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	27日	25日	25日	24日	24日	27日		309日	
			延利用者	200人	218人	237人	245人	237人	234人	247人	232人	232人	201人	202人	226人		2,711人	
電話連絡・訪問対応者			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	3人	3人	3人		10人		
1日平均	7.7人	8.4人	9.1人	9.1人	9.1人	9.0人	9.1人	9.3人	9.3人	8.4人	8.4人	8.4人				8.8人		
デイサービスセンター シエロ 青梅	R3	1日	営業日数	26日	26日	26日	26日	27日								131日		
			延利用者	197人	185人	191人	197人	181人									951人	
			電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人									0人	
	1日平均	7.6人	7.1人	7.3人	7.6人	6.7人											7.3人	
	R2	1日	営業日数	26日	26日	27日	26日	26日	26日	27日	25日	23日	24日	24日	27日		307日	
			延利用者	197人	191人	205人	210人	201人	201人	223人	185人	175人	165人	175人	193人		2,321人	
電話連絡・訪問対応者			0人	0人	0人	6人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		6人		
1日平均	7.6人	7.3人	7.9人	7.8人	7.7人	7.7人	8.3人	7.4人	7.6人	6.9人	7.3人	7.1人				7.6人		
デイサービスセンター ほたる	R3	1日	午前10人	営業日数	21日	18日	22日	20日	17日							98日		
			延利用者	282人	236人	271人	240人	215人									1,244人	
			電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人									0人	
	午後10人	1日平均	13.4人	13.1人	12.3人	12.0人	12.6人										12.7人	
	R2	1日	午前10人	営業日数	21日	19日	22日	21日	16日	20日	25日	22日	19日	20日	18日	18日	23日	239日
			延利用者	211人	208人	283人	254人	182人	255人	301人	262人	271人	209人	227人	311人		2,974人	
電話連絡・訪問対応者			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		0人		
午後10人	1日平均	10.0人	10.9人	12.9人	12.1人	11.4人	12.8人	13.7人	13.8人	13.6人	11.6人	12.6人	13.5人			12.4人		
第2地区計	R3	95人	延利用者	1,738人	1,562人	1,629人	1,648人	1,477人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	8,054人	
			1日平均	10.2人	9.5人	9.5人	9.5人	9.2人										9.6人
			電話連絡・訪問対応者	3.0人	1.0人	3.0人	3.0人	5.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人			15.0人
	R2	95人	延利用者	1,502人	1,466人	1,674人	1,708人	1,496人	1,624人	1,735人	1,602人	1,632人	1,386人	1,471人	1,735人		19,031人	
			1日平均	8.7人	8.8人	9.8人	9.7人	9.3人	9.6人	9.8人	9.8人	10.1人	8.9人	9.5人	9.7人			9.7人
			電話連絡・訪問対応者	3.0人	1.0人	3.0人	3.0人	5.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人			15.0人

圏域	事業所名		定員		04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月	計			
第3地区	デイサービス やぎさん家	R3	1日 15人	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日								131日			
				延利用者	286人	271人	267人	256人	248人										1,328人	
				電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人											0人
				1日平均	11.0人	10.4人	10.3人	9.5人	9.5人											10.1人
		R2	1日 15人	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	27日	25日	24日	24日	24日	27日			308日	
				延利用者	254人	256人	292人	284人	287人	293人	286人	257人	248人	233人	258人	289人				3,237人
	電話連絡・訪問対応者			0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	1日平均			9.8人	9.8人	11.2人	10.5人	11.0人	11.3人	10.6人	10.3人	10.3人	9.7人	10.8人	10.7人				10.5人	
	トータル・ライフ・ヘア・サポート 華暖	R3	1日 14人	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日									131日		
				延利用者	303人	312人	316人	356人	348人										1,635人	
				電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人											0人
				1日平均	11.7人	12.0人	12.2人	13.2人	13.4人											12.5人
		R2	1日 14人	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	27日	25日	25日	24日	24日	27日			309日	
				延利用者	311人	288人	325人	374人	346人	368人	348人	313人	334人	271人	267人	330人				3,875人
	デイサービス さくら	R3	1日 午前10人 午後10人	営業日数	21日	18日	22日	19日	18日										98日	
				延利用者	229人	190人	222人	178人	182人											1,001人
				電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人											0人
				1日平均	10.9人	10.6人	10.1人	9.4人	10.1人											10.2人
		R2	1日 午前10人 午後10人	営業日数	21日	18日	22日	21日	17日	20日	22日	19日	21日	19日	18日	23日			241日	
				延利用者	182人	155人	245人	225人	169人	211人	277人	225人	240人	225人	202人	246人				2,602人
	デイサービスセンター きぼうの里	R3	1日 10人	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日										131日	
				延利用者	183人	176人	200人	197人	198人											954人
				電話連絡・訪問対応者	0人	0人	0人	0人	0人											0人
				1日平均	7.0人	6.8人	7.7人	7.3人	7.6人											7.3人
		R2	1日 10人	営業日数	26日	26日	26日	27日	26日	26日	27日	25日	27日	26日	24日	27日			313日	
				延利用者	148人	177人	206人	227人	208人	223人	231人	223人	217人	187人	165人	187人				2,399人
	デイハウス青梅今寺 ※H31.3月末から休止	H31/R1	1日 10人	営業日数															0日	
				延利用者																0人
1日平均																				
電話連絡・訪問対応者																				0人
H31/R1		1日 10人	営業日数																0日	
			延利用者																	0人
第3地区計	R3	1日 69人	延利用者	1,001人	949人	1,005人	987人	976人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	4,918人		
			1日平均	10.1人	9.9人	10.1人	9.9人	10.2人										10.0人		
			電話連絡・訪問対応者	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	
			延利用者	895人	876人	1,068人	1,110人	1,010人	1,095人	1,142人	1,018人	1,039人	916人	892人	1,052人				1,171人	
	R2	1日 69人	延利用者	895人	876人	1,068人	1,110人	1,010人	1,095人	1,142人	1,018人	1,039人	916人	892人	1,052人				1,171人	
			1日平均	9.0人	9.1人	10.7人	10.9人	10.6人	11.2人	11.1人	10.8人	10.7人	9.8人	9.9人	10.1人				29.2人	
			電話連絡・訪問対応者	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人		

第7期青梅市高齢者保健福祉計画 ・ 青梅市介護保険事業計画 — 取組結果報告書 —

資料5

各「章」、「節」の事業名に対応する評価結果は、以下の通りとなりました。

評価	第1章		第2章		第3章			第4章	合計
	第1節	第2節	第1節	第2節	第1節	第2節	第3節	第5項	
A	0	0	0	0	0	0	0	1	1
B	8	18	6	6	13	6	41	5	103
C	2	1	0	0	0	0	5	0	8
D	1	1	0	1	0	0	0	0	3
E	0	1	0	0	2	1	0	0	4
評価なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	21	6	7	15	7	46	6	119

【凡例】この進捗状況調査における「担当課評価」欄は、以下の基準で評価しております。

評価記号	担当課評価	評価基準
A	順調である	取組を行い、大きな成果を上げた
B	おおむね順調である	取組を行い、一定の成果を上げた
C	あまり進んでいない	取組を行ったが、成果が上がらなかった
D	全く進んでいない	取組を行わなかった
E	事業終了	

第7期 青梅市高齢者保健福祉計画・青梅市介護保険事業計画 進ちよく状況調査票

基本目標 第1章 高齢者がはつらつと暮らせるまち

施策方針 第1節 健康保持と健康寿命の延伸

基本施策 第1項 健康管理の継続支援と生活習慣病の予防

凡例		
評価記号	担当課評価	評価基準
A	順調である	取組を行い、大きな成果を上げた
B	おおむね順調である	取組を行い、一定の成果を上げた
C	あまり進んでいない	取組を行ったが、成果が上がらなかった
D	全く進んでいない	取組を行わなかった
E	事業終了	

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課評価	担当課
1 健康教育	正しい知識の普及を図り、適切な指導や支援を行うことで、生活習慣病の予防を図ります。	青梅市医師会の医師による講演、管理栄養士および保健師による集団教育を行った。 実施回数22回 延べ人数1,057人	青梅市医師会の医師による講演、管理栄養士および保健師による集団教育を行った。 実施回数22回 延べ人数 769人	青梅市医師会の医師や管理栄養士、保健師による講座や教育を実施した。 実施回数19回 延べ人数351人	B	健康課 高齢者支援課
2 健康相談	健康センター、保健福祉センター等で、健康に関する相談・指導を行います。 本人および家族への相談や必要な助言を行い、適切な健康管理の普及を図ります。	健康センター、保健福祉センター等で、健康に関する相談・指導を行います。 実施回数39回 延べ人数719人	健康センター、保健福祉センター等で、健康や介護予防に関する相談・指導を行った。 ・健康センター 健康課 実施回数53回 延べ526人 ・保健福祉センター 高齢者支援課 実施回数4回 延べ人数16人	健康センターや中央図書館等で健康に関する相談・指導を行った。 実施回数40回 延べ457人	B	健康課 高齢者支援課
3 データヘルス計画にもとづいた保健事業	特定健康診査の結果やレセプトデータの分析にもとづき、生活習慣病の重症化の予防や、異常値を放置している者への受診勧奨などを行います。	青梅市医師会と連携し、糖尿病性腎症重症化予防事業については、対象の基準の構築と対象者の抽出を行った。 18人の申し込みがあり、中途辞退者を除き、13人に対して保健指導を実施した。 保健事業を進めるとともに西多摩医師会等との協力体制を強めた。	糖尿病性腎症重症化予防事業は、青梅市医師会と連携し、対象の基準の構築と対象者の抽出を行うとともに、今年度、西多摩地区の医療機関に対象を拡充し、申込者の拡大を図った。しかしながら、前年度並みの16人の申し込みとなり、中途辞退者を除き、14人に対して保健指導を実施した。 また、その他の保健事業を推進するとともに、青梅市医師会および西多摩医師会等との連携・協力体制の強化に努めた。	糖尿病性腎症重症化予防事業は、青梅市医師会、西多摩医師会と連携し、対象の基準の構築と対象者の抽出を行った。しかしながら、今年度は8人の申し込みとなり、中途辞退者を除き、4人に対して保健指導を実施した。 また、その他の保健事業を推進するとともに、青梅市医師会および西多摩医師会等との連携・協力体制の強化に努めた。	C	保険年金課 健康課
4 特定健康診査	「高齢者の医療の確保に関する法律」にもとづき、40歳から74歳までの市国保加入者を対象にメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を行います。	実施期間：平成30年6月～11月 対象者数：26,445名 受診者数：13,511名 受診率：51.1%	実施期間：令和元年6月～11月 対象者数：25,437名 受診者数：13,038名 受診率：51.3%	実施期間：令和2年7月～11月 対象者数：24,913名 受診者数：11,520名 受診率：46.2% 新型コロナ感染拡大防止のため、開始時期を1か月遅らせた。	B	健康課
5 特定保健指導	特定健康診査の分析結果により、メタボリックシンドローム等の該当者や予備群を対象に、特定保健指導を行い、対象者が健診結果を理解し、生活習慣の改善および健康の自己管理ができるよう支援します。	実施期間：平成30年10月～平成31年3月 対象者数：1,495名 利用者数：268名 利用率：17.9%	実施期間：令和元年10月～令和2年3月 対象者数：1,350名 利用者数：206名 利用率：15.3%	実施期間：令和2年4月～令和3年3月 対象者数：1,253名 利用者数：211名 利用率：16.8% 新型コロナ感染拡大防止のため、Web面談を取り入れ5名の利用があった。	B	健康課
6 後期高齢者医療健康診査	「高齢者の医療の確保に関する法律」にもとづき、後期高齢者医療制度の加入者を対象に後期高齢者の健康診査を行い、高齢者の生活習慣病の早期発見および健康の維持と増進を図ります。	実施期間：平成30年6月～11月 対象者数：16,088名 受診者数：9,446名 受診率：58.7%	実施期間：令和元年6月～11月 対象者数：17,252名 受診者数：10,022名 受診率：58.1%	実施期間：令和2年7月～11月 対象者数：17,789名 受診者数：9,917名 受診率：55.7% 新型コロナ感染拡大防止のため、開始時期を1か月遅らせた。	B	健康課

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
7 検診事業	がん等の早期発見を目的に、各種検診を行います。	各種がん検診を実施した。 胃がん検診(35歳以上)：1,202人 肺がん検診(40歳以上)：1,505人 大腸がん検診(40歳以上)：16,484人 乳がん検診(40歳以上)：2,188人 子宮頸がん検診(20歳以上)：1,915人 骨密度検診(18歳以上)：938人	各種がん検診を実施した。 胃がん検診(35歳以上)：1,750人 肺がん検診(40歳以上)：2,039人 大腸がん検診(40歳以上)：15,798人 乳がん検診(40歳以上)：2,419人 子宮頸がん検診(20歳以上)：2,053人 骨密度検診(18歳以上)：793人	各種がん検診を実施した。 胃がん検診(35歳以上)：1,472人 肺がん検診(40歳以上)：1,703人 大腸がん検診(40歳以上)：14,538人 乳がん検診(40歳以上)：2,166人 子宮頸がん検診(20歳以上)：1,731人 骨密度検診(18歳以上)：538人	C	健康課

基本施策 第2項 介護予防の推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 介護予防運動等の普及・啓発	青梅市介護予防オリジナル体操「梅っこ体操」等の介護予防の運動や知識の普及を図り、地域住民(市民)を主体とした介護予防、健康づくりを支援します。	「おうめ健康まつり」や「お～ちゃんフェスタ」などのイベントで梅っこ体操の普及啓発を図った。 イベント：5回 出前講座：12回	市内のイベントや講座等で梅っこ体操の普及啓発を図った。 イベント：5回 講座等：10回	市内のイベントや講座等で梅っこ体操の普及啓発を図った。 講座等：5回	B	高齢者支援課
2 のびのび体操	65歳以上の方を対象に軽度なリズム体操、筋力トレーニングを行います。	指定管理者にて継続実施 延べ回数：50回 延べ参加人数：3,066人	指定管理者にて継続実施 延べ回数：44回(4回中止) 延べ参加人数：2,554人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止あり	指定管理者にて継続実施 延べ回数：37回(12回中止) 延べ参加人数：1,465人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止あり	B	スポーツ推進課
3 健康！経絡ヨガ教室	東洋的な健康の考え方を学ぶ機会および広く健康について考え実践する機会を創出し、日常生活への取組に繋げることを目指した教室を実施します。	経絡ヨガ教室に代わり、指定管理者にて複数の健康ヨガ教室を実施した。 ・パワーヨガ 延べ回数：49回 延べ参加人数：708人 ・骨盤調整ヨガ 延べ回数：49回 延べ参加人数：930人 ・リラックスヨガ 延べ回数：42回 延べ参加人数：907人 ・アクティブヨガ 延べ回数：42回 延べ参加人数：653人	経絡ヨガ教室に代わり、指定管理者にて複数の健康ヨガ教室を実施した。 ・パワーヨガ 延べ回数：42回(5回中止) 延べ参加人数：869人 ・骨盤調整ヨガ 延べ回数：42回(5回中止) 延べ参加人数：853人 ・リラックスヨガ 延べ回数：37回(4回中止) 延べ参加人数：802人 ・アクティブヨガ 延べ回数：37回(4回中止) 延べ参加人数：694人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止あり	経絡ヨガ教室に代わり、指定管理者にて複数の健康ヨガ教室を実施した。 ・パワーヨガ 延べ回数：23回(12回中止) 延べ参加人数：210人 ・骨盤調整ヨガ 延べ回数：23回(12回中止) 延べ参加人数：280人 ・リラックスヨガ 延べ回数：32回(13回中止) 延べ参加人数：557人 ・アクティブヨガ 延べ回数：32回(13回中止) 延べ参加人数：318人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止あり	B	スポーツ推進課
4 元気に♪楽しく♪梅っこ体操	青梅市オリジナルの介護予防体操である梅っこ体操を軽体操として捉え、全世代への普及に向け、取組を行います。	梅っこ体操に代わりラジオ体操講習会および夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会を実施した。 ラジオ体操講習会 開催日：7月14日、26日 参加者数：134人 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会 開催日：8月12日 参加者数：1,100人	高齢者支援課職員を講師とした教室を12月と1月に3回ずつ、計6回実施した。 ・12月 開催日：11日、16日、23日 会場：住友金属鉱山アリーナ青梅(総合体育館) 延べ参加人数：27人 ・1月 開催日：15日、20日、27日 会場：市役所2階会議室 延べ参加人数：72人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	D	スポーツ推進課 高齢者支援課

施策方針 第2節 はつらつと暮らすための総合的支援

基本施策 第1項 地域で活動する団体への支援

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課評価	担当課
1 高齢者クラブへの支援	高齢者の仲間づくり、生きがいをづくりのために、継続して高齢者クラブへの支援を行います。	健康増進、ボランティア活動、クラブ活動への支援を実施した。 ・単位クラブ クラブ数： 54クラブ 会員数： 5,978人 補助金額：18,690千円 ・連合会 補助金額： 876千円	健康増進、ボランティア活動、クラブ活動への支援を実施した。 また、高齢者支援課内に青梅市高齢者クラブ連合会事務局を設置した。 ・単位クラブ クラブ数： 53クラブ 会員数： 5,667人 補助金額：18,137千円 ・連合会 補助金額： 855千円	健康増進、ボランティア活動、クラブ活動への支援を実施した。 ・単位クラブ クラブ数： 53クラブ 会員数： 5,456人 補助金額：17,917千円 ・連合会 補助金額： 660千円	B	高齢者支援課
2 自主グループ活動への支援	自主グループをホームページに掲載するなど、情報提供を行います。	生涯学習サークルとして登録している自主グループをホームページに掲載し周知した。 文化系：104団体 体育系：31団体 合計：135団体	生涯学習サークルとして登録している自主グループをホームページに掲載し周知した。 文化系：103団体 体育系：31団体 合計：134団体	生涯学習サークルとして登録している自主グループをホームページに掲載し周知した。 文化系：108団体 体育系：35団体 合計：143団体	B	社会教育課
3 スポーツクラブの活用	地域における住民意識や連帯感の高揚、世代間の交流、高齢社会への対応を目的に、スポーツクラブを活用します。	民間スポーツクラブ（セントラルフィットネスクラブ西東京）と連携し、民間温水プール施設開放事業を継続実施した。 開放回数：47回 利用者数：1,823人	民間スポーツクラブ（セントラルフィットネスクラブ西東京）と連携し、民間温水プール施設開放事業を継続実施した。 開放回数：42回 利用者数：1,958人	民間スポーツクラブ（セントラルフィットネスクラブ西東京）と連携し、民間温水プール施設開放事業を継続実施した。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月1日～9月27日まで開放中止 開放回数：24回 利用者数：1,323人	B	スポーツ推進課

基本施策 第2項 生きがいをづくりと交流機会の促進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課評価	担当課
1 温泉保養施設利用助成事業	市が指定した温泉保養施設を利用する高齢者に利用料の一部を助成し、健康な生活を支援します。	高齢者の健やかな生活を図るため高齢者温泉保養施設の利用助成を実施した。 宿泊助成(1泊3,000円・年度内4泊) 発行人数： 1,233人 延利用者数： 1,297泊 日帰り(1日300円・年度内6泊) 発行人数： 3,596人 延利用者数：10,489日	高齢者の健やかな生活を図るため高齢者温泉保養施設の利用助成を実施した。 宿泊助成(1泊3,000円・年度内4泊) 発行人数： 1,152人 延利用者数： 1,227泊 日帰り(1日300円・年度内12回) 発行人数： 4,501人 延利用者数： 19,965日	高齢者の健やかな生活を図るため高齢者温泉保養施設の利用助成を実施した。 宿泊助成(1泊3,000円・年度内4泊) 発行人数： 630人 延利用者数： 662泊 日帰り(1日300円・年度内12回) 発行人数： 2,366人 延利用者数： 10,669日	B	高齢者支援課

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況		担当課	
2 生涯学習の充実	高齢者が参加しやすい学習環境を整備します。 高齢者が学習の機会を自由に選択し、様々な知識や技術を習得することができるよう生涯学習の充実を図ります。	高齢者が参加しやすい講座を実施した。 ・初心者の菊作り講習会(全3回) 延べ受講者数:26人 ・「作業療法学生によるいきいき健康講座」(全5回) 延べ受講者数:86人 ・秋の芸術講座～陶芸をはじめよう!～(全4回) 延べ受講者数36人 ・ピラティス～呼吸法と共に体幹を鍛える～ 受講者数:88人 ・初めてのヨガ 受講者数:21人	高齢者が参加しやすい講座を実施した。 ・初心者の菊作り講習会(全3回) 延べ受講者数:16人 ・「作業療法学生による認知症予防講座」(全3回) 延べ受講者数:46人 ・秋の芸術講座～陶芸をはじめよう!～(全4回) 延べ受講者数37人 ・ピラティス～呼吸法と共に体幹を鍛える～ 受講者数:64人 ・お正月太り解消 強い身体を作ってダイエットしよう!ヨガ&ピラティス 受講者数:47人	高齢者が参加しやすい講座を実施した。 ・初心者の菊作り講習会(全4回) コロナウィルスの影響により中止 ・ピラティス～呼吸法と共に体幹を鍛える～ コロナウィルスの影響により中止 ・みんなのフォークギター講座(全6回) 受講者数:延べ98人 ・青梅探訪 うんちく講座+散歩(全2回) 受講者数:延べ39人 ・手ぬいを楽しむマスクづくり 受講者数:15人 ・毛筆、はじめませんか(全3回) コロナウィルスの影響により中止	B	社会教育課
3 ウォーキングフェスタの開催	いつでも、どこでも、手軽にできるウォーキングの普及に努めます。 正しい理解のもと、高齢者の体力増進、健康維持を図ります。	ウォーキングフェスタに代わり、多摩・島しょ広域連携活動助成金事業を活用し、多摩川沿いにて謎解きウォークラリーを実施した 開催日: 11月24日 延べ参加人数: 210人	多摩・島しょ広域連携活動助成金事業を活用し、多摩川沿いにてウォークラリーを実施する予定であったが、直前の台風19号の影響により中止とした。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者を市内在住・在学・在勤者に限定し、市役所をスタート・ゴールとした約10キロのコースでウォーキングフェスタを実施した。 開催日:11月23日 参加人数:105人	B	スポーツ推進課
4 高齢者のいきがづくり	自分の持ち味を出発点に、仲間、まち、他地域へとかかわりの輪を広げ、多くの交流の中から、地縁活動と地域交流について学ぶ講座を開催します。	『青梅まちづくり工房～ひとそだちコース～』の卒業生有志で、青梅塾アートフェスに参加した。	『青梅まちづくり工房～ひとそだちコース～』の卒業生有志で、生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭2019～および青梅塾アートフェスに参加した。	『青梅まちづくり工房～ひとそだちコース～』の卒業生有志で、前年同様生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭2020～および青梅塾アートフェスを予定していたが、コロナウィルスの影響で中止となってしまった。	D	社会教育課
5 健康センター事業	市民の健康づくりを推進するため、健康診査、健康相談、予防接種等の保健サービスを総合的に行っていきます。	・30歳以上の方を対象とした総合健康診査(人間ドック)を実施した。 受診者数 1,519人 健康相談 相談者数 延べ841人 ・65歳以上の方を対象とした予防接種を医療機関において実施した。 高齢者インフルエンザ 接種者14,991人 高齢者肺炎球菌 接種者 3,071人	・30歳以上の方を対象とした総合健康診査(人間ドック)を5医療機関へ委託し実施した。 受診者847人 ・65歳以上の方を対象とした予防接種を医療機関において実施した。 高齢者インフルエンザ 接種者16,233人 高齢者肺炎球菌 接種者 1,367人	・30歳以上の方を対象とした総合健康診査(人間ドック)を5医療機関へ委託し実施した。 受診者626人 ・65歳以上の方を対象とした予防接種を医療機関において実施した。 高齢者インフルエンザ 接種者25,477人 高齢者肺炎球菌 接種者 1,593人	B	健康課
6 高齢者センター事業(地域保健福祉センター)	高齢者センター(地域保健福祉センター)は、施設の老朽化と利用状況から廃止としますが、現在センターにおいて行われている、健康増進、介護予防、交流活動等については、市内の公共施設等を利用した環境づくりを進めます。	高齢者の健康増進および教養の向上を図るため教養講座などを開催した。 また、平成30年度末をもって高齢者センターを廃止するとともに、地域保健福祉センターの入浴施設を廃止した。	地域保健福祉センターにおいて、高齢者の健康増進および教養の向上を図るため教養講座などを開催した。		E	高齢者支援課

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
7 市民センター	地域の様々な情報が集約される拠点として、市民センターの機能充実など、高齢者の生涯学習活動の支援を図ります。	高齢者の活動支援として、老壮大学等の事業を行った。 (青梅)青梅老壮大学 9回 755人 (長淵)調布ことぶき大学 11回 547人 (大門)霞老壮大学 12回 1,078人 (梅郷)梅郷老壮学園 8回 543人 (小曾木)小曾木老壮大学 12回 403人 (東青梅)東青梅老壮大学 13回 705人 (河辺)河辺老壮大学 12回 561人 上記の他、健康体操教室等を開催した。高齢者クラブの活動の場を提供した。また、市民センターで開催される文化祭等への参加を得た。	高齢者の活動支援として、老壮大学等の事業を行った。 (青梅)青梅老壮大学 8回 683人 (長淵)調布ことぶき大学 10回 516人 (大門)霞老壮大学 11回 947人 (梅郷)梅郷老壮学園 7回 609人 (小曾木)小曾木老壮大学 12回 386人 (東青梅)東青梅老壮大学 12回 629人 (河辺)河辺老壮大学 12回 541人 上記の他、健康体操教室等を開催した。高齢者クラブの活動の場を提供した。また、市民センターで開催される文化祭等への参加を得た。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として緊急事態宣言下の開催を中止する等、回数が減少したが、例年どおり高齢者の活動支援として、老壮大学等の事業を行った。 (青梅)青梅老壮大学 1回 40人 (長淵)調布ことぶき大学 5回 115人 (大門)霞老壮大学 7回 541人 (小曾木)小曾木老壮大学 6回 186人 (東青梅)東青梅老壮大学 6回 238人 (河辺)河辺老壮大学 4回 157人 (梅郷老壮学園については令和元年度をもって解散したため事業終了) 上記の他、健康体操教室についても回数が減少したものである範囲で開催した。高齢者クラブの活動の場として市民センターの提供も実施した。高齢者の発表の場として、設けていた各市民センターで開催される文化祭等については、感染拡大防止対策のため中止とした。	B	市民活動推進課
8 スポーツ施設・レクリエーション施設	高齢者と様々な世代の市民が、共に利用できるスポーツ施設、レクリエーション施設の充実を図ります。	・青梅スタジアムの開放日拡大 ・総合体育館の施設整備 1. 受付カウンターのリニューアル 2. トレーニングルームのリニューアル 3. 冷水器の更新と増設 4. 製氷機の導入 5. エントランス照明のLED化 6. 一部トイレ照明のLED化と人感センサー導入 7. 第5会議室のリニューアル ・各施設への飲料用自動販売機設置	・青梅スタジアム、友田レクリエーション広場の開放日拡大 ・東原公園球技場照明のLED化 ・東原公園水泳場の起流ポンプの更新 ・総合体育館の施設整備 1. 空調設備の導入 2. トイレの洋式化 3. 第2スポーツホールのリニューアル 4. 第2会議室のリニューアル 5. 卓球台の更新 6. バスケットゴールの更新	・総合体育館の施設修繕 1. 会議室等の網戸の修繕 2. 排煙オペレーター装置の修繕 ・市民球技場管理棟に隣接したトイレの洋式化 ・わかぐさ公園こどもプール管理棟のトイレ洋式化	B	スポーツ推進課
9 都市公園等における健康遊具整備事業	高齢者の体力増進、健康維持のため、健康遊具の設置を図ります。 また、高齢者と様々な世代の市民が、共に利用できる公園施設の充実を図ります。	若者から子育て世代、高齢者までが健康や体力の保持増進を図るうえで必要となる、基本的な体全体の柔軟性の維持・向上が見込まれる健康遊具5基を設置した。 ・わかぐさ公園 健康遊具5基	若者から子育て世代、高齢者までが健康や体力の保持増進を図ることを目的に、都市公園等に設置している健康遊具について、利用者が安心して使用できるよう、定期的に巡視、点検し、安全管理に努めた。	若者から子育て世代、高齢者までが健康や体力の保持増進を図るうえで必要となる、基本的な体全体の柔軟性の維持・向上が見込まれる健康遊具を末広公園等に設置した。	B	公園緑地課

基本施策 第3項 高齢者の能力活用

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 シルバー人材センターの運営支援	高齢者の能力や経験を生かした就業の場や活躍する機会の確保を図るため、シルバー人材センターの運営を支援します。	シルバー人材センターに対し補助金を交付し、高齢者福祉の増進に寄与した。 運営費補助金 29,778千円 登録会員 1,181人 請負受託事業・派遣事業 受注件数 4,556件 契約金額 423,973千円 就業延人数 84,211人 就業率 70.5%	シルバー人材センターに対し補助金を交付し、高齢者福祉の増進に寄与した。 運営費補助金 29,817千円 登録会員 1,154人 請負受託事業・派遣事業 受注件数 4,562件 契約金額 423,760千円 就業延人数 81,668人 就業率 71.1%	シルバー人材センターに対し補助金を交付し、高齢者福祉の増進に寄与した。 運営費補助金 31,529千円 登録会員 1,140人 請負受託事業・派遣事業 受注件数 4,425件 契約金額 408,011千円 就業延人数 78,341人 就業率 67.6%	B	高齢者支援課

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
2 シルバーマイスター事業	優れた技能・知識・経験を有する高齢者をシルバーマイスターとして認定・登録し、市民の学習活動等における講師や指導者として推薦しています。 活動を通じて、高齢者の積極的な社会参加と能力活用の促進を図ります。	シルバーマイスターを公募した結果、3名の新規認定者があった。 小・中学校長会での説明や、特別養護老人ホーム等へチラシを配布することにより、事業の周知に努めた。	シルバーマイスターを公募した結果、3名の新規認定者があった。 シルバーマイスター作品展示会の実施や、梅っこサロンにおけるイベントの開催を通じて、事業の周知とマイスターの活用を行った。	シルバーマイスターを公募した結果、1名の新規認定者があった。 新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントが開催できず、事業の周知とマイスター活用の機会を創出することができなかった。	B	高齢者支援課
3 協働によるまちづくり	優れた技能・知識・経験を有する高齢者を中心とした市民活動団体との協働事業を推進し、高齢者の積極的な社会参加と能力活用の促進を図ります。	各課および、市民提案協働制度により各種協働事業を実施した。また、各市民センター等で開催された行事等に、高齢者団体等の参加を得た。 ・庁内各課に設置した協働推進員対象研修「地域と人をつなぐ、クラウドファンディング活用講座」を実施した。 ・市民活動団体の組織強化を目的にした講座「災害時に私たちができること～災害ボランティア活動～」を実施した。	・各課および、市民提案協働制度により各種協働事業を実施した。また、各市民センター等で開催された行事等に、高齢者団体等の参加を得た。 ・庁内各課に設置した協働推進員対象研修を企画段階で、新型コロナウイルス感染症対策として中止とした。 ・市民活動団体の組織強化を目的にした講座「クラウドファンディング活用講座」を実施した。 ・第八支会と連携し、「第八支会ささえあいフェスティバル」協働事業を実施した。また、高齢者を中心とした団体等に、市民センターで実施する文化祭等の行事への参加を呼びかけ、参加を促進した。	・各課および市民提案協働制度により各種協働事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したものがあがるが、感染対策を講じて実施できたものもある。また、各市民センター等で開催される行事等の多くも中止となり、高齢者が参加できない状況であった。 ・庁内各課に設置した協働推進員と市民活動団体を対象とした合同研修を企画したが、緊急事態宣言などによりやむなく中止とした。 ・第八支会と連携し協働で実施している「第八支会ささえあいフェスティバル」や市民センターで実施する文化祭等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、高齢者を中心とした団体等の参加はできなかった。	C	市民活動推進課

基本施策 第4項 情報提供の充実

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 高齢者の暮らしの手引の作成・配付	高齢者が在宅で生活するための市の施策を掲載した冊子「高齢者の暮らしの手引き」を作成します。 高齢者がいる世帯に配付し、青梅市の高齢者施策の周知を図ります。	高齢者の暮らしに役立たせるため、「高齢者の暮らしの手引き」を10,000部作成し、民生児童委員の協力を得て、市民等に配布した。	高齢者の暮らしに役立たせるため、「高齢者の暮らしの手引き」を11,000部作成し、民生児童委員の協力を得て、市民等に配布した。	高齢者の暮らしに役立たせるため、「高齢者の暮らしの手引き」を11,100部作成し、民生児童委員の協力を得て、市民等に配布した。	B	高齢者支援課
2 生涯学習情報の提供	様々な生涯学習の機会を提供できるよう、「生涯学習だより」を発行するほか、生涯学習情報をホームページに掲載し、自主的な学習機会の拡充を図ります。	各種教室・講座・イベントなどを紹介する情報紙「生涯学習だより」を年4回、各1,500部発行するとともに、ホームページに掲載した。	各種教室・講座・イベントなどを紹介する情報紙「生涯学習だより」を年4回、各1,500部発行するとともに、ホームページに掲載した。	各種教室・講座・イベントなどを紹介する情報紙「生涯学習だより」を年4回、各1,500部発行するとともに、ホームページに掲載した。	B	社会教育課

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
3 情報媒体の充実	健康づくり関連事業を始めとした、高齢者に関する情報を市の広報紙やホームページ等を活用して紹介します。	<p>●健康課 広報紙、市HP、保健事業の案内、各種検診のお知らせ等で周知した。 保健事業の案内： 25,914世帯 各種検診のお知らせ： 18,859部</p> <p>●高齢者支援課 広報紙、市ホームページ等で周知した。</p> <p>●社会教育課 高齢者対象の講座について、生涯学習日より、広報、ホームページなどを通じて紹介した。</p>	<p>●健康課 広報紙、市HP、保健事業の案内、各種検診のお知らせ等で周知した。 保健事業の案内： 25,038世帯 各種検診のお知らせ： 18,601部 がん検診啓発冊子： 57,137世帯</p> <p>●高齢者支援課 広報紙、市ホームページ等で周知した。</p> <p>●社会教育課 高齢者対象の講座について、生涯学習日より、広報、ホームページなどを通じて紹介した。</p>	<p>●健康課 広報紙、市HP、保健事業の案内、各種検診のお知らせ等で周知した。 保健事業の案内： 26,054世帯 各種検診のお知らせ： 17,903部 がん検診啓発冊子： 58,545世帯</p> <p>●社会教育課 高齢者対象の講座について、生涯学習日より、広報、ホームページなどを通じて紹介した。</p> <p>●高齢者支援課 広報紙、市ホームページ等で周知した。</p>	B	健康課 社会教育課 高齢者支援課

基本施策 第5項 高齢者を敬う機会の実施

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 敬老金贈呈	敬老と長寿を祝うことを目的に、敬老金条例にもとづき敬老金を贈呈します。	長寿をお祝いするため、平成30年中に100歳を迎えた方を対象に、9月15日の老人の日前後に敬老金を贈呈した。 贈呈金額 1人あたり30,000円 贈呈者数 32人	長寿をお祝いするため、平成31年および令和元年中に100歳を迎えた方を対象に、9月15日の老人の日前後に敬老金を贈呈した。 贈呈金額 1人あたり30,000円 贈呈者数 30人	長寿をお祝いするため、令和2年中に100歳を迎えた方を対象に、9月15日の老人の日前後に敬老金を贈呈した。 贈呈金額 1人あたり30,000円 贈呈者数 31人	B	高齢者支援課
2 敬老会開催	開催方法等について検討しながら敬老会を開催します。	75歳以上の方の長寿をお祝いして、敬老会を開催し、演芸等を実施した。 開催日 9月29日(土) 会場 総合体育館 参加者 2,026人	75歳以上の方の長寿をお祝いして、敬老会を開催し、演芸等を実施した。 開催日 9月28日(土) 会場 総合体育館 参加者 1,924人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	B	高齢者支援課
3 高齢者憲章の制定	市民が高齢者を敬うとともに、高齢者が希望をもって安心して年齢を重ねていくことができる長寿社会の実現を目指すため、高齢者憲章を制定します。	策定に向けた調査・研究を実施	令和2年度の策定に向け、草案の作成を行った。	庁内検討委員会を3回実施し、素案の検討を行った。	B	高齢者支援課

基本目標 第2章 高齢者が安全・安心に暮らせるまち

施策方針 第1節 福祉のまちづくりの推進

基本施策 第1項 公共建築物等のバリアフリー化の推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 公共建築物等のバリアフリー化の促進	高齢者や障害者に配慮した施設づくりを推進するとともに、民間施設に対する指導・助言を行い、理解と協力を求めます。	東京都福祉のまちづくり条例の規定にもとづく特定都市施設の新設、改修に当たり、届出を受理し、施設のバリアフリー化を推進した。 届出受理件数3件 内訳 物品販売業1件 医療等施設2件	東京都福祉のまちづくり条例の規定にもとづく特定都市施設の新設、改修に当たり、届出を受理し、施設のバリアフリー化を推進した。 届出受理件数8件 内訳 医療等施設5件 福祉施設1件 飲食店等1件 サービス店舗等1件	東京都福祉のまちづくり条例の規定にもとづく特定都市施設の新設、改修に当たり、届出を受理し、施設のバリアフリー化を推進した。 届出受理件数3件 内訳 物品販売業2件 サービス店舗等1件	B	福祉総務課

基本施策 第2項 歩行者空間の整備と交通安全対策

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 歩道の整備	幅員の狭い歩道の拡幅や段差の解消などの整備を行います。	・青梅市道幹29号線の改修工事に伴い、歩道を設置(延長80.0m) ・市道幹27、幹32号線についても歩道の整備も含め工事を進めた。	・青梅市道幹27号線の改修工事に伴い、歩道を整備(幹27号線延長83.4m) ・市道幹29、青3181号線についても歩道の整備を含む工事を進めた。	・青梅市道幹32号線の改修工事に伴い、歩道の整備を含む工事を実施した。(延長210m)	B	土木課
2 市道区画線等の整備	市道の区画線や文字表示などの新設や、薄くなった区画線等の再設置により歩行者と車両の通行区分を明確にし、交通安全対策を図ります。	地域、PTA、警察署等の要望や道路管理者のパトロールなどにより区画線等の新設、補修を行った。 ・区画線延長 15,549m ・路面標示の設置	地域、PTA、警察署等の要望や道路管理者のパトロールなどにより区画線等の新設、補修を行った。 ・区画線延長 13,565m ・路面標示の設置	地域、PTA、警察署等の要望や道路管理者のパトロールなどにより区画線等の新設、補修を行った。 ・区画線延長 12,720m ・路面標示の設置	B	土木課
3 交通安全教育の実施	高齢者交通事故防止のため、高齢者交通安全教室などを行います。	高齢者交通安全教室の開催 内 容 歩行者シミュレータ 交通安全講話 ・新町市民センター 11月26日(月)10時から11時30分 東部地区高齢者クラブ12名参加 ・長淵市民センター 11月27日(火)10時から11時30分 調布地区高齢者クラブ36名参加	高齢者交通安全教室の開催 内 容 歩行者シミュレータ 交通安全講話 ・梅郷市民センター 10月29日(火)10時から11時30分 梅郷地区高齢者クラブ44名参加 ・東青梅市民センター 10月30日(水)10時から11時30分 東青梅地区高齢者クラブ18名参加	平成30年度～令和元年度については、高齢者交通安全教室を開催することができた。令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。 代わりに「交通安全情報」を配布した。	B	市民安全課

基本施策 第3項 住宅の安全対策の推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 家具転倒防止器具給付事業	家具転倒防止器具を給付し、高齢者の生命・財産を地震災害から守ります。	支給要件に該当する高齢者世帯に家具転倒防止器具等を支給し、取付けを行い、市民の震災対策を促進した。 支給高齢者世帯数：41世帯 (総支給世帯数：103世帯)	支給要件に該当する高齢者世帯に家具転倒防止器具等を支給し、取付けを行い、市民の震災対策を促進した。 支給高齢者世帯数：37世帯 (総支給世帯数：82世帯)	支給要件に該当する高齢者世帯に家具転倒防止器具等を支給し、取付けを行い、市民の震災対策を促進した。 支給高齢者世帯数：24世帯 (総支給世帯数：54世帯)	B	高齢者支援課 防災課

基本施策 第4項 高齢者虐待の防止等の推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 権利擁護事業	「青梅市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会」をはじめ、関係機関との連携により、虐待の予防と早期発見に取り組みます。また、認知症など判断能力が十分でない高齢者に対して、成年後見制度の利用支援その他の高齢者に対する権利擁護に引き続き取り組みます。 関係機関へ虐待防止・早期発見に関する啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者支援課 青梅市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を1回開催し、委員に対して件数や現状の報告、傾向について情報共有を図った。 事業所等に対して、虐待に関する研修を行い(3か所)、虐待防止・早期発見の啓発を行った。 ●障がい者福祉課 障害者虐待防止対策支援事業を青梅市障がい者サポートセンターで行っている。 障害者虐待防止講演会を実施した。 参加者：68名 対象者：障害者施設で働く職員 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者支援課 青梅市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を1回開催(コロナウィルス感染防止対策のため1回中止)し、委員に対して件数や現状の報告、傾向について情報共有を図った。 事業所等に対して、虐待に関する研修を行い(2か所)、虐待防止・早期発見の啓発を行った。 ●障がい者福祉課 障害者虐待防止対策支援事業を青梅市障がい者サポートセンターで行っている。 障害者虐待防止講演会を実施した。 参加者：48名 対象者：市民、在勤者 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者支援課 青梅市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会を1回開催(コロナウィルス感染防止対策のため1回中止)し、委員に対して件数や現状の報告、事例検討、虐待防止チラシ内容の検討および作成を行った。 ●青梅市障がい者サポートセンターにおいて障がい者虐待防止対策を行った。 青梅市障がい者サポートセンター主催の障害者虐待防止講演会については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。 	B	高齢者支援課 障がい者福祉課

施策方針 第2節 生活安全対策の強化

基本施策 第1項 緊急時の安全確保

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 緊急通報システム事業	ひとり暮らし高齢者等が家庭内で病気などの緊急事態に陥ったときに、無線発報器等で東京消防庁または民間受信センターに通報することにより、速やかな援助を行います。	<p>高齢者緊急通報システム事業を運営することにより、高齢者の生活の安全を確保し、高齢者福祉の増進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防庁方式 設置世帯数 10世帯 利用人数 11人 協力員数 19人 ・民間方式 設置世帯数 29世帯 利用人数 29人 	<p>高齢者緊急通報システム事業を運営することにより、高齢者の生活の安全を確保し、高齢者福祉の増進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防庁方式 設置世帯数 9世帯 利用人数 10人 協力員数 18人 ・民間方式 設置世帯数 37世帯 利用人数 37人 	<p>高齢者緊急通報システム事業を運営することにより、高齢者の生活の安全を確保し、高齢者福祉の増進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防庁方式 設置世帯数 6世帯 利用人数 6人 協力員数 11人 ・民間方式 設置世帯数 36世帯 利用人数 36人 	B	高齢者支援課

基本施策 第2項 防火対策の推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 火災安全システム事業	家庭内での火災による緊急事態に備えて、防災機器を給付または貸与するとともに、火災の発生時に火災警報器からの信号を東京消防庁に自動通報することで迅速な救助および消火活動を行います。	<p>高齢者火災安全システム事業を運営することにより、高齢者の家庭内における火災等に迅速に対応できる体制をつくり、高齢者の生活の安全を図った。</p> <p>設置世帯数 14世帯</p>	<p>高齢者火災安全システム事業を運営することにより、高齢者の家庭内における火災等に迅速に対応できる体制をつくり、高齢者の生活の安全を図った。</p> <p>設置世帯数 9世帯</p>	<p>高齢者火災安全システム事業を運営することにより、高齢者の家庭内における火災等に迅速に対応できる体制をつくり、高齢者の生活の安全を図った。</p> <p>設置世帯数 10世帯</p>	B	高齢者支援課

基本施策 第3項 防災対策の推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 防災訓練の実施	災害などの危険から高齢者を守るため、防災訓練などを行います。訓練を通じて、危機管理体制の充実を図ります。	8月26日、市立河辺小学校校庭にて総合防災訓練を行い、訓練を通して防災意識の向上、危機管理体制の充実を図った。地域住民を含む823名の参加があった。	8月25日、市立今井小学校校庭にて総合防災訓練を行い、訓練を通して防災意識の向上、危機管理体制の充実を図った。地域住民を含む688名の参加があった。	11月29日に市立第一中学校にて、総合防災訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため中止とした。	D	防災課 高齢者支援課
2 市内特別養護老人ホーム等との災害協定	特別養護老人ホーム等との災害協定にもとづき、大規模災害時の速やかな応急対策活動に備えます。	特別養護老人ホーム等との協定により、青梅市地域防災計画にもとづく災害時要援護者の避難に備えた。	特別養護老人ホーム等との協定により、青梅市地域防災計画にもとづく災害時要援護者の避難に備えた。	特別養護老人ホーム等との協定により、青梅市地域防災計画にもとづく災害時要援護者の避難に備えた。	B	介護保険課
3 避難行動要支援者の支援	災害発生時等の避難の際に配慮が必要な方（避難行動要支援者）の台帳を整備し、自主防災組織などの避難支援等関係者による平常時からの声かけ等、支援協力体制の強化に努めます。	避難行動要支援者名簿を整備し、避難支援等関係者に対して、同意者の名簿情報を提供した。	避難行動要支援者名簿を整備し、避難支援等関係者に対して、同意者の名簿情報を提供した。	避難行動要支援者名簿を整備し、避難支援等関係者に対して、同意者の名簿情報を提供した。	B	防災課 高齢者支援課

基本施策 第4項 防犯対策の推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 消費生活に関する啓発相談事業	悪質商法被害防止等について、高齢者に対する出前講座や市広報等の活用、消費者月間での街頭キャンペーン、イベント等における啓発事業や消費生活相談を実施します。	出前講座、講演会の他、街頭キャンペーンやイベントでの出張相談、パネル展示などにより啓発を行った。	出前講座、講演会の他、街頭キャンペーンやイベントでの出張相談、パネル展示などにより啓発を行った。 実施回数：34回	平成30年度～令和元年度については、各種講座やイベントなどで消費者被害防止の啓発活動を行うことができた。令和2年度は新型コロナウイルス感染防止を考慮しながら、各種講座やパネル展示等で消費者被害防止の啓発活動を行うことができた。	B	市民安全課
2 犯罪防止のための情報提供の促進	特殊詐欺などの被害を未然に防ぐため、チラシの配付、市広報への記事掲載、犯罪発生情報の配信など、関係機関と連携して、啓発に努めます。	自動通話録音機の貸出 防犯メール、防災無線の活用 広報等での周知活動	自動通話録音機の貸出：111台 防犯メール、防災無線の活用：10回 広報等での周知活動：8回 出前講座の開催：2回	毎月の広報等で防犯情報を発信し、啓発に努めた。また、元年度より青梅 安全・安心かわら版を発行し、防犯情報の発信を行った。	B	市民安全課

基本目標 第3章 高齢者が住み慣れた地域で自立して暮らせるまち

施策方針 第1節 総合的な生活・居住支援の充実

基本施策 第1項 生活支援サービスの充実

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 在宅介護支援センター事業	地域の要介護高齢者およびその家族の在宅介護を支援するため、在宅介護に関する総合的な相談に応ずるとともに、関係機関との連絡調整の便宜を供与する在宅介護支援センターの事業を継続します。 なお、市民に、よりわかりやすい窓口とするため、地域包括支援センターへ統合します。	在宅介護支援センターが実施する見守りや相談等の事業を、地域包括支援センターで引き継ぐこととし、平成30年3月31日をもって在宅介護支援センターを廃止した。			E	高齢者支援課
2 配食サービス事業	ひとり暮らし高齢者等に昼食を配達することにより、高齢者の心身の健康保持と、高齢者と地域との交流を図ります。 なお、民間事業者によるサービス状況を踏まえながらあり方を検討します。	在宅の一人暮らし高齢者等に定期的に食事を提供し、高齢者の心身の健康保持と地域交流を深め、高齢者福祉の向上に寄与した。 登録者数 272人 延配食者数 2,680人 ボランティア配食数 3,460人 業者直送数 21,474人	在宅の一人暮らし高齢者等に定期的に食事を提供し、高齢者の心身の健康保持と地域交流を深め、高齢者福祉の向上に寄与した。 登録者数 274人 延配食者数 2,511人 ボランティア配食数 2,862人 業者直送数 19,694人	在宅の一人暮らし高齢者等に定期的に食事を提供し、高齢者の心身の健康保持と地域交流を深め、高齢者福祉の向上に寄与した。 登録者数 235人 延配食者数 2,496人 ボランティア配食数 0人 (1,669人) 業者直送数 21,189人 ※ボランティア配食は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止とし、委託先の社会福祉協議会が利用者不在分等として1,669食を配達した。	B	高齢者支援課
3 高齢者福祉電話設置事業	ひとり暮らし高齢者等に対し、市が保有する電話を高齢者宅に設置します。 福祉電話の設置により、高齢者の安否確認、関係機関の協力を得た各種相談を行い、在宅生活を支援します。	ひとり暮らし高齢者等に福祉電話を貸与し、高齢者の安否確認等を実施し、高齢者の孤独感の解消等を実施した。 保有台数 42台 利用者実数 15人 年間延利用台数 159台 年間延利用者数 159人	ひとり暮らし高齢者等に福祉電話を貸与し、高齢者の安否確認等を実施し、高齢者の孤独感の解消等を実施した。 保有台数 42台 利用者実数 12人 年間延利用台数 131台 年間延利用者数 131人	ひとり暮らし高齢者等に福祉電話を貸与し、高齢者の安否確認等を実施し、高齢者の孤独感の解消等を実施した。 保有台数 42台 利用者実数 14人 年間延利用台数 139台 年間延利用者数 139人	B	高齢者支援課
4 養護老人ホーム	環境上の理由および経済的理由により、居宅で生活することが困難な高齢者の入所措置を行います。	65歳以上の方で、入院加療を要する病態でなく、環境および経済的な理由により、居宅で生活することが困難な方に対する措置を実施した。 ・市内養護老人ホーム施設数 2施設 ・老人保護措置 養護老人ホーム 措置施設数 6施設 実人数 23人 延人数 255人	65歳以上の方で、入院加療を要する病態でなく、環境および経済的な理由により、居宅で生活することが困難な方に対する措置を実施した。 ・市内養護老人ホーム施設数 2施設 ・老人保護措置 養護老人ホーム 措置施設数 6施設 実人数 21人 延人数 244人 ・特別養護老人ホーム 措置施設数 1施設 実人数 1人 延人数 4人	65歳以上の方で、入院加療を要する病態でなく、環境および経済的な理由により、居宅で生活することが困難な方に対する措置を実施した。 ・市内養護老人ホーム施設数 2施設 ・老人保護措置 養護老人ホーム 措置施設数 6施設 実人数 21人 延人数 224人 ・特別養護老人ホーム 措置施設数 1施設 実人数 1人 延人数 6人	B	高齢者支援課

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
5 寝具乾燥サービス事業	寝具類の自然乾燥が困難な寝たきり高齢者等の世帯に対し、月1回、寝具類の乾燥を行います。 寝たきり高齢者等の衛生と健康を保持し、自立生活を支援します。	寝具類の自然乾燥が困難な寝たきり高齢者等の世帯に対し、寝具等の乾燥を行い、寝たきり高齢者等の衛生と健康の保持を図った。 対象者 24人 実施回数 12回 延件数 150件	寝具類の自然乾燥が困難な寝たきり高齢者等の世帯に対し、寝具等の乾燥を行い、寝たきり高齢者等の衛生と健康の保持を図った。 対象者 21人 実施回数 12回 延件数 144件	寝具類の自然乾燥が困難な寝たきり高齢者等の世帯に対し、寝具等の乾燥を行い、寝たきり高齢者等の衛生と健康の保持を図った。 対象者 22人 実施回数 12回 延件数 107回	B	高齢者支援課
6 訪問理美容サービス事業	理・美容店での理・美容が困難な高齢者に対し、自宅で理・美容を受ける際の出張料を助成します。 介護者の負担の軽減と高齢者の衛生的かつ快適な生活を支援します。	要介護3以上の高齢者に対し、訪問理美容サービス事業を実施し、社会福祉の増進を図った。 登録者数 44人 利用枚数 90枚	要介護3以上の高齢者に対し、訪問理美容サービス事業を実施し、社会福祉の増進を図った。 登録者数 38人 利用枚数 54枚	要介護3以上の高齢者に対し、訪問理美容サービス事業を実施し、社会福祉の増進を図った。 登録者数 52人 利用枚数 69枚	B	高齢者支援課
7 紙おむつ等給付事業	寝たきり等の状態にある高齢者に対し、紙おむつ、尿とりパット、おむつカバー等を給付します。 介護者の負担軽減と高齢者の衛生的で快適な在宅生活を支援します。	65歳以上の在宅の寝たきりまたは失禁状態にある高齢者に対し、紙おむつ等を給付し、日常生活を容易なものとし福祉の増進を図った。 利用者数 510人	65歳以上の在宅の寝たきりまたは失禁状態にある高齢者に対し、紙おむつ等を給付し、日常生活を容易なものとし福祉の増進を図った。 利用者数 561人	65歳以上の在宅の寝たきりまたは失禁状態にある高齢者に対し、紙おむつ等を給付し、日常生活を容易なものとし福祉の増進を図った。 利用者数 547人	B	高齢者支援課
8 日常生活用具給付事業	65歳以上で、介護保険で非該当と認定された方で、日常生活用具の給付が必要な高齢者に対し、入浴補助用具、歩行補助車等の日常生活用具を給付します。	高齢者等に対し、日常生活用具等を給付することにより福祉の増進を図った。 ・入浴補助用具 2件 ・歩行補助車 2件	高齢者等に対し、日常生活用具等を給付することにより福祉の増進を図った。 ・入浴補助用具 1件 ・歩行補助車 1件	高齢者等に対し、日常生活用具等を給付することにより福祉の増進を図った。 ・入浴補助用具 1件 ・歩行補助車 1件	B	高齢者支援課
9 住宅改造費助成事業	住宅改造が必要と認められる高齢者に対し、住宅の浴室等の改造に要する費用を助成します。	高齢者に対し、その方の居住する住宅の浴室等の改造に要する費用を現物給付により助成し、日常生活の利便を図り福祉の増進に寄与した。 ・浴室設備等 20件 ・流し台等 1件 ・手すり・段差解消等 7件	高齢者に対し、その方の居住する住宅の浴室等の改造に要する費用を現物給付により助成し、日常生活の利便を図り福祉の増進に寄与した。 ・浴室設備等 17件 ・流し台等 1件 ・手すり・段差解消等 6件 ・洋式便器 1件	高齢者に対し、その方の居住する住宅の浴室等の改造に要する費用を現物給付により助成し、日常生活の利便を図り福祉の増進に寄与した。 ・浴室設備等 14件 ・流し台等 1件 ・手すり・段差解消等 3件	B	高齢者支援課

基本施策 第2項 多様な住まいの確保

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 居住系サービスの整備	有料老人ホーム等の居住系サービスについては、「福祉施設等の配置のあり方に関する基本方針」に沿って対応します。	有料老人ホーム等の居住系サービスについては、「福祉施設等の配置のあり方に関する基本方針」に沿って対応した。	有料老人ホーム等の居住系サービスについては、「福祉施設等の配置のあり方に関する基本方針」に沿って対応した。	有料老人ホーム等の居住系サービスについては、「福祉施設等の配置のあり方に関する基本方針」に沿って対応した。	B	高齢者支援課
2 高齢者住宅事業（シルバーピア）	入居者が安心して生活できるよう配慮した高齢者専用の住宅に生活協力員を配置し、生活の安定を図ります。	青梅シルバーピア新町を民間所有者から借り上げ、住宅に困窮した65歳以上の高齢者の使用に供している。 入居者数 15人 入居率 100% 生活協力員 1名	引き続き、借り上げた青梅シルバーピア新町を、住宅に困窮した65歳以上の高齢者の使用に供している。 入居者数 15人 入居率 100% 生活協力員 1名	引き続き、借り上げた青梅シルバーピア新町を、住宅に困窮した65歳以上の高齢者の使用に供している。 入居者数 14人 入居率 93% 生活協力員 1名	B	住宅課
3 サービス付き高齢者向け住宅の整備	サービス付き高齢者向け住宅については、青梅市住宅マスタープランに沿って対応します。	平成31年4月開設のサービス付き高齢者向け住宅について、「青梅市におけるサービス付き高齢者向け住宅整備事業に際し事業者を求める基準」に則し対応した。	「福祉施設等の配置のありかたに関する基本方針」および「青梅市における東京都サービス付き高齢者向け住宅の補助に際し事業者を求める基準」に沿って対応した。 ※1施設（35戸）H31.4月入居開始	引き続き、「福祉施設等の配置のありかたに関する基本方針」および「青梅市における東京都サービス付き高齢者向け住宅の補助に際し事業者を求める基準」に沿って対応した。	B	住宅課
4 東京シニア円滑入居賃貸住宅情報登録閲覧制度	東京都の制度である「高齢者であることを理由に入居を拒まない物件情報」の閲覧・紹介を行います。	高齢者からの賃貸住宅入居の相談があった場合、この物件情報について紹介するとともに、貸主に対しても本登録制度について周知した。	閲覧・紹介実績なし （令和元年度をもって終了し、次項の「住み替え支援事業」へ統合した。）		E	住宅課
5 住替え支援事業	住宅確保要配慮者（高齢者、障害者世帯等住宅の確保に特に配慮を要する者）の民間賃貸住宅への円滑な入居の支援を行うため、居住支援協議会の設立を検討します。	住宅確保要配慮者から相談があった場合、各担当課にてケース毎に検討・調整を行い、入居支援の対応を行った。 また、居住支援協議会の設立に向け研究を重ねた。	●住宅課 居住支援協議会の設立に向け、東京都居住支援協議会にオブザーバーとして参加するなど、情報の収集に努めた。 ●障がい者福祉課 住宅確保要配慮者から相談があった場合、各担当課にてケース毎に検討・調整を行い、入居支援の対応を行った。	●住宅課 引き続き、居住支援協議会の設立に向け、東京都居住支援協議会にオブザーバーとして参加するなど、情報の収集に努めた。 ●障がい者福祉課 住宅確保要配慮者からの相談について、ケース毎に検討・調整を行い、入居支援の対応を行った。	B	住宅課 高齢者支援課 障がい者福祉課
6 住宅相談会	定期的に住宅相談会を開催し、市民の安全で安心できる快適な住まいづくりのために、住宅の新築、増改築、リフォーム、売買、賃貸等およびマンションの修繕、維持管理等に関する相談について適切な助言を行います。	安全で安心できる快適な住まいづくりのため、各種団体との協働により、住宅相談会等を毎月開催した。	・定例住宅相談会 毎月異なるテーマで年間11回開催 ・住宅なんでも相談会 10月に全テーマを一度に取扱う 「住宅なんでも相談会」を開催	・定例住宅相談会 毎月異なるテーマで年間5回開催 （4～6月、1～3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ・住宅なんでも相談会 10月に全テーマを一度に取扱う 「住宅なんでも相談会」を開催	B	住宅課

施策方針 第2節 地域福祉活動の推進

基本施策 第1項 ボランティア活動等の支援

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 ボランティア・市民活動センターの運営	センターにおいて各種団体と市が連携・協力して、保健福祉サービスを提供する体制を強化します。 市民のボランティア活動、NPO活動を支援する拠点機能の充実を図ります。	青梅ボランティア・市民活動センターにおいて、ボランティア・市民活動に関する各種相談受付や活動場所の提供などを行い、市民活動団体を支援した。また、出前講座に「だれでもできるボランティア活動」を設定し、支援を行った。	青梅ボランティア・市民活動センターにおいて、ボランティア・市民活動に関する各種相談受付や活動場所の提供などを行い、市民活動団体を支援した。また、出前講座に「あなたなりの「ボランティア」始めませんか？」を設定し、支援を行った。	青梅ボランティア・市民活動センターにおいて、ボランティア・市民活動に関する各種相談受付や活動場所の提供などを行い、市民活動団体を支援した。また、出前講座に「教えてください！ボランティア活動の第一歩」を設定し、支援を行った。	B	市民活動推進課

基本施策 第2項 福祉コミュニティづくりの推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 自治会との連携	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯に対する声掛けや安否確認について、自治会との連携を強化し、地域福祉の推進を図ります。	●市民活動推進課 高齢者世帯に関する事業の周知や高齢者の消費者被害等の注意喚起情報等のチラシ周知を行った。 ●高齢者支援課 自治会と連携して高齢者世帯での不安の解消や問題の解決を図った。	●市民活動推進課 高齢者世帯に関する事業の周知や高齢者の消費者被害等の注意喚起情報等のチラシ周知を行った。 ●高齢者支援課 自治会と連携して高齢者世帯での不安の解消や問題の解決を図った。	●市民活動推進課 高齢者世帯に関する事業の周知や高齢者の消費者被害等の注意喚起情報等のチラシ周知を行った。 自治会振興交付金を1自治会あたり一律2万円増額し、高齢者の見守り活動の準備を含めた自治会に対する財政的支援を実施した。 ●高齢者支援課 自治会と連携して高齢者世帯での不安の解消や問題の解決を図った。	B	市民活動推進課 高齢者支援課
2 民生児童委員合同協議会との連携	支援を必要とする高齢者に対し、民生児童委員と連携し、解決に向けた対応を行います。また、定期的に民生児童委員と意見交換等の場を設けます。	●福祉総務課 各地区担当の民生・児童委員において、高齢者世帯への訪問を行い、支援・相談を行った。 ●高齢者支援課 民生・児童委員からの相談等に対して、各委員と連携して、問題を抱えている高齢者宅へ訪問・面会等を行い早期解決を図った。	●福祉総務課 各地区担当の民生・児童委員において、高齢者世帯への訪問を行い、支援・相談等を行った。 また、定期的におこなわれる地区協議会において意見交換を行った。 ●高齢者支援課 民生・児童委員からの相談等に対して、各委員と連携して、問題を抱えている高齢者宅へ訪問・面会等を行い早期解決を図った。	●福祉総務課 各地区担当の民生・児童委員において、高齢者世帯への訪問を行い、支援・相談等を行った。 また、定期的におこなわれる地区協議会において意見交換を行った。 ●高齢者支援課 民生・児童委員からの相談等に対して、各委員と連携して、問題を抱えている高齢者宅へ訪問・面会等を行い早期解決を図った。	B	福祉総務課 高齢者支援課
3 社会福祉協議会等との連携	地域における民間福祉団体の中心的組織である社会福祉協議会および関係団体と連携し、地域活動とのネットワーク化を図ります。	●福祉総務課 各事業関係団体と密に連絡を取り合い、密接したネットワーク化を図った。 ●高齢者支援課 社会福祉協議会と連携して、地域福祉権利擁護事業による高齢者の援助や成年後見制度等により、問題解決を図った。	●福祉総務課 各事業関係団体と密に連絡を取り合い、密接したネットワーク化を図った。 ●高齢者支援課 社会福祉協議会と連携して、地域福祉権利擁護事業による高齢者の援助や成年後見制度等により、問題解決を図った。	●福祉総務課 各事業関係団体と密に連絡を取り合い、密接したネットワーク化を図った。 ●高齢者支援課 社会福祉協議会と連携して、地域福祉権利擁護事業による高齢者の援助や成年後見制度等により、問題解決を図った。	B	福祉総務課 高齢者福祉課

基本施策 第3項 見守りネットワークの充実

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 高齢者安心サポート事業	高齢者安心サポート事業を通じて、「燃やすごみが排出されていない」「新聞受けに新聞がたまっている」など、高齢者世帯の生活状態に変化が見られる場合に、事業者からの情報提供により安否の確認を行います。	委託業者7社との契約の仕様に基き、高齢者世帯などで情報提供をお願いした。 実績なし。	本事業は、見守り支援ネットワークと内容および締結先が重複しているため、見守り支援ネットワークに統合したことから、令和元年度の契約の仕様書から内容を削除した。		E	清掃リサイクル課
2 民間事業者との協定による連携	見守り支援ネットワーク事業協定にもとづき、民間事業者と連携し、日常業務における緩やかな見守りを実施し、ネットワークを充実していきます。	民間事業者による見守り活動を行った。年度末には連絡会を開催し情報共有を図った。 新規協定締結事業者 2社 協定締結事業者 37社	民間事業者による見守り活動を行った。11月には連絡会を開催し情報共有を図った。 また、見守り支援ネットワークに参加していることを示すステッカーを作成し締結事業者へ配布した。 新規協定締結事業者 3社 協定締結事業者 40社	民間事業者による見守り活動を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため連絡会は実施せず、3月に事業者へ活動状況の報告をしてもらい情報共有を図った。また、見守り支援ネットワークに参加していることを示すステッカーを希望する締結事業者へ配布した。 新規協定締結事業者 1社	B	高齢者支援課
3 見守り・SOSネットワークの構築	認知症高齢者等の徘徊の早期発見に対応するため、警察や民間事業者等関係団体、市民の協力による見守りのためのネットワークの構築を図ります。	民間事業者や市民を対象に認知症サポーター養成講座を実施し認知症への理解、地域で見守る目を増やす取り組みを行った。警察とは必要に応じて連携して取り組んだ。	民間事業者や市民を対象に認知症サポーター養成講座を実施し認知症への理解、地域で見守る目を増やす取り組みを行った。 サポーター養成人数 736人 市民安全課や警察との連携は必要に応じて行った。	学校や地域等からの依頼に応じて認知症サポーター養成講座を実施し認知症への理解、地域で見守る目を増やす取り組みを行った。 (市民対象の講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) サポーター養成人数 74人 市民安全課や警察との連携は必要に応じて行った。	B	高齢者支援課

施策方針 第3節 地域支援事業による自立支援の充実

基本施策 第1項 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
① 訪問型サービス						
1 訪問型サービス事業	国の基準による訪問型サービスを実施します。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	B	高齢者支援課
2 基準緩和型訪問サービス事業（訪問型サービスA）	家事援助を主とした訪問型サービスを実施します。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	B	高齢者支援課
3 おうめ生活サポーターサービス（訪問型サービスA）	元気高齢者等による、家事等の生活支援サービス（おうめ生活サポーターサービス）を実施します。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	B	高齢者支援課
4 短期集中型予防サービス事業（訪問型サービスC）	運動機能向上などの事業を、短期集中的に実施します。	希望者がいなかった。	事業としては準備していたが、対象となる状況の方がおらず導入実績はなかった。（訪問型の対象者：心身の状況や置かれている環境等により、自力での通うことが困難な者）	事業としては準備していたが、対象となる状況の方がおらず導入実績はなかった。	C	高齢者支援課

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
② 通所型サービス						
1	通所型サービス事業 国の基準による訪問型サービスを実施します。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	B	高齢者支援課
2	軽度者向けの通所型サービス（通所型サービスA） 閉じこもり防止や自立支援の通所型サービスを実施します。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、必要に応じてサービスを提供した。	B	高齢者支援課
3	短期集中型予防サービス事業（通所型サービスC） 運動機能向上などの事業を、短期集中的に実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスセンターパーク 7人（延べ66人） ・トータル・ライフ・ケア・サポート華暖 3人（延べ22人） ・デイサービスセンターほたる 1人（延べ11人） ・リハビリデイサービス足軽 8人（延べ58人） 計19人（延べ157人） ・新町接骨院 1人（延べ16人） ・福島接骨院 1人（延べ12人） 計2人（延べ28人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・トータル・ライフ・ケア・サポート華暖 1人（延べ10人） 長期的に通所できるサービスへの希望者が多いこと等により、利用者実人数は1人であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トータル・ライフ・ケア・サポート華暖 1人（延べ12人） ・森本接骨院 1人（延べ13人） ・六万通り接骨院 1人（延べ12人） ・伊東接骨院 1人（延べ12人） 	C	高齢者支援課
③ その他の生活支援サービス						
	生活支援サービス体制整備を進める中で関係機関や地域の団体等との協議により、必要なサービスについて検討を進めます。	—		元気高齢者の社会参加と介護の担い手確保のため、おうえん生活サポーターを養成した。第2層協議体活動を8つの地域で実施。地域の実情に合わせた課題の抽出や社会資源の把握、必要な資源の創出を行った。	B	高齢者支援課
④ 介護予防ケアマネジメント						
1	介護予防ケアマネジメント事業 介護予防・生活支援サービス事業対象者に対して適切な介護予防サービスが提供されるよう、アセスメント、必要に応じたケアプランの作成、サービス提供後のモニタリングを行い、自立保持のための身体的・精神的・社会生活の維持、向上を図ります。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、利用者に適切な介護予防サービスが提供されるようケアマネジメントを実施した。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、利用者に適切な介護予防サービスが提供されるようケアマネジメントを実施した。	要支援1・2、もしくは基本チェックリストからの事業対象者に対し、利用者に適切な介護予防サービスが提供されるようケアマネジメントを実施した。	B	高齢者支援課

(2) 一般介護予防事業

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1	介護予防事業対象者把握事業（介護予防把握事業） 要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の市民に対し、生活機能に関する状態等、介護予防事業対象者の把握に努めます。また、地域包括支援センター職員が訪問し、介護予防事業の説明・案内を行います。	平成30年4月1日現在、75歳の市民を対象に訪問を実施（要介護認定者、病院・施設等入所者は除く）。 訪問対象人数 1,623人 把握人数 1,366人 訪問延べ人数 1,752人	平成31年4月1日現在、75歳の市民を対象に訪問を実施（要介護認定者、病院・施設等入所者は除く）。 訪問対象人数 1,761人 把握人数 1,243人 訪問延べ人数 1,860人	令和2年4月1日現在、75歳の市民（要介護認定者、病院・施設等入所者は除く）を対象に訪問を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、状況を確認する調査票の送付に変更して実施した。返送された調査結果に応じて、地域包括支援センターが訪問や電話での状況確認を行った。 調査票発送数 1,521人 調査票返送数 1,393人 電話・訪問延べ人数 1,187人 把握人数 1,435人	B	高齢者支援課

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
2 介護予防講演会 (介護予防普及啓発事業)	介護予防に関する講演会を開催します。 介護予防に関する基本的な知識の普及を図ります。 ★目標値：開催回数2回/年	2回実施 ・「いつまでも元気はつらつ～みんなで！楽しく！元気に！～」 実施日：8月2日 講師：大淵修一氏(東京都健康長寿医療センター研究所東京都介護予防推進支援センター長) 参加者数：52人 会場：市役所会議室 ・「健康寿命&認知症&終活～(生)老病死に備えた自己点検のすすめ～」 実施日：11月20日 講師：石黒秀喜氏(元厚生労働省参事官) 参加者数：81人 会場：市役所会議室	2回実施 ・「人生100年時代を元気に生きるこれからは「フレイル予防」」 実施日：8月5日 講師：田中友規氏(東京大学高齢社会総合研究機構) 参加者数：64人 会場：市役所会議室 ・「認知症にやさしい地域をめざして」 実施日：1月16日 講師：井上宏氏(厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室長補佐) 参加者数：106人 会場：市役所会議室	フレイル予防や認知症予防をテーマに講演会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	B	高齢者支援課
3 介護予防教室 (介護予防普及啓発事業)	介護予防の普及に資する運動教室等の介護予防教室を開催します。 ★目標値：受講人数述べ960人/年	・健康寿命のび～る教室 全12回×年4回 55人(延べ556人) 委託事業者：医療法人社団和風会 会場：総合体育館、梅郷市民センター、今井市民センター、福祉センター ・歩き方講座 全6回×年2回：41人(延べ211人) 講師：加藤直治氏(いきる姿勢インストラクター) 会場：高齢者センター	・健康寿命のび～る教室 全12回×年3回 全10回×年1回(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2回中止) 参加者数：54人(延べ498人) 委託事業者：株式会社ルネサンス 会場：成木市民センター、沢井市民センター、住友金属鉱山アリーナ青梅、福祉センター ・脳イキイキ教室 全5回×年1回 全4回×年1回(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回中止) 参加者数：29人(延べ126人) 委託事業者：株式会社ルネサンス 会場：住友金属鉱山アリーナ青梅、福祉センター	・健康寿命のび～る教室 全12回×年1回実施、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年2回中止 参加者数：20人(延べ204人) 委託事業者：株式会社ジェイレック 会場：新町市民センター ・脳イキイキ教室 全6回×年2回実施、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため年1回中止 参加者数：40人(延べ223人) 委託事業者：株式会社ルネサンス 会場：文化交流センター、大門市民センター ・冬の免疫力アップ講座～おうちで取り組む身体づくり～：資料配布および動画配信にて実施	B	高齢者支援課
4 介護予防リーダー養成事業 (地域介護予防活動支援事業)	介護予防の重要性を理解し、地域で健康づくりのための活動を担っていく介護予防リーダーを養成します。	・介護予防リーダー養成講座 全12回：14人(延べ157人) ・介護予防リーダー定例会 全6回：46人(延べ201人) 委託事業者：医療法人社団和風会	・介護予防リーダー養成講座 全10回：23人(延べ198人) ・介護予防リーダー定例会 全4回：53人(延べ129人) ※定例会は全5回開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、1回中止。 委託事業者：医療法人社団和風会	・介護予防リーダー養成講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・介護予防リーダー定例会は、少人数グループの個別支援に変更して実施。 12講座、延べ57人 委託事業者：医療法人社団和風会	B	高齢者支援課

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
5 介護予防運動等の普及・啓発（関連事業：元気に♪楽しく♪梅っこ体操）	青梅市介護予防オリジナル体操「梅っこ体操」等の介護予防の運動や知識の普及を図り、地域住民（市民）を主体とした介護予防、健康づくりを支援します。 ★目標値：教室開始回数6回/年	介護予防教室を年3回開催し、認知症予防をテーマに講義や梅っこ体操、レクリエーション等を実施。 参加者延べ67人。 ・2/14 会場：柚木2丁目自治会館 38人 ・2/28 会場：木野下会館 19人 ・3/10 会場：根ヶ布2丁目自治会館 10人	令和元年度から各地域包括支援センター主催で介護予防教室を開催し、教室内で梅っこ体操等の介護予防運動を実施。 ・年11回実施 参加者延べ184人	各地域包括支援センターが主催で介護予防教室を開催し、講義や梅っこ体操等を実施した。 ・介護予防教室 6回、延べ86人	B	高齢者支援課
6 介護予防機能の強化（地域介護予防活動支援事業）	介護予防リーダーなどのボランティアの協力により、高齢者等が地域で行う自主的な介護予防活動を支援していきます。 ★目標値：自主グループ数36か所	新たに2か所の自主グループが立ち上がり、自主グループ数が、合計22か所となった。	自主グループ数 計23か所 ・新規5か所 ・解散4か所	自主グループ数 計26か所 ・新規3か所	B	高齢者支援課
7 高齢者クラブ健康づくりモデル事業（地域介護予防活動支援事業）	ウォーキングを取り入れた健康づくりなどのモデル事業を支援します。 事業を通じて地域活動組織の育成を図ります。	実施期間 9月～11月 ウォーキング教室およびウォーキング実施前後の体力測定を実施。 講師：鈴木 真理子氏 ・三田連合（沢井清涼会・二俣尾清涼会・御岳清涼会） 31人（延べ53人） ・柚木梅寿会 19人（延べ32人） ・梨の木むつみ会 34人（延べ60人） 全84人（延べ145人）	実施期間 9月～11月 ウォーキング教室およびウォーキング実施前後の体力測定を実施。 講師：鈴木 真理子氏 ・裏宿梅園会 30人（延べ50人） ・黒沢寿会 26人（延べ44人） ・今寺楽楽会 22人（延べ35人） 全78人（延べ129人）	自発的な介護予防に資する組織の育成・支援を高齢者クラブ加入者を対象に実施する予定であったが、既に一定数の高齢者クラブに実施しているため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止した。 今後は事業内容や実施方法について再検討を行っていく。	B	高齢者支援課
8 地域リハビリテーション活動支援事業	市民への介護予防や、ケアマネジメント支援へ、リハビリテーション専門職の専門的知見の活用を図ります。	未実施	地域リハビリテーション活動支援事業に向けた取り組みとして、リハビリテーション専門職等を講師に、市内各所で介護予防をテーマに講義や体操、レクリエーション等の内容で介護予防教室を実施した。 リハビリテーション専門職による教室開催：7か所、延べ参加人数111人	介護予防、フレイル予防等をテーマにリハビリテーション専門職等を講師に、講義や体操、レクリエーションを実施した。 ・介護予防教室 6回、延べ86人 ・介護の日イベントでの講座 6回、延べ46人	B	高齢者支援課

基本施策 第2項 地域包括支援センターの機能強化

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 総合相談支援事業	高齢者の実情把握に努め、高齢者本人・家族・近隣住民からの相談に対応し、総合的・専門的な援助（助言・指導）を行います。 地域の民生児童委員や公的機関、専門機関等と連絡を密にし、総合的支援体制を整備します。	平成30年度相談件数（直営分） 電話217件、訪問1,312件、来所281件 地域の民生委員や関係機関等、高齢者本人や親族以外からも幅広く相談を受け付け、支援に繋げることができた。	平成31年度相談件数（直営分） 電話248件、訪問1,343件、来所219件 地域の民生委員や関係機関等、高齢者本人や親族以外からも幅広く相談を受け付け、支援に繋げることができた。	令和2年度相談件数（直営分） 電話400件、訪問1,069件、来所280件 地域の民生委員や関係機関等、高齢者本人や親族以外からも幅広く相談を受け付け、支援に繋げることができた。	B	高齢者支援課
2 包括的・継続的ケアマネジメント支援	ケアプラン作成技術の個別指導、支援困難事例への指導助言、地域における社会資源との連携・協力体制の整備等を行います。	介護予防事業が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なケアマネジメントを行った。 ケアプラン勉強会 ・年97回実施 ・延べ参加人数：1,235人	介護予防事業が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なケアマネジメントを行った。 ケアプラン勉強会 ・年88回実施 ・延べ参加人数：1,014人	介護予防事業が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なケアマネジメントを行った。 ケアプラン勉強会 ・年42回実施 ・延べ参加人数：444人	B	高齢者支援課
3 地域包括支援センターの機能強化	全地域包括支援センターおよび職種ごとのグループによる連絡会や勉強会を定期的に開催し、職員の資質向上を図ります。 地域包括支援センター事業の評価について検討・実施します。 市民に、よりわかりやすい窓口とするため、在宅介護支援センター機能を包含します。	連絡会や所長会議、職種別勉強会を毎月実施し、包括支援センター職員の資質向上を図るとともに、困難事例への支援を行った。 なお、在宅介護支援センターが地域包括支援センターに統合したことで相談窓口が市民にとってわかりやすいものとなった。	連絡会や所長会議、職種別勉強会を毎月実施し、包括支援センター職員の資質向上を図るとともに、困難事例への支援を行った。	連絡会や所長会議、職種別勉強会を毎月実施し、包括支援センター職員の資質向上を図るとともに、困難事例への支援を行った。	B	高齢者支援課

基本施策 第3項 認知症施策の推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 成年後見制度の活用支援（関連事業：権利擁護事業）	社会福祉協議会と連携し、成年後見制度の周知と活用の促進を図り、判断能力の不十分な高齢者が、財産管理や身上監護についての契約などの法律行為をする際に、保護・支援を行います。	●福祉総務課 推進機関の運営等について、引続き、社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の推進を図った。 また、市民講座を社会福祉協議会が開催するにあたり、開催支援を行った。 ●高齢者支援課 認知症が進み、判断能力が低下した高齢者の権利擁護のため、成年後見制度の支援について社会福祉協議会等と連携し支援を行っている。	●福祉総務課 推進機関の運営等について、引き続き、社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の推進を図った。 ●高齢者支援課 認知症が進み、判断能力が低下した高齢者の権利擁護のため、成年後見制度の支援について社会福祉協議会等と連携し支援を行っている。	●高齢者支援課 認知症が進み、判断能力が低下した高齢者の権利擁護のため、成年後見制度の支援について社会福祉協議会等と連携し支援を行っている。	B	福祉総務課 高齢者支援課
2 認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成するための講師を派遣します。 ★目標値：述べ8,000人	市職員や地域住民のほか、店舗従業員、また初めて市立小学校の児童向けの養成講座を19回開催し、970人の認知症サポーターを新たに養成し、延5,144人となった。	市職員や地域住民のほか、店舗従業員、市立小学校の児童向けの養成講座を17回開催し、736人の認知症サポーターを新たに養成し、延5,880人となった。	学校や地域等からの依頼に応じて認知症サポーター養成講座を4回開催し、74人の認知症サポーターを新たに要請し、延5,954人となった。（市民対象の講座はコロナウイルス感染拡大防止のため中止した。）	B	高齢者支援課

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
3 介護サービス事業者認知症研修会の実施	介護サービス事業者を対象に、認知症への理解をさらに深めるため、研修会を実施します。	実施なし	認知症の行動・心理症状（BPSD）を軽減する「日本版BPSDケアプログラム」の普及促進のため、市内介護サービス事業者のうち希望のあった21事業所を対象にアドミニストレーター養成研修を実施した。 参加延数 21事業所24人	認知症の行動・心理症状（BPSD）を軽減する「日本版BPSDケアプログラム」の普及促進のため、市内介護サービス事業者のうち希望のあった事業所を対象にオンラインにてアドミニストレーター養成研修・フォローアップ研修を実施した。 参加延数 5事業所9人	B	高齢者支援課
4 徘徊高齢者家族支援サービス事業	徘徊高齢者を探索するための位置探索GPS機器を貸与し、現在位置の情報を介護者等に提供します。	貸与件数：14件 利用延べ人数：123人	貸与件数：13件 利用延べ人数：137人	貸与件数 15件 利用延べ人数 149人	B	高齢者支援課
5 認知症家族会等への支援	認知症の人や介護する家族同士の集いの場を提供するなどの支援を行います。 ★目標地：認知症カフェ3か所 認知症家族の会3か所	家族会の運営が円滑に行われるよう、家族会の作成する案内等作成への支援等を行った。	家族会の運営が円滑に行われるよう、家族会の作成する案内等作成への支援等を行った。	家族会の運営が円滑に行われるよう、家族会の作成する案内等作成への支援等を行った。	B	高齢者支援課
6 認知症支援コーディネーター事業	認知症支援コーディネーターを配置し、個別ケース支援のバックアップを担い、認知症の疑いのある高齢者の早期発見・診断・対応を進めます。	個別ケースへの訪問等により認知症の疑いがある人への相談や早期発見・早期診断につなげる支援を行った。 相談件数：延べ885件 訪問件数：延べ222件	個別ケースへの訪問等により認知症の疑いがある人への相談や早期発見・早期診断につなげる支援を行った。 相談件数：延べ1,451件 訪問件数：延べ293件	個別ケースへの訪問等により認知症の疑いがある人への相談や早期発見・早期診断につなげる支援を行った。 相談件数：延べ661件 訪問件数：延べ149件	B	高齢者支援課
7 認知症地域支援推進員の設置	認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族からの相談を受けたり、医療、介護の連携支援や研修会開催など、地域における支援体制の構築を進めます。	認知症地域支援推進員の配置により居宅介護支援事業所・サービス事業所に対して、認知症の知識や啓発を行い、連携を図っている。	認知症地域支援推進員の配置により居宅介護支援事業所・サービス事業所に対して、認知症の知識や啓発を行い、連携を図った。	認知症地域支援推進員の配置により居宅介護支援事業所・サービス事業所に対して、認知症の知識や啓発を行い、連携を図った。	B	高齢者支援課
8 認知症疾患医療センター等との連携	受診困難等認知症の疑いのある高齢者を訪問するなど、認知症の人とその家族を支援するため、都が指定する認知症疾患医療センター、民生児童委員、かかりつけ医等との連携を深めます。	認知症の早期発見・早期診断に向け、西多摩医療圏地域拠点型認知症疾患医療センター（青梅成木台病院）と連携して相談支援に取り組んだ。	認知症の早期発見・早期診断に向け、西多摩医療圏地域拠点型認知症疾患医療センター（青梅成木台病院）と連携して相談支援に取り組んだ。	認知症の早期発見・早期診断に向け、西多摩医療圏地域拠点型認知症疾患医療センター（青梅成木台病院）と連携して相談支援に取り組んだ。	B	高齢者支援課
9 認知症初期集中支援推進事業	本人の拒否等から医療や介護のサービスに結びついておらず認知症または認知症の恐れのある高齢者を、適切なサービスの安定的利用につなげる支援を行います。	認知症またはその疑いのある方、家族を訪問し、早期に関わり診断・対応できるよう専門職からなる認知症初期集中支援チームを設置し支援を行った。 支援件数：2件	認知症またはその疑いのある方、家族を訪問し、早期に関わり診断・対応できるよう専門職からなる認知症初期集中支援チームを設置し支援を行った。 令和元年度は実績がなかったが、継続支援2件等について、チーム員会議を実施した。	認知症またはその疑いのある方、家族を訪問し、早期に関わり診断・対応できるよう専門職からなる認知症初期集中支援チームを設置している。令和2年度は支援の実績はなかったが、事業の周知につとめた。	C	高齢者支援課

基本施策 第4項 在宅医療・介護連携の推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 在宅医療・介護連携に関する会議の実施	在宅医療、介護連携に関する会議を開催し、課題の抽出と対応の検討を行います。	地域包括ケアシステムに向けた取り組みの一環として青梅市多職種ネットワーク連絡会を1回開催した。	青梅市多職種ネットワーク連絡会を1回開催し、各職種の立場からの問題点や現在の取り組みを共有した。	青梅市多職種ネットワーク連絡会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	C	高齢者支援課
2 在宅医療・介護連携に関する研修の実施	医療と介護について、関係者が互いの業務の現状を知り、意見交換のできる関係を構築するなど、地域の医療・介護関係者の連携促進を目的とした多職種での研修を近隣自治体と連携して実施します。	西多摩広域行政圏協議会共同事業として医療・介護関係者向け研修会を実施した。 内容「西多摩の地域特性と地域包括ケアシステムの課題」 参加人数：92人	西多摩広域行政圏協議会共同事業として医療・介護関係者向け研修会を実施した。 内容「在宅療養を基本とした循環型療養基盤の確立」 参加人数：82人	西多摩広域行政圏協議会共同事業として医療・介護関係者向け研修会をオンラインで実施した。 ・内容「高齢者施設における新型コロナウイルス感染症発生時における職員の派遣に関する協定」について他 参加人数：63人 ・内容「新型コロナウイルス感染症の災害に対応した介護事業所におけるBCPの作成について」 参加人数：42人	B	高齢者支援課
3 在宅医療・介護連携に関する地域住民への普及啓発	地域住民が在宅医療や介護について理解し、在宅での療養が必要になったときに必要なサービスを適切に選択できるようにするとともに、地域住民の在宅医療や介護連携の理解の促進を図ります。	西多摩広域行政圏協議会共同事業として地域住民向け研修会を1回実施した。 内容「からだを整える呼吸(息・生き)のはなし」 参加人数：116人	西多摩広域行政圏協議会共同事業として地域住民向け講演会を1回実施した。 内容「西多摩で生きて逝く」 参加人数：237人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、西多摩広域行政圏協議会共同事業として地域住民向け講演会は実施しなかった。	B	高齢者支援課
4 地域の医療・介護サービス資源の把握	地域の医療機関や介護事業所等の住所・連絡先、機能等を把握し、必要に応じて連携に有用な項目等の情報について地域の医療・介護関係者と共有します。	西多摩広域行政圏協議会共同事業として「在宅医療・介護支援ガイドブック」を作成した。	西多摩広域行政圏協議会共同事業として「在宅医療・介護ガイドブック」を改訂した。	西多摩広域行政圏協議会共同事業として「在宅医療・介護ガイドブック」を改訂し、窓口等における周知を行った。	B	高齢者支援課
5 切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築の推進	地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築に取り組みます。	実施に向けての情報収集、研究を行った。	・青梅市多職種ネットワーク連絡会において、課題を共有した。	青梅市多職種ネットワーク連絡会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	C	高齢者支援課
6 医療・介護関係者の情報共有の支援	地域の医療・介護関係者間での情報共有ツールの導入や活用について支援します。	青梅市医師会がICTを導入し事務局となっている。青梅市多職種ネットワーク連絡会でICT導入後の状況について取組発表および事業の周知を実施した。	・青梅市医師会がICT事務局となっている。 ・青梅市多職種ネットワーク連絡会においてICTの現状、そこから見える問題点などを共有した。	青梅市多職種ネットワーク連絡会が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、昨年度明らかにした問題点などの共有にとどまっている。	B	高齢者支援課
7 在宅医療・介護連携に関する相談支援	医療・介護関係者の連携を支援する相談窓口の設置等により、連携の取組を支援します。	直営包括支援センター内に医療介護連携相談窓口設置に向けて準備を行うことについて青梅市多職種ネットワーク連絡会で検討を行った。	直営包括支援センター内で、医療・介護連携に関する相談支援を実施。	直営包括支援センター内で、医療・介護連携に関する相談支援を実施。 相談件数 延べ43件	B	高齢者支援課
8 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	同一の二次医療圏内にある市町村等で必要な事項について連携します。	医療介護連携相談窓口設置に向けて、他市町村の情報収集を行った。	西多摩地域広域行政圏協議会生活部会「介護保険分科会」において情報共有を実施。	西多摩地域広域行政圏協議会生活部会「介護保険分科会」において情報共有を実施。	B	高齢者支援課

基本施策 第5項 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 生活支援サービスの体制整備	ボランティアの養成や住民主体の通いの場の設置等生活支援の基盤整備のため、関係機関と協議を進めるとともに、高齢者と地域の様々なサービスや社会資源とをつなぐ生活支援コーディネーターについて協議し、新たな社会資源の発見、サービスの創出、ネットワーク構築を図ります。 ★目標値：第2層協議体設置数3か所 第2層生活支援コーディネーター 人数3人	第2層生活支援コーディネーターを日常生活圏域(3圏域)に1名ずつ配置(1名は第1層と兼務)。生活支援の体制整備(支えあいの地域づくり)を推進していくため、「おうち地域支えあいフォーラム」を実施。その後、第2層協議体設置に向けた地域での勉強会を重ね、第2層協議体が2か所発足した。	地域での支えあい活動を推進するため、支会を単位とする地域9か所で勉強会を計27回開催した。また、地域での支えあいの仕組みづくりをさらに推進していくことを目的として、フォーラムを実施した。	地域で支えあい活動を推進するため、8つの地域で第2層協議体の活動を実施。計48回開催した。	B	高齢者支援課

基本施策 第6項 地域ケア会議の推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 地域ケア会議の推進	地域ケア会議を開催し、個別事例の検討を通じた多職種協働によるケアマネジメント支援を行い、地域のネットワーク構築を図ります。さらに、地域課題の把握へとつなげます。 ★目標値：検討事例18件/年	開催回数：6回 検討事例：18事例	開催回数：5回 検討事例：15事例(新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止)	開催回数：4回 検討事例：12事例(新型コロナウイルス感染拡大防止のため3回中止)	B	高齢者支援課

基本施策 第7項 任意事業の推進

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 介護サービス事業者連絡会	市と介護サービス事業者の定期的な情報交換と連絡協議の場として、介護サービス事業者連絡会を行います。	認知症の周辺症状(BPSD)の改善を目指すケアプログラムについて研修会を1回実施した。 内容「日本版BPSDケアプログラムの紹介」 参加人数：71人	開催回数：2回 ・1回目 講演「薬剤師の在宅業務」 参加人数：63人 ・2回目 講演「令和元年台風19号被害状況と今後の課題」 参加人数：87人	開催回数：1回(書面開催) 「青梅市指定居宅介護支援等の人員および運営に関する基準を定める条例等の一部改正について」ほか	B	高齢者支援課
2 居宅介護支援事業者連絡会	ケアマネジャーの情報交換と連絡協議の場として居宅介護支援事業者連絡会を行います。	1回実施した。 内容：居宅介護支援事業所に対する実地指導について説明等、質疑応答、意見・要望等の聴取 参加人数：79人	内容：居宅介護支援事業所運営のポイント、介護労働者の労働条件の確保・改善について講義を行った。 参加人数：68人	開催回数：1回(オンライン開催) 「知っておきたい住宅改修～ケアマネ編～」、「介護保険制度以外の高齢者福祉サービス」について、講演を行い制度についての周知を図った。 参加人数：48人	B	高齢者支援課
3 介護給付費通知発送	介護サービス利用者に、実際に利用しているサービスの種類・費用を通知します。利用者の給付内容の把握と介護保険制度の理解を図ります。	介護給付費通知を年間2回に分けて発送し、給付内容を確認いただくことにより、給付の適正化を図るとともに、制度理解を促進した。 ・9月発送分(30年1月～6月分) 送付件数：4,948通 ・3月送付分(30年7月～12月分) 送付件数：5,057通	介護給付費通知を1回発送し、給付内容を確認いただくことにより、給付の適正化を図るとともに、制度理解を促進した。 ・10月発送(令和元年1月～7月分) 送付件数：5,297通	介護給付費通知を1回発送し、給付内容を確認いただくことにより、給付の適正化を図るとともに、制度理解を促進した。 ・10月発送(令和元年8月～令和2年7月分) 送付件数：5,792通	B	介護保険課

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
4 家族介護教室	高齢者を介護している家族等に対し、介護方法や介護予防、健康づくりなどについての知識・技術を習得する家族介護教室を開催します。	市民センターや自治会館等で介護者の健康づくり等に関する内容で教室を実施し、介護者の身体的精神的負担の軽減を図ることを目指した。 実施回数：6回 参加人数計：87人	・「認知症の患者・家族から学んだ「いのちのかけがえのなさ」」 実施日：2月20日 講師：佐藤猛氏(菜の花クリニック医師) 参加者数：55人	・「認知症の介護～いのちのかけがえのなさ～」 実施日：11月16日 講師：佐藤猛氏(菜の花クリニック医師) 参加者数：31人	B	高齢者支援課
5 家族介護慰労金支給事業	重度の要介護者を在宅で介護している家族等の慰労および経済的負担の軽減などを図るため、一定の要件を満たす場合に家族介護慰労金を支給します。	該当件数：1件 支給額：100,000円	該当件数：3件 支給額：300,000円	該当件数：3件 支給額：300,000円	B	高齢者支援課
6 成年後見制度申立事業	身寄りがいない認知症高齢者等の保護を図るため、市長が法定後見（後見・保佐・補助）開始の審判申立てを行います。	申請件数：11件 申立件数：8件	申請件数：12件 申立件数：7件	申請件数：21件 申立件数：10件	B	高齢者支援課
7 介護サービス相談員派遣事業	介護サービス相談員が介護施設を訪問し、利用者の相談に対応します。	介護サービス相談員6人 64か所の施設、事業所および10居宅にお訪した。 訪問件数：延べ188回 相談人数：延べ677人	介護サービス相談員6人 55か所の施設、事業所を訪問した。 訪問件数：延べ149回 相談人数：延べ556人	介護サービス相談員3人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、期間を短縮し、8か所の施設、事業所を訪問した。 訪問件数：延べ8回 相談人数：延べ34人	B	高齢者支援課

基本目標 第4章 高齢者が住み慣れた地域で自立して暮らせるまち

施策方針 第1節 介護保険事業の健全な運営

基本施策 第5項 介護サービスの適正な給付

事業名	事業の内容	平成30年度取組状況	令和元年度取組状況	令和2年度取組状況	担当課 評価	担当課
1 要介護認定の適正化	業務分析データや認定調査結果から、ばらつきのある項目について分析を行い、全国一律の基準にもとづく要介護認定が行えるように改善を図ります。	審査会委員には合議体長会議で情報提供を行い、意見交換の場を設けた。また、調査員に対しては研修を実施し、調査項目のばらつきの改善を図った。	審査会委員には全体会議で情報提供を行い、意見交換の場を設けた。また、調査員に対しては研修を実施し、調査項目のばらつきの改善を図った。 実施件数：5,609件	審査会委員には合議体長会議で情報提供を行い、意見交換の場を設けた。また、調査員に対しては昨年度に引き続き研修を実施し、調査項目のばらつきの改善を図った。 実施件数：3,834件	B	介護保険課
2 ケアプランの点検	介護支援専門員が作成したケアプラン等を保険者がともに確認することで、自立支援に資するケアマネジメントを協力して達成します。	1件実施した。 その他、居宅介護支援事業所の実地指導等で、ケアプラン56件の点検を実施した。	1件実施した。 その他、居宅介護支援事業所の実地指導等で、ケアプラン159件の点検を実施した。	1件実施した。 その他、居宅介護支援事業所の実地指導等で、ケアプラン210件の点検を実施した。	B	介護保険課
3 住宅改修等の点検	受給者の身体状況等を踏まえた適切な住宅改修・福祉用具の給付がなされるよう点検を行います。	申請書の内容や改修概要が不明確なものについて3件実施した。	申請書の内容や改修概要が不明確なものについて9件実施した。	申請書の内容や改修概要が不明確なものについて1件実施した。	B	介護保険課
4 縦覧点検・医療情報との突合	(縦覧点検) 介護報酬の給付実績を確認し、提供されたサービスの整合性、算定回数・算定日数等の点検を行います。誤りがある場合は事業者に正しい請求を行うよう促します。 (医療情報との突合) 介護給付情報と医療給付情報を突合せ、医療と介護の重複請求の排除等を図ります。	毎月、国民健康保険団体連合会からの医療情報との突合について確認を行い、請求誤りを是正した。	毎月、国民健康保険団体連合会からの医療情報との突合について確認を行い、請求誤りを是正した。 実施件数：32件	毎月、国民健康保険団体連合会からの医療情報との突合について確認を行い、請求誤りを是正した。 実施件数：72件	B	介護保険課
5 介護給付費通知の発送	介護サービス利用者に、利用しているサービスの種類・費用・回数等を通知し、利用者の給付内容の把握と介護保険制度の理解を図ります。	介護給付費通知を年間2回に分けて発送し、給付内容を確認いただくことにより、給付の適正化を図るとともに、制度理解を促進した。 ・9月発送分(30年1月～6月分) 送付件数：4,948通 ・3月送付分(30年7月～12月分) 送付件数：5,057通	介護給付費通知を1回発送し、給付内容を確認いただくことにより、給付の適正化を図るとともに、制度理解を促進した。 ・10月発送(令和元年1月～7月分) 送付件数：5,297通	介護給付費通知を1回発送し、給付内容を確認いただくことにより、給付の適正化を図るとともに、制度理解を促進した。 ・10月発送(令和元年8月～令和2年7月分) 送付件数：5,792通	B	介護保険課
6 給付実績の活用	給付実績を活用して、不適切な給付や事業者を発見し、適正なサービス提供と介護費用の効率化、事業者の指導育成を図ります。	居宅介護支援事業所5か所および地域密着型サービス事業所4か所の実地指導において、適正なサービス提供が行われているか確認を行った。	居宅介護支援事業所10か所および地域密着型サービス事業所10か所の実地指導において、適正なサービス提供が行われているか確認を行った。	居宅介護支援事業所9か所および地域密着型サービス事業所8か所の実地指導において、適正なサービス提供が行われているか確認を行った。	A	介護保険課

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート（令和2年度実績）

第7期介護保険事業計画に記載の内容			令和2年度（年度末実績）				
区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標（事業内容、指標等）	実施内容	自己評価結果	課題の解決に向けた質の評価	課題と対応策
給付適正化	要介護認定については、業務分析データや調査票の点検等から調査項目のばらつきを把握した。調査員に対しては研修を実施し、認識の共有を図ることができたが、審査委員に対しては研修の回数が増え、研修が一回のみの実施となったため、今後は研修等意見交換の場を増やす必要がある。	要介護認定の適正化	【事業内容】業務分析データや認定調査結果から、ばらつきのある項目について分析を行い、全国一律の基準にもとづく要介護認定が行えるように改善を図る。 【目標】定期的に調査員・審査委員との研修や意見交換の場を設け、ばらつきのある項目について情報共有し、適正な要介護認定が行えるように改善を図る。	審査委員には合議体長会議で情報提供を行い、意見交換の場を設けた。また、調査員に対しては研修度に応じて研修を実施し、調査員とのばらつきを改善を図った。 自己評価結果【◎】 意見交換の場や研修を通して、ばらつき項目の改善を図ることが出来た。今後も意見交換の場や研修を積極的に情報共有を行っていった。	自己評価結果【◎】	研修以外にも意見を得る機会を設け、情報共有の場を増やしていった。	令和2年度は審査委員に対しては、研修が一回の実施となったが、アンケートを実施して結果を返すことで意見交換の場を増やすことが出来た。調査員に対しては研修や定期的な情報共有ツール（印刷物）により、令和2年度も引き続き情報共有の機会を設けることが出来た。
給付適正化	ケアプランの点検については、介護支援専門員の資格認定された職員が実施されている。したがってケアマネジメントに対する理解に時間差を、異動等に伴う引継ぎも難しい状況。	ケアプラン点検の実施	【事業内容】介護支援専門員が作成したケアプラン等を保険者がともに確認することで、自立支援に関するケアマネジメントを強化して連携する。 【目標】研修を通して介護支援専門員とケアマネジメントの考え方を共有するとともに、保険者として視点を明確にし、各種システム等活用しながら計画的に点検を実施する。	1件のケアプラン点検を実施した。 また、原宅介護支援事業所の実施指導等ケアプラン210件の点検を実施した。	自己評価結果【○】	令和2年度ケアマネジメントの質の向上が、研修会を支援したことにより、ケアマネジメントの基本的な考え方について、さらに理解を深めることができた。	ケアマネジメントの考え方については、現在のところ担当者等が把握しているみにとどまっている。今後のケアプラン点検の質を下げることなく、スムーズな事務引継ぎを行えるよう注ぎする観点からも、担当事業所と共有を図っていく必要がある。
給付適正化	住宅改修等について、適正な給付が行われるよう点検を行っている。また、点検結果に基づき、費用を補助している。	住宅改修等の点検	【事業内容】受給者の身体状況を踏まえた適切な住宅改修・福祉用具の給付がなされるよう点検を行う。 【目標】申請内容を精査するとともに、効果的な訪問調査を実施する。価格の適正化を図る。	令和2年度は書面点検を425件行った。新たなコロナ禍の中で訪問調査は困難であったが、感染者数が落ち着いていた7～8月に1件を行った。	自己評価結果【○】	福祉性環境コーディネーター2級の資格を持つ職員も携わりながら、多様なケースに対し、利用者の状況や理由作成等の意識などを精査し、給付を行うことができた。	訪問調査が必要なケースに対し、感染症対策のため点検を情報共有を体制構築して点検を行うことができた。
給付適正化	国保連合会処理委託以外の項目について、点検結果に基づき、必要な情報を精査している状況である。	縦覧点検・医療情報との突合	【事業内容】（縦覧点検）介護報酬の給付実績を確認し、提供されたサービスの整合性、算定回数、算定日数等の点検を行う。誤りがある場合は事業者に正しい請求を行うよう促す。 （医療情報との突合）介護給付情報と医療給付情報を突合させ、医療と介護の重複請求の排除等を行う。 【目標】保険者（市）確認（国保連合会処理委託以外）について、未実施の項目を順次実施する。	医療情報との突合に関しては、国保連合会より提供された情報と介護給付データとを照合し、重複請求について点検を行い、医療と介護の重複請求の排除を行った。	自己評価結果【○】	医療情報との突合を行ったが、介護報酬の給付実績の確認作業は情報精査している所である。	縦覧点検、研修等を活用し点検情報との突合を行ったため適正な給付につながっている。
給付適正化	給付費通知の趣旨や見べきポイント等を通知し、利用者の理解を促し、適正なサービス利用の促進と介護保険制度の理解を図る。また、高齢介護サービス費等の年間上限等を踏まえて、年一回の送付も検討した。	介護給付費通知の発送	【事業内容】介護サービス利用者へ、利用しているサービスの種類・費用・回数等を通知し、利用者の給付内容の把握と介護保険制度の理解を図る。 【目標】通知内容・回数・対象者を適宜見直しながら、効果的な通知となるよう改善を図る。	送付方法や内容、対象者、回数について改善点がない見直しを行い、少ない費用でより多くの効果を上げるよう行った。	自己評価結果【◎】	年間の高級介護サービス費の算定期間に合わせて、通知に添付する期間を12月とするように、利用者の身に覚えのない給付は無いが、高級介護サービス費などの確認を促した。送付回数は1回で、通知内容は以前と同じである。	費用を削減しつつ、被保険者の通知内容については同じレベルを保つよう改善することができた。
給付適正化	給付実績情報については、主に業地指導の取組、ケアプランや契約書類等を精査する対象者の選定に活用している。今後、国保連合会から提供されている各種システムや帳簿を組み合わせて活用して余地がある。	給付実績の活用	【事業内容】給付実績を活用して、不適切な給付や事業者を発生し、適正なサービス提供と介護費用の効率化、事業者の指導育成を図る。 【目標】ケアプラン点検・実地指導等と連動させながら、主要な帳簿から順次活用を始める。	ケアプラン点検では1件分、実地指導は原宅介護支援事業所で52件分、地域密着型サービス事業所で46件分の給付実績情報を活用した。	自己評価結果【○】	給付実績情報の活用により、利用者へのサービス量の確保や傾向をつまみやすくなり、効果的な実地指導を行うことができた。	給付適正化については、専門的な確認が行える職員が少なく数が多い。介護給付適正化研修システム研修会や定期的な研修に参加し、特に業務等技術的な視点から、担当課全体として給付適正化業務の質の底上げを図る必要がある。
自立支援・介護予防・重度化防止	○介護予防・日常生活圏域一斉調査結果でうつ傾向高齢者37.9%、転倒リスク高齢者26.4%となっている。地域活動参加上の問題は「参加する時間的余裕がない」「健康・体力に自信がない」「地域で行われている活動を知らない」「気軽に参加できる内容が少ない」が上位となっている。	各種介護予防教室や講演会等を開催し、自立支援や介護予防等に対する意識付けと、正しい知識の習得等と啓発・周知の取り組みを行う	・介護予防講演会 2回/年 ・介護予防教室の受講数 延べ960人/年 ・梅っこ体操等の普及啓発 6回/年 ・認知症サポーター数 延べ8,000人	・介護予防講演会 0回/年 ・介護予防教室の受講数 延べ631人/年 ・梅っこ体操等の普及啓発 5回/年 ・認知症サポーター数 延べ5,954人	自己評価結果【○】	・コロナの影響により、教室等の開催数は減少したが、介護予防に関するチラシやパンフレットの配布等により、在宅高齢者に向けて介護予防の普及啓発を行うことはできた。 ・感染症対策等について対策としては、一部公費での開催は行わず、依頼に応じた開催のみをキャンセルを派遣した。	・コロナ禍で高齢者のフレイルの進行が危惧されている。新しい生活様式によって、より地域の身近な場所での教室を開催する等、検討が必要。
自立支援・介護予防・重度化防止	○介護予防・日常生活圏域一斉調査結果でうつ傾向高齢者37.9%、転倒リスク高齢者26.4%となっている。地域活動参加上の問題は「参加する時間的余裕がない」「健康・体力に自信がない」「地域で行われている活動を知らない」「気軽に参加できる内容が少ない」が上位となっている。	・通いの場の創出にかかる取組 地域の人が実施する介護予防などを目的とした運動に資する通いの場づくりへの意識向上や、実施する意欲のある人の掘り起し	・自主グループ数 26か所 ・認知症カフェの設置数 1か所 ・認知症家族会の設置数 3か所	・自主グループ数 26か所 ・認知症カフェの設置数 1か所 ・認知症家族会の設置数 1か所	自己評価結果【○】	・コロナ禍で自主グループが立ち上がった原因としては、地域介護予防活動支援事業補助金交付要綱が制定され、会場確保に有利な補助が開始されたこと、活動の幅が広がったこと、居外での自主グループ立ち上げを支援したこと等が挙げられる。 ・コロナ禍での活動に対する不安解消のため、個別フォローアップ会を開催し、各地域包括支援センターでは、介護予防リーダーに個別に電話・訪問を行い、開会方法やプログラム内容を共有し、活動再開に向けた取組を進めていくことが図られた。認知症対策については、各圏域に設置されるよう、地域の理解等に取り組む必要があると判断した。	・新型コロナの影響により、自主グループの活動が不安定。今後も新しい生活様式に沿った自主グループ活動を検討し支援することが必要。 ・介護予防リーダー自身の高齢化等により、自主グループ活動の継続が難しい状況がある。ハネル展示や冊子を通して、介護予防リーダーの活動をPRしている。地域における認知症の理解促進に向けた取組を各圏域で行っていくことが図られた。認知症対策については、各圏域に設置されるよう、地域の理解等に取り組む必要があると判断した。
自立支援・介護予防・重度化防止	○介護予防・日常生活圏域一斉調査結果でうつ傾向高齢者37.9%、転倒リスク高齢者26.4%となっている。地域活動参加上の問題は「参加する時間的余裕がない」「健康・体力に自信がない」「地域で行われている活動を知らない」「気軽に参加できる内容が少ない」が上位となっている。	生活支援コーディネーターによる地域課題、問題解決の検討と担い手の発掘	・第2層協議体の設置数 3か所 ・第2層生活支援コーディネーター人数 3人	・第2層協議体の設置数 8か所 ・第2層生活支援コーディネーター人数 5人	自己評価結果【◎】	協議体活動を始行し、地域への関心も高まる中、まだまだ至らない地域もある。事業開始や理解を求めるため、そして我が国として成長、活動を開始していくために、地域での説明会・協議会などをとらけていく。 また、協議体は立ち上がってない地域もあるため、まずは設置を目標とする。	
自立支援・介護予防・重度化防止	○介護予防・日常生活圏域一斉調査結果でうつ傾向高齢者37.9%、転倒リスク高齢者26.4%となっている。地域活動参加上の問題は「参加する時間的余裕がない」「健康・体力に自信がない」「地域で行われている活動を知らない」「気軽に参加できる内容が少ない」が上位となっている。	多職種協働による地域ケア会議を開催し、よりよい支援計画の作成や地域課題の把握に取り組む	・地域ケア会議検討事例数 18例/年	・地域ケア会議検討事例数 12事例/年	自己評価結果【○】	「介護予防・自立支援」を重点に、検討すべき内容が明白になり、専門職から有効な助言をいただくことができた。	個別事例から地域課題へ展開していく必要性を感じる。生活支援コーディネーターを軸として、何の地域課題とらえ着手していくか、検討する必要がある。

新型コロナウイルス感染症への対応状況

年月	国都等の動向	市の対応状況
令和元年 12月	中華人民共和国武漢市で集団発生報告	
令和2年 1月	16日 国内で初めての患者報告 24日 都内で初めての患者報告 31日 国から社会福祉施設等での対応通知(以後、適宜発出あり)	・市民向け講座、教室、訪問事業の一部を中止 ・市内介護事業所等への注意喚起通知
2月	20日 イベント開催に関する国民へのメッセージ発表(厚生労働省) 22日 都内介護施設職員の感染初報告 25日 政府の基本方針決定 介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱い(第1報)(以後、適宜発出あり)	・要介護認定等更新(施設入所者等、4月末更新分から在宅など対象者全員の拡大)の特例制度開始 ・青梅市主催のイベントの取り扱い方針決定(以後、適宜変更あり) ・市のイベント方針等を介護事業所へ情報提供
3月	28日 政府、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針決定(以後、適宜改正) 政府調達による布マスクが社会福祉施設等に配布決定、開始	・介護事業所等へ市備蓄品マスク配布 ・介護事業所等へ都調達分マスク配布
4月	7日 東京都等対象に緊急事態宣言発出 7日 政府調達による全国民への布マスク配布決定 ・介護保険料減免の考え方について通知 ・都から緊急事態宣言を踏まえた介護サービス事業所・施設の継続等について通知 ・全国民一人10万円の定額給付金支給決定	・介護予防・日常生活支援総合事業の通所型サービス事業における電話等状況確認サービス事業の特例制度実施(緊急事態宣言解除の翌月である6月末まで) ・市内介護事業所等へ感染症対策徹底と事業継続について依頼文通知 ・要介護認定等更新(全被保険者対象)の特例制度開始 緊急事態宣言を踏まえた市の対応、イベント開催基準、居宅介護支援事業所の対応等について依頼文通知 ・市内4市民センターで事業所向け次亜塩素酸水の配布 ・認定審査会を书面会議に変更(6月末まで) ・特養等施設へ市寄付分マスク配布
5月	・国の一次補正予算による「新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業」開始 25日 東京都等対象の緊急事態宣言解除	・吹上しょうぶ公園の花しょうぶを希望する特養へ配布 ・介護事業所等へ都調達分マスク配布 ・緊急事態宣言解除による介護サービスに対する市の対応について通知
6月	・政府調達による全国民への布マスク配布終了	・高齢者クラブ活動再開、市の講座、教室等順次再開 ・介護事業所へ市寄付分の布製マスク配布
7月	・国の二次補正予算による「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」開始	・令和2年度介護保険料特例減免制度実施(1月1日から適用) ・介護事業所等へ市寄付分、都調達分のマスク配布 ・介護事業所等へ感染症対策の再徹底について依頼文通知
9月		・高齢者クラブに対する新型コロナウイルス感染症対策補助金制度実施 ・令和2年度介護サービス事業所等に対する新型コロナウイルス感染症対策補助金制度実施(衛生物品等) ・特養運営法人へ都調達マスク、エプロン、ゴーグル配布 ・令和2年度買い物代行サービス開始(9月～3月)
10月	・東京都が新型コロナウイルス感染症発生時における職員の派遣に関する協定を締結 ・東京都が高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対策強化事業を開始	
12月		・介護事業所等へ市寄付マスク、都調達マスク、エプロン、ゴム手袋、ゴーグルを配布
令和3年 1月	7日 東京都等対象に緊急事態宣言発出(2月7日まで) 28日 国から「高齢者施設への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を行う体制の構築について」通知	・緊急事態宣言を踏まえた感染症対策の徹底と事業継続について依頼文通知 ・介護予防・日常生活支援総合事業の通所型サービス事業における電話等状況確認サービス事業の特例制度実施(10月末まで)

年月	国都等の動向	市の対応状況
2月	2日 東京都等対象に緊急事態宣言の期間を3月7日まで延長 4日 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の改定により、都は高齢者施設の従事者を対象にした集中検査計画の策定と希望する施設での検査事業を実施(月1回検査、4月以降週1回検査、12月まで延長)	・介護事業所等におけるPCR検査事業実施(2～3月)
3月	3日 「高齢者施設への新型コロナウイルス感染症に係る予防接種を行う体制の構築について(改正)」通知(居宅サービス事業者に対する接種) 5日 東京都等対象に緊急事態宣言の期間を3月21日まで再延長 21日 東京都等対象の緊急事態宣言解除	
4月	12日 東京都等対象に蔓延等防止措置(23区、八王子、立川、武蔵野、府中、調布、町田市) 25日 東京都等対象に緊急事態宣言発出(5月11日まで)	・緊急事態宣言を踏まえた感染症対策の徹底と事業継続について依頼文通知
5月	7日 東京都等対象に緊急事態宣言の期間を5月31日まで延長 28日 東京都等対象に緊急事態宣言の期間を6月20日まで再延長	・高齢者施設入所者等に対する新型コロナウイルスワクチン接種を開始(52施設、7月末で完了) ・65歳以上の高齢者に対する集団接種開始 ・介護サービス事業所におけるPCR検査事業実施(5～6月分、10月まで延長) ・吹上しょうぶ公園の花しょうぶを希望する特養等へ配布
6月	17日 東京都等対象に緊急事態宣言の期間を7月11日まで再延長	
7月	8日 東京都等対象に緊急事態宣言の期間を8月22日まで再延長 30日 東京都等対象に緊急事態宣言の期間を8月30日まで再延長	・令和3年度介護サービス事業所等に対する新型コロナウイルス感染症対策補助金制度実施(衛生物品等) ・介護サービス事業所等従事者に対する新型コロナウイルスワクチン優先接種を実施(7月～8月)
8月	25日 東京都等対象に緊急事態宣言の期間を9月12日まで再延長	・令和3年度買い物代行サービス開始(8月～)
9月	9日 東京都等対象に緊急事態宣言の期間を9月30日まで再延長 28日 緊急事態宣言の解除に伴い「東京都リバウンド防止措置」を発令 30日 東京都等対象の緊急事態宣言解除	

令和2年度事業の主な実績

- ①市が実施したPCR検査事業 15事業所 219人
- ②感染対策事業補助金 128事業所 21,145千円
- ③買い物代行サービス 1,070件 3,959千円
- ④市民活動団体支援事業(高齢者クラブ) 44団体 1,204千円
- ⑤吹上しょうぶ公園の花しょうぶの配付 配付希望を受けた13施設

令和3年度事業の主な実績(完了分)

- ①高齢者施設でのワクチン接種(入所者・従事者) 52施設 約5,500人
- ②介護サービス事業所等従事者に対するワクチン接種 約140人
- ③市が実施したPCR検査事業(5～6月実施分) 14事業所 194人
- ④吹上しょうぶ公園の花しょうぶの配付 配付希望を受けた22施設

青梅市介護保険運営委員会委員名簿

(令和3年11月1日現在)

氏名	条例による 選出区分	所属団体等	備考
こやま とみお 小山 登美夫	被保険者 の代表	青梅市高齢者クラブ連合会の代表	
こくしょう たかとし 國生 隆利	被保険者 の代表	青梅市自治会連合会の代表	
たか はた かず お 高畑 一男	被保険者 の代表	市民から一般公募	
よしなが のりこ 吉永 紀子	被保険者 の代表	市民から一般公募	
ふじもと としみ 藤本 稔巳	事業者 の代表	介護老人福祉施設の代表	
いしだ のぶひこ 石田 信彦	事業者 の代表	介護老人保健施設の代表	
いしばし なおみ 石橋 尚美	事業者 の代表	青梅市ケアマネジャー連絡会の代表	
たけだ のりみつ 武田 憲光	事業者 の代表	居宅サービス事業者の代表	
つちだ だいすけ 土田 大介	学識経験者	青梅市医師会の代表	
ももせ すみお 百瀬 澄雄	学識経験者	青梅市歯科医師会の代表	
たなか みつひろ 田中 三広	学識経験者	青梅市薬剤師会の代表	
あらい かずお 新井 一夫	学識経験者	青梅市接骨師会の代表	
こやなぎ ともじ 小柳 友次	学識経験者	青梅市民生児童委員合同協議会の代表	

青梅市介護保険規則（抜粋）

第 6 章の 2 介護保険運営委員会

（会長および副会長）

第52条の 2 青梅市介護保険運営委員会（以下「委員会」という。）に
会長および副会長を置く。

2 会長および副会長は、委員が互選する。

3 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第52条の 3 委員会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 委員会は、委員および臨時委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席した委員および臨時委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（部会の設置）

第52条の 4 会長は、条例第11条第 2 項各号に規定する事項を調査審議するため、部会を設置することができる。

（関係者の出席等）

第52条の 5 会長は、委員会の会議に必要があると認めるときは、委員および臨時委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴き、または資料の提出を求めることができる。

（会議の公開）

第52条の 6 委員会の会議は、公開とする。ただし、会長が必要と認め、委員会の会議に出席した委員および臨時委員の過半数の同意を得たときは、非公開とすることができる。

（庶務）

第52条の 7 委員会の庶務は、介護保険担当課において処理する。

（その他）

第52条の 8 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

青梅市介護保険条例(抜粋)

第4章 介護保険運営委員会

(介護保険運営委員会)

第11条 介護保険の運営等に関し必要な事項を調査審議するため、市長の附属機関として青梅市介護保険運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議し、答申する。

- (1) 介護保険事業計画および高齢者保健福祉計画の円滑な実施に関すること。
- (2) 介護保険事業計画および高齢者保健福祉計画の策定に関すること。
- (3) 地域包括支援センターの設置、運営、評価等に関すること。
- (4) 地域密着型サービスの指定、運営、評価等に関すること。
- (5) その他介護保険の運営等に関し市長が必要と認める事項

3 委員会は、次に掲げる者につき、市長が委嘱する委員13人以内をもって組織する。

- (1) 被保険者の代表 4人
- (2) 事業者の代表 4人
- (3) 学識経験者 5人以内

4 委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

5 委員会に、特別の事項を調査審議させるため必要があるときは、臨時委員若干人を置くことができる。

6 臨時委員は、市長が委嘱する。

7 臨時委員の任期は、当該特別な事項の調査審議期間とする。

令和 3 年度青梅市介護保険運営委員会開催予定

1 運営委員会

回	開催日時	会場
1	令和 3 年 5 月 2 4 日 (月) 1 4 : 0 0 ~	議会大会議室
2	令和 3 年 7 月 2 6 日 (月) 1 4 : 0 0 ~	議会大会議室
3	令和 3 年 1 1 月 1 日 (月) 1 4 : 0 0 ~	議会大会議室
4	令和 4 年 1 月 3 1 日 (月) 1 4 : 0 0 ~	議会大会議室